

男女共同参画社会づくり  
のための意識調査報告書

令和8年3月

岩出市

## 目次

1	住民意識調査	1
(ア)	調査概要	1
①	調査の目的	1
②	調査設計	1
③	回収結果	1
④	調査項目	1
⑤	報告書の見方	1
(イ)	調査結果	3
①	あなたご自身やご家族のことについて	3
②	お仕事について	5
③	1日の過ごし方について	7
④	地域活動について	12
⑤	男性・女性の役割に対する考え方について	14
⑥	性的少数者に関することについて	19
⑦	DVについて	21
⑧	男女共同参画の取組について	29
2	意識調査（事業所）	33
(ア)	調査概要	33
①	調査の目的	33
②	調査設計	33
③	回収結果	33
④	報告書の見方	33
(イ)	調査結果	34
3	自由記載欄ご意見	46
(ア)	（住民意識調査）問19	46
(イ)	（事業所用）問18	54
4	調査票	56

## 1 住民意識調査

### (ア)調査概要

#### ① 調査の目的

岩出市では、令和4年3月に「第5次岩出市男女共同参画プラン」を策定し、「性別に関わりなく活躍できるまち岩出」の実現をめざして、取り組みを進めています。現プランは、令和8年度で計画期間が終了することから、新たなプランの策定に向け、男女共同参画に対する市民の意識や実態を把握し、基礎資料とするために実施しました。

#### ② 調査設計

調査地域	岩出市全域
調査対象	市内在住の18歳以上の男女
調査数	2,500人
抽出方法	層化二段無作為抽出 (抽出台帳：住民基本台帳、年代層に分けて抽出)
調査方法	郵送による調査票の配付・回収および Web 回答 (*) (*) 依頼状に掲載した二次元コードを通じ、Web (インターネット) からの回答を受け付けた。郵送による配布・回収 (一部 WEB 上での回答)
調査期間	令和7年7月28日～9月12日

#### ③ 回収結果

有効回収数	782 (郵送 : 639 WEB : 143)
有効回収率	31.3%

#### ④ 調査項目

回答者の属性	4問・副1問
就労	2問・副1問
家庭生活	4問・副1問
地域活動・減災	2問
性別役割分担意識	2問
性的少数者	2問
DV	3問・副2問
男女共同参画取組	3問

#### ⑤ 報告書の見方

・設問によっては「単純集計」の結果の他、「男女別」、「年齢別」あるいは「他の設問」との「クロス集計」を記載しています。

・回答比率は、回答者数を 100%として算出し、小数点第 2 位を四捨五入して表示しています。そのため、内訳の合計が計に一致しない場合があります。また、複数回答の設問の場合は、回答比率 (%) の計 100.0%を越えます。

・図表の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載していますが、一部簡略化した表現を用いている場合もあります。

・「前回調査」「前々回調査」等は、5 年ごとに実施している「岩出市男女共同参画社会づくりのための意識調査」のことです。

・一部の回答について、回答者の年齢別構成の偏りにより、市全体の傾向を正しく把握できないため、年齢区分に応じて回答数に重みづけをしたウエイトバック集計を行い、補正前の結果と併せて掲載しています。

(ウエイトバック集計) ※令和 7 年 4 月 30 日現在の住民基本台帳人口

【年齢別構成】

回答者の年齢別構成は、対象全体に比べて 60 歳代・70 歳以上の割合が高く、併せて 55.4%を占めます。その他の年齢層は対象全体より低くなっています。

【% (人)】

	18.19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
回答者	0.9 (7)	5.1 (40)	9.1 (71)	12.5 (98)	17.0 (133)	20.7 (162)	34.7 (271)
対象全体	2.4 (1,111)	11.9 (5,399)	12.9 (5,851)	15.3 (6,928)	19.7 (8,944)	14.7 (6,674)	23.1 (10,493)
ウエイト値	2.73380	2.32489	1.41945	1.21767	1.15832	0.70961	0.66693

注) ウエイト値 = (有効回答総数×年齢別構成比率) ÷有効回答者数

参考【性別構成】

回答者の性別構成は、対象全体に比べて、男性の割合が高いです。

【% (人)】

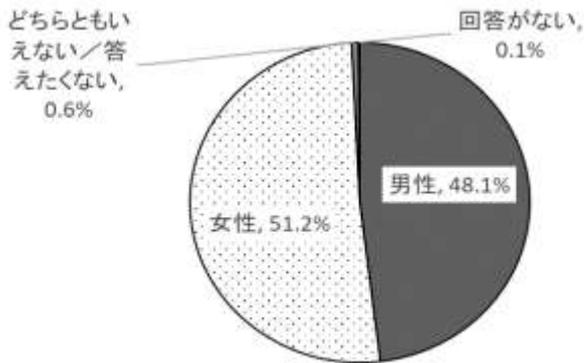
回答者 (782)				対象全体 (45,400)	
男性	女性	どちらとも いえない	無回答	男性	女性
48.1 (376)	51.2 (400)	0.6 (5)	0.1 (1)	47.4 (21,504)	52.6 (23,896)

(イ)調査結果

① あなたご自身やご家族のことについて

問1. あなたの性別は？（自認している性別1つだけに○を）

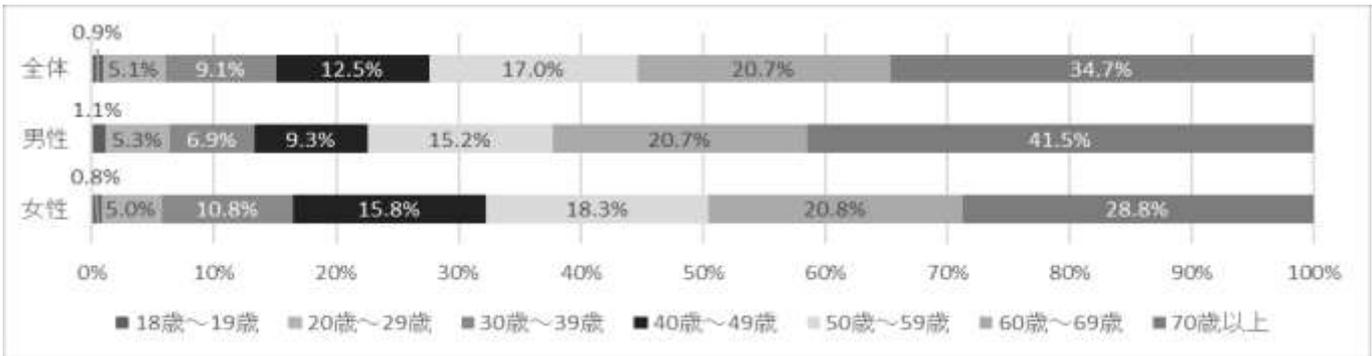
回答者の性別について、「男性」が48.1%、「女性」は51.2%です。「どちらともいえない/答えたくない」の割合は0.6%（5人）、回答のない方が0.5%（1人）です。



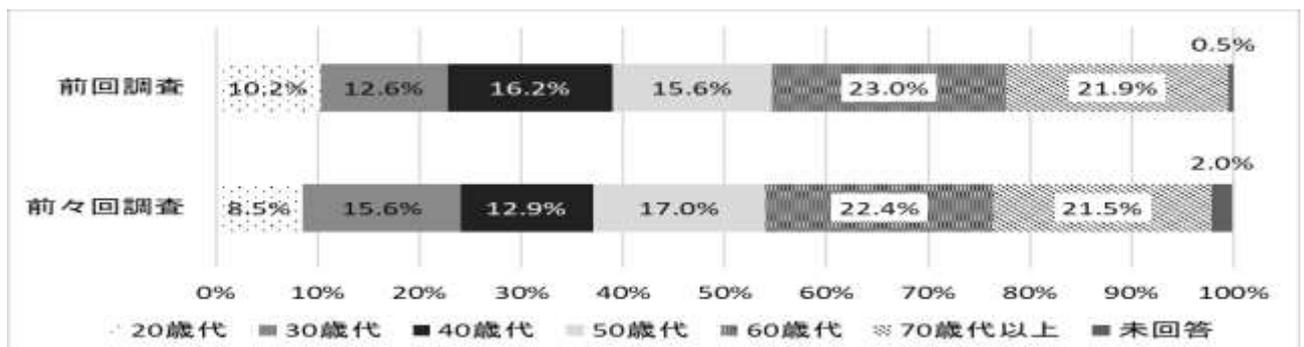
調査票では、「男性」「女性」「どちらともいえない/答えたくない」として尋ねました。しかし、「どちらともいえない/答えたくない」と「回答がない」は回答数が小さいため、以降のクロス集計については、基本的に「男性」「女性」のみを対象にしています。

問2. あなたの年齢は？（1つだけに○を）

回答者の年齢は、「70歳以上」が34.7%と最も高く、次いで「60～69歳」が20.7%です。60歳以上の回答者が全体の55.4%を占めます。性別では、男性は60歳以上の回答者が62.2%を、女性は49.6%を占めます。

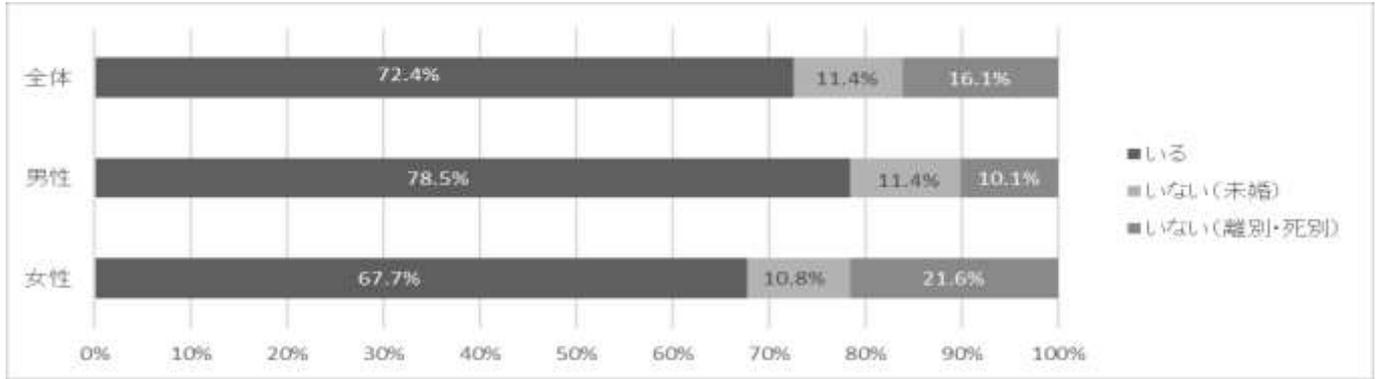


【参考】前回（令和2年）前々回（平成27年）調査は、対象者20歳以上で、今回と異なります。



問3. あなたには、現在配偶者（事実婚を含みます）がいますか（1つだけに○を）

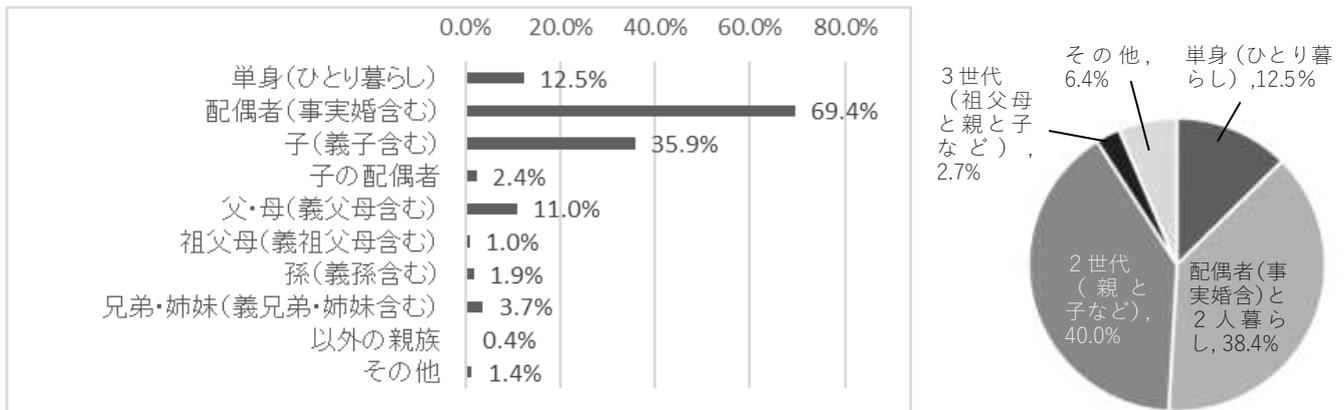
回答者全体では、「結婚している」割合は72.4%です。  
「結婚している」割合は、女性（67.7%）より男性（78.5%）の方が高いです。



問4. あなたが同居している方をあなたとの続柄でお答えください（あてはまるものすべてに○を）

配偶者（事実婚を含む）（69.4%）が最も多く、次に子（義子を含む）（35.9%）が多いです。

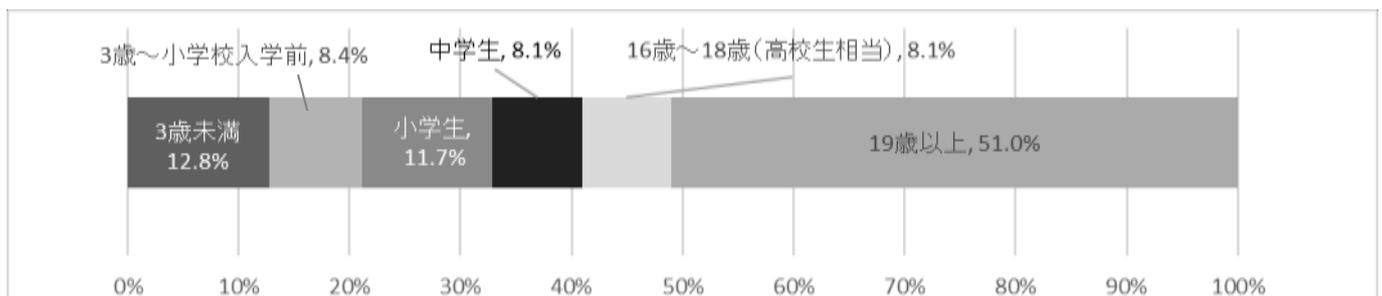
回答者の同居の家族構成は、2世代（親と子など）（40.0%）が最も多く、次いで、配偶者と2人暮らし（38.4%）、単身（ひとり暮らし）（12.5%）となっています。



【問4で「3子（義子含む）」とお答えの方】

問4-1. あなたが同居している最も年齢が低い子どもについてお答えください（1つだけに○を）

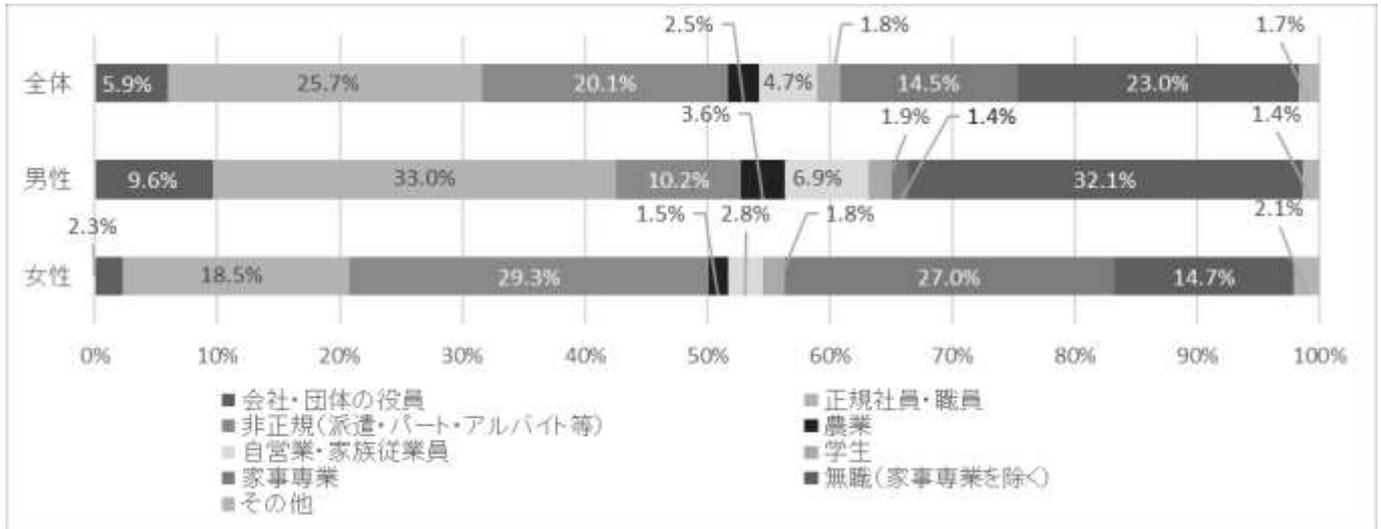
19歳以上の成人している子（51.0%）が約半数を占めます。



② お仕事について

問 5. 主たる職業についてお答えください（最も近いもの1つだけに○を）

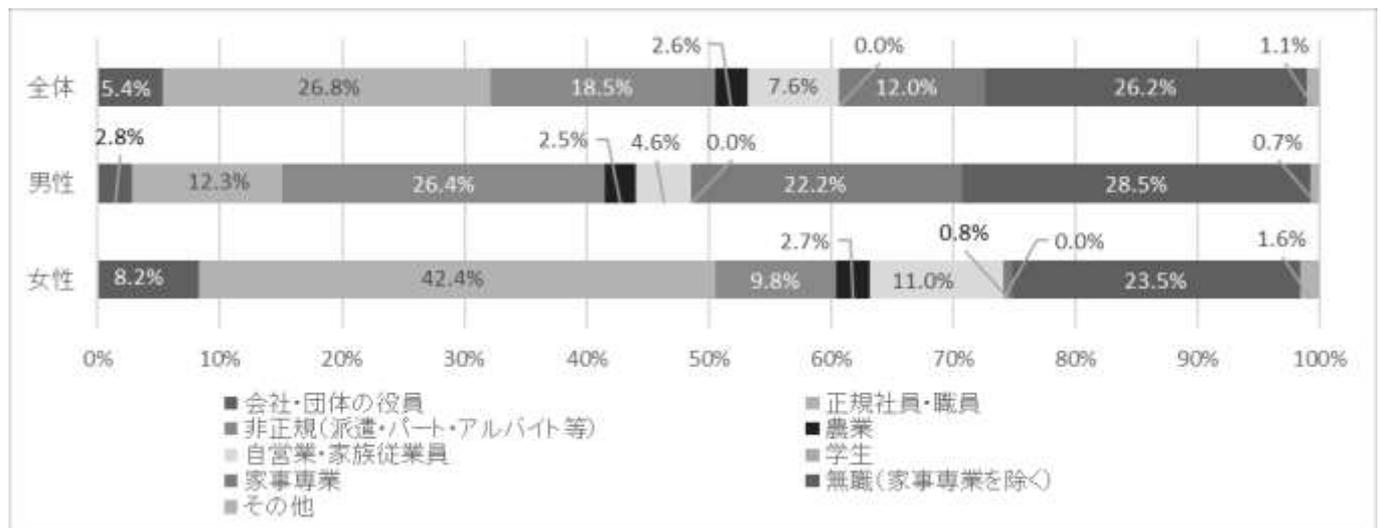
全体では、正規社員・職員（25.7%）が最も多く、次いで無職（23.0%）です。  
性別で見ると、男性は、正規社員・職員（33.0%）、無職（32.1%）の順で多く、女性は、非正規（29.3%）家事専業（27.0%）の順で多いです。



【問 3 で配偶者（事実婚含む）が「1 いる」を選ばれた方】

問 5. 「配偶者（事実婚含む）の職業」欄もお答えください。

配偶者のいる方の内配偶者の職業は、全体では、正規社員・職員（26.8%）が最も多く、次に無職（26.2%）です。  
男性（回答者）の配偶者の職業で最も多いのが、無職（28.5%）、次に非正規（26.4%）。  
女性（回答者）の配偶者の職業で最も多いのは、正規社員・職員（42.4%）、次に無職（23.5%）です。

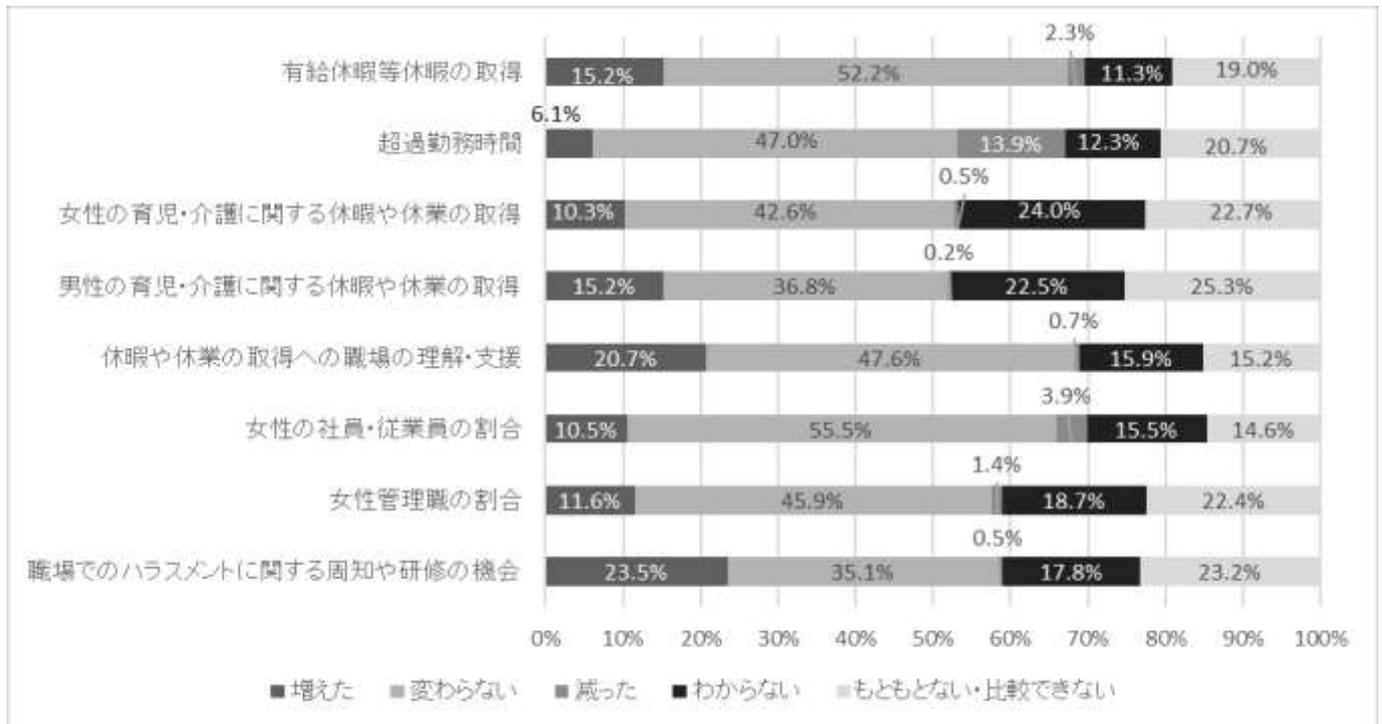


【現在就労されている方】

問 6. あなたの働いているところでは、次の項目について、6年前（コロナ禍前）に比べて変化があると思いますか（それぞれ1つだけに○を）

「増えた」と回答があった項目が最も多いのは、「職場でのハラスメントに関する周知や研修の機会」（23.5%）、次に「休暇や休業の取得への職場の理解・支援」（20.7%）です。

「減った」と回答があった項目で最も多いのは、「超過勤務時間」（13.9%）です。



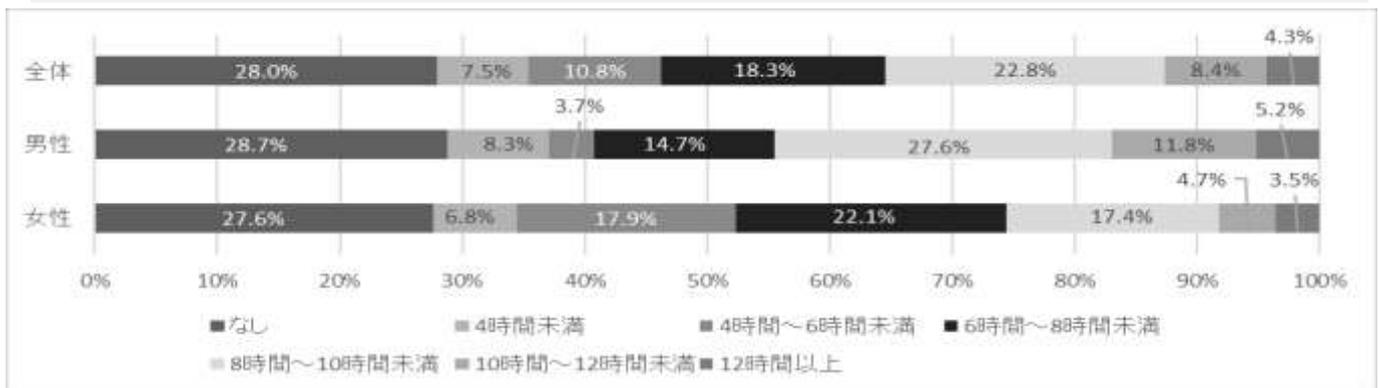
### ③ 1日の過ごし方について

問 7. 1日のうちであなたが仕事（学業）や家事、育児、介護（看護）に費やす平均時間をお答えください（それぞれ最も近いもの1つだけに○を）

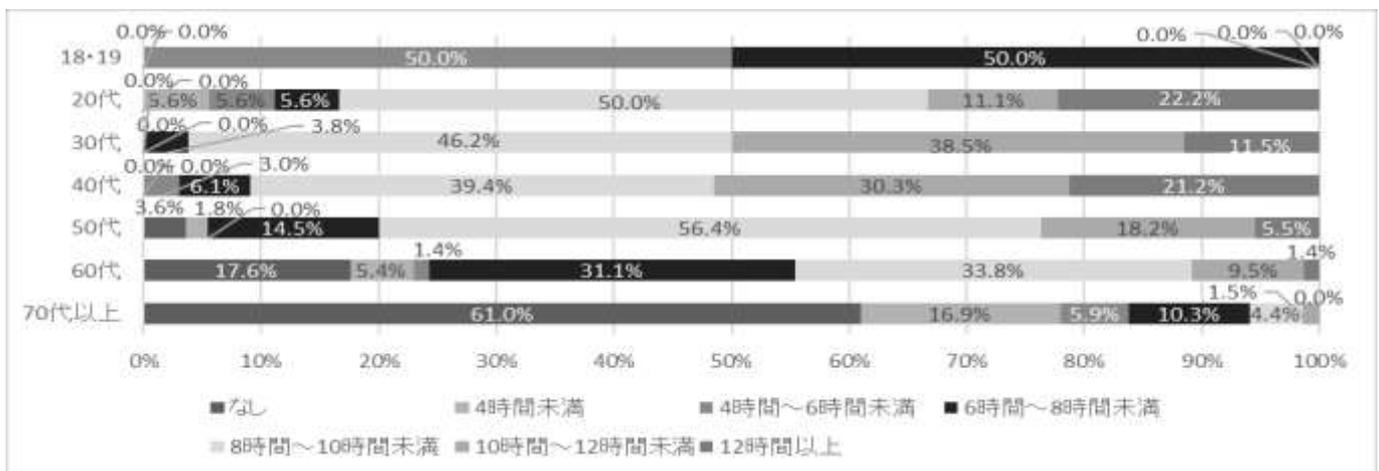
#### (1) 仕事・学業（通勤・通学時間含む）

全体では、「なし」(28.0%) が最も多く、次いで「8時間～10時間未満」(22.8%) 「6時間～8時間未満」(18.3%) となっています。

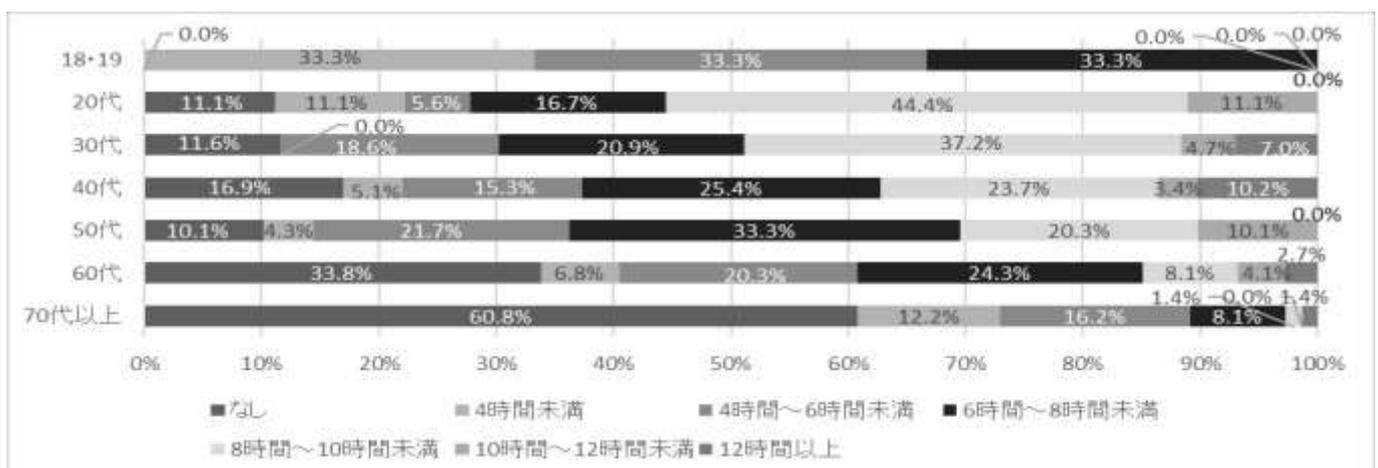
男性では、「なし」(28.7%) が最も多く、次に「8時間～10時間未満」(27.6%)、女性では、「なし」(27.6%) が最も多く、次に多いのは「6時間～8時間未満」(22.1%) となっています。



#### 年代別 男性



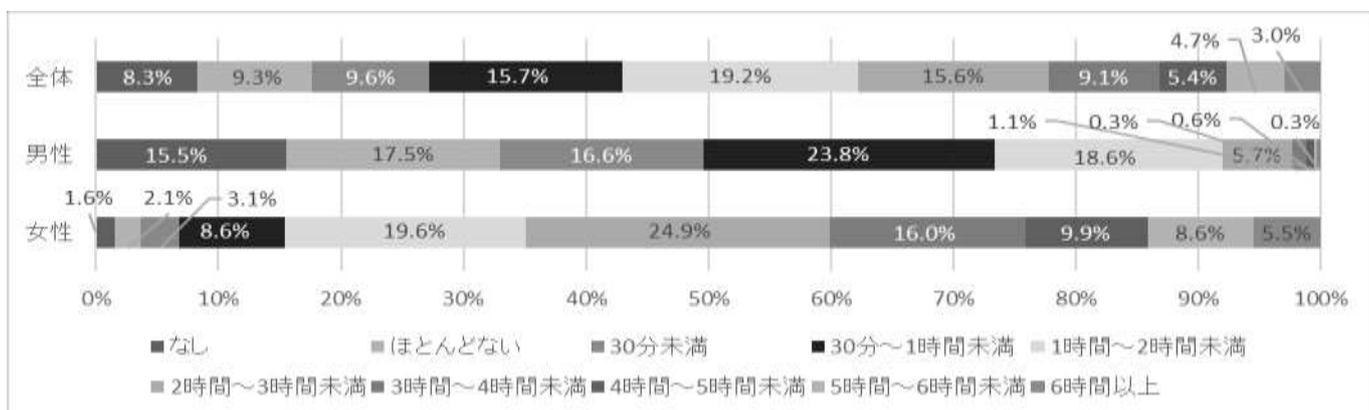
#### 年代別 女性



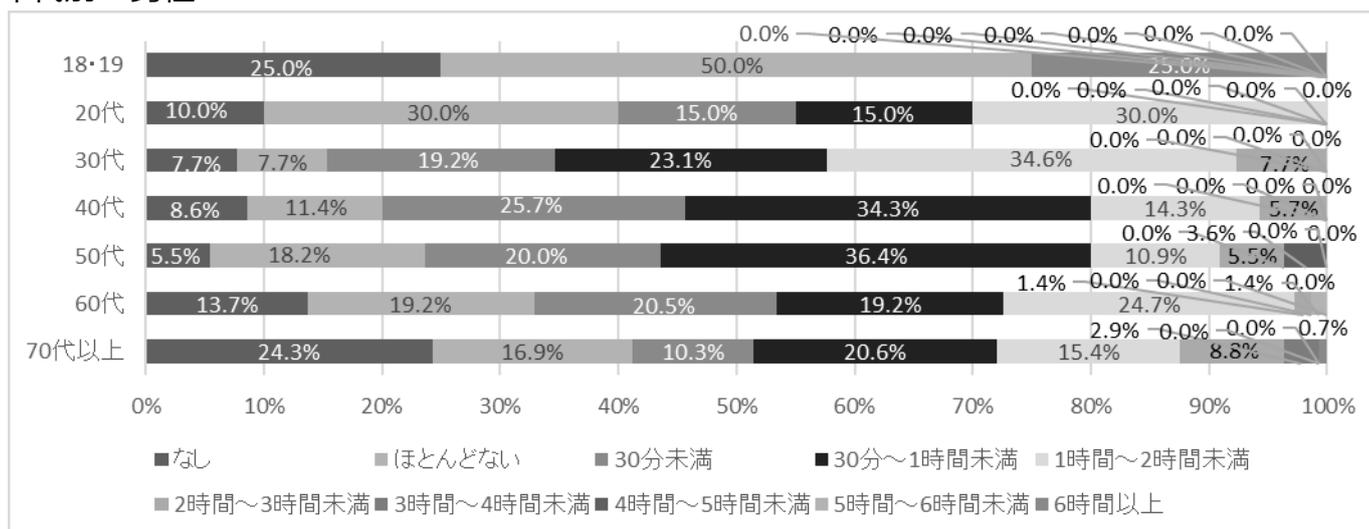
## (2) 家事

全体では「1時間～2時間未満」(19.2%)が最も多く、次いで「30分～1時間未満」(15.7%)「2時間～3時間未満」(15.6%)となっています。

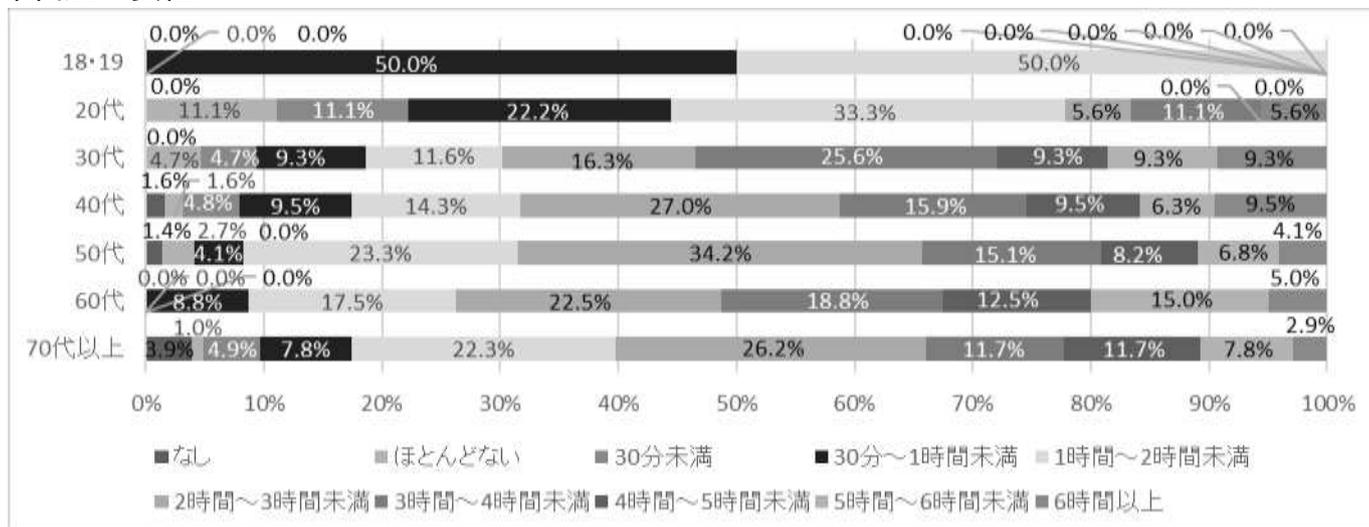
男性では「30分～1時間未満」(23.8%)が最も多く、次に「2時間～3時間未満」(18.6%)、女性では「3時間～4時間未満」(24.9%)が最も多く、次に多いのは「2時間～3時間未満」(19.6%)となっています。



### 年代別 男性

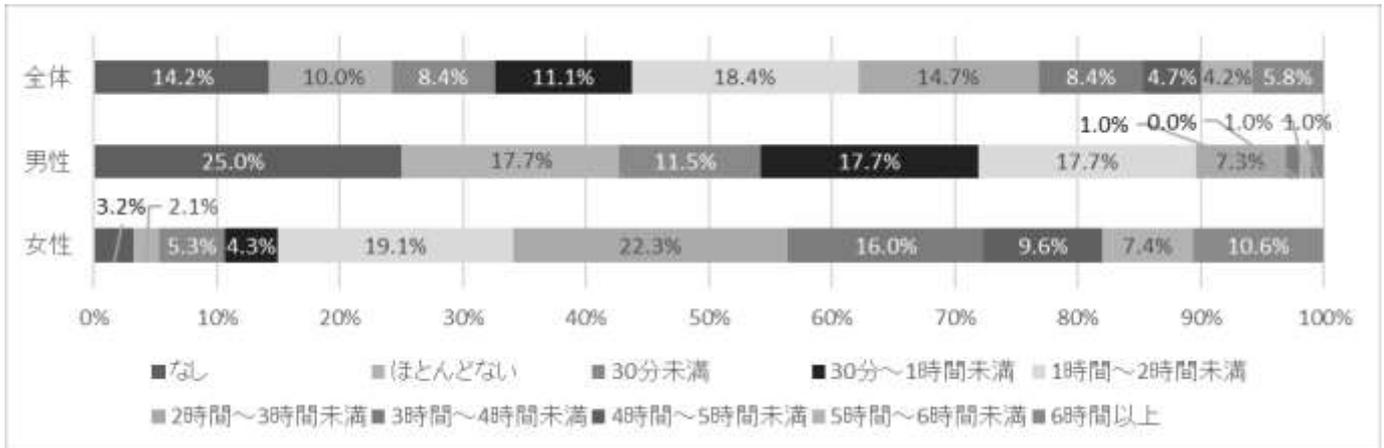


### 年代別 女性

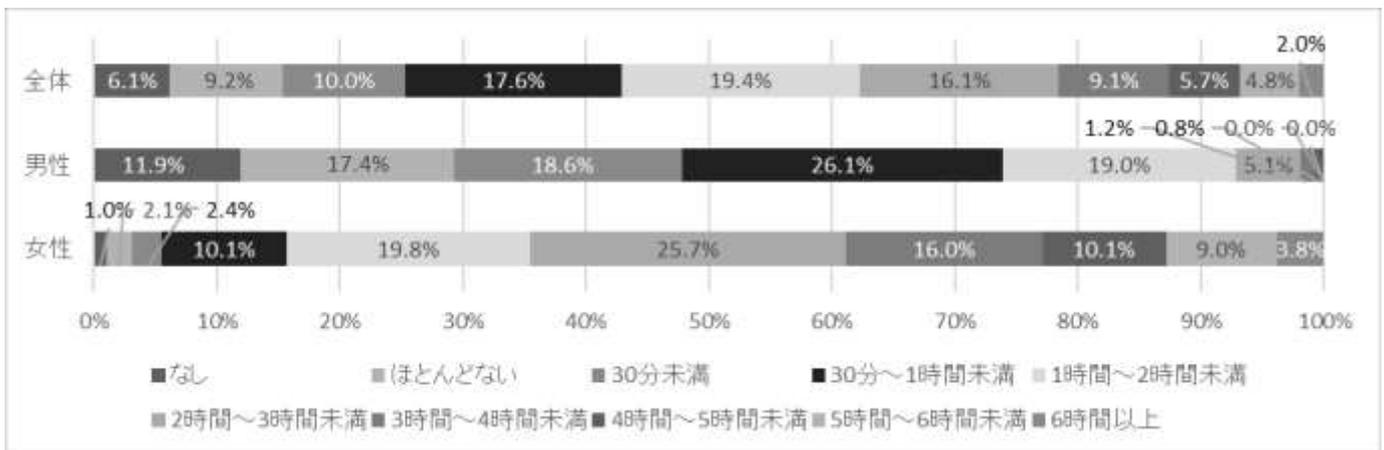


(1) 仕事・学業（通勤・通学時間含む）の有無別 (2) 家事時間

仕事・学業「なし」と回答した方の家事時間

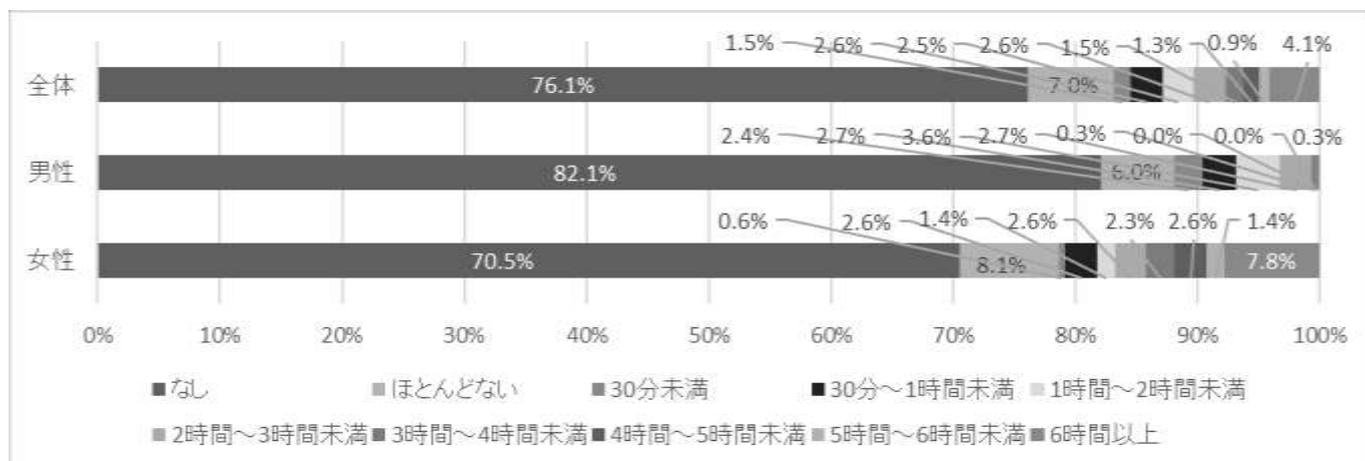


仕事・学業「あり」（4時間未満以上）と回答した方の家事時間



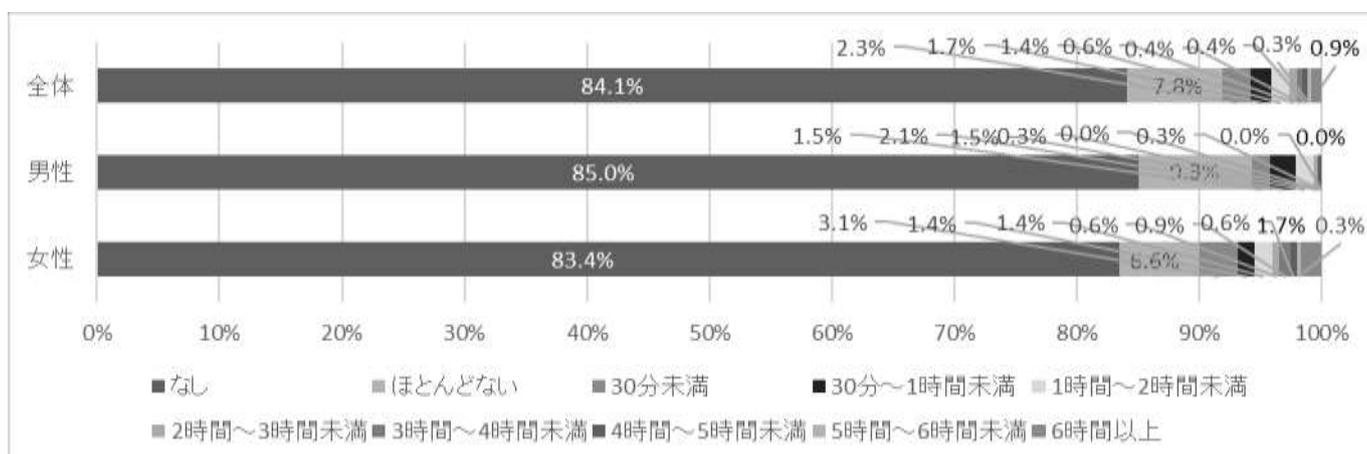
### (3) 育児

全体、男女とも、「なし」が最も多く、次に多いのは、「ほとんどない」です。女性は、「ほとんどない」(8.1%)の次に「6時間以上」(7.8%)が多くなっています。



### (4) 介護・看護

全体、男女とも、「なし」が最も多く、次に多いのは、「ほとんどない」です。女性は「ほとんどない」(6.6%)の次に「30分未満」(3.1%)が多くなっています。

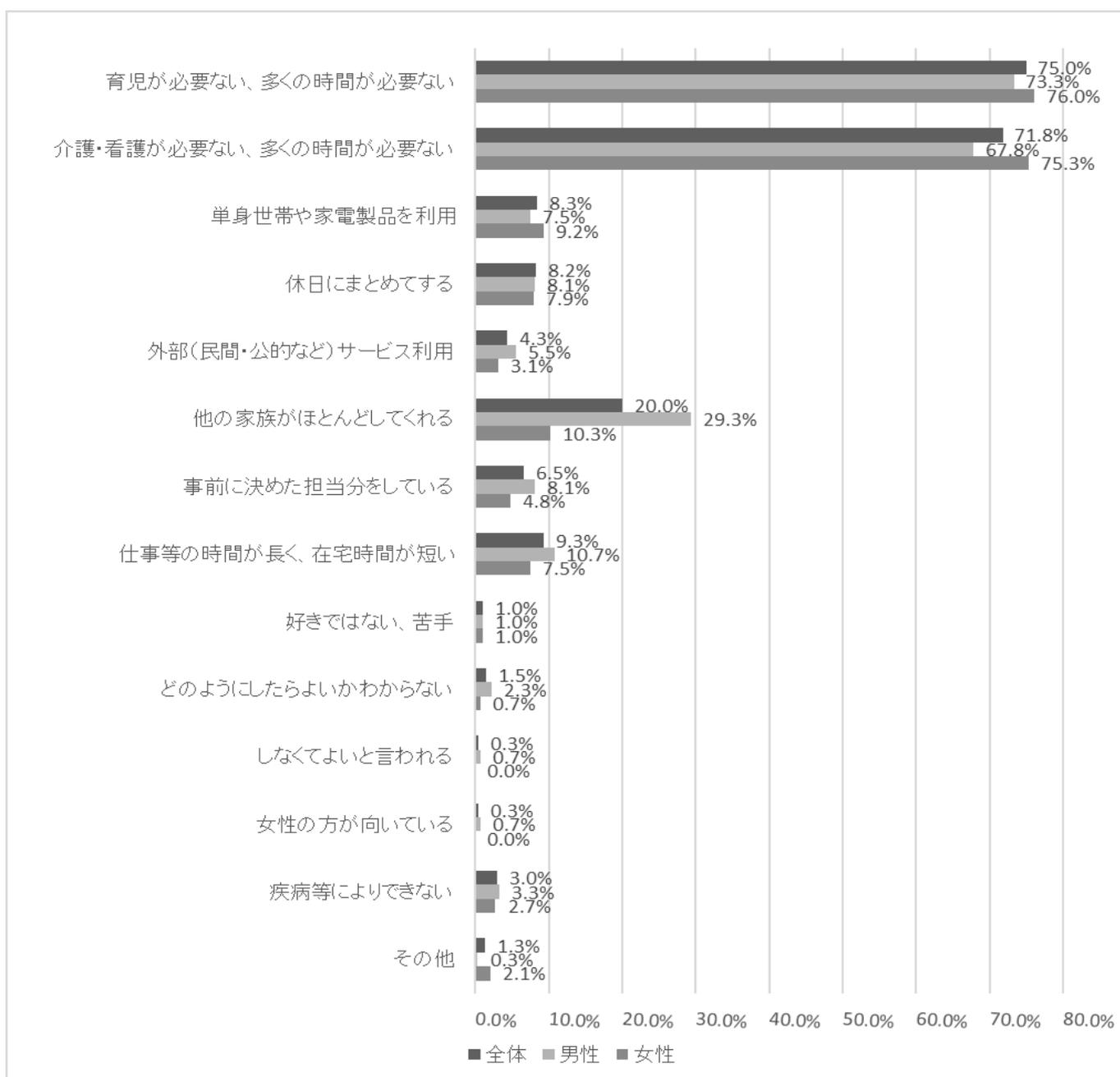


【(2) 家事～(4) 介護・看護で「1 なし」「2 ほとんどない」「3 30分未満」とお答えの方】

問 7-1. あなたが家事、育児、介護・看護に費やす時間が少ないのはなぜですか（あてはまるものすべてに○を）

全体、男女とも「育児や介護が必要ない・多くの時間が必要ない」が多いです。

2つの理由を除くと「ほかの家族がほとんどしてくれる」が最も多く、次に全体と男性では「仕事等の時間が長く、在宅時間が短い」、女性では「単身世帯や家電製品を利用」が多いです。



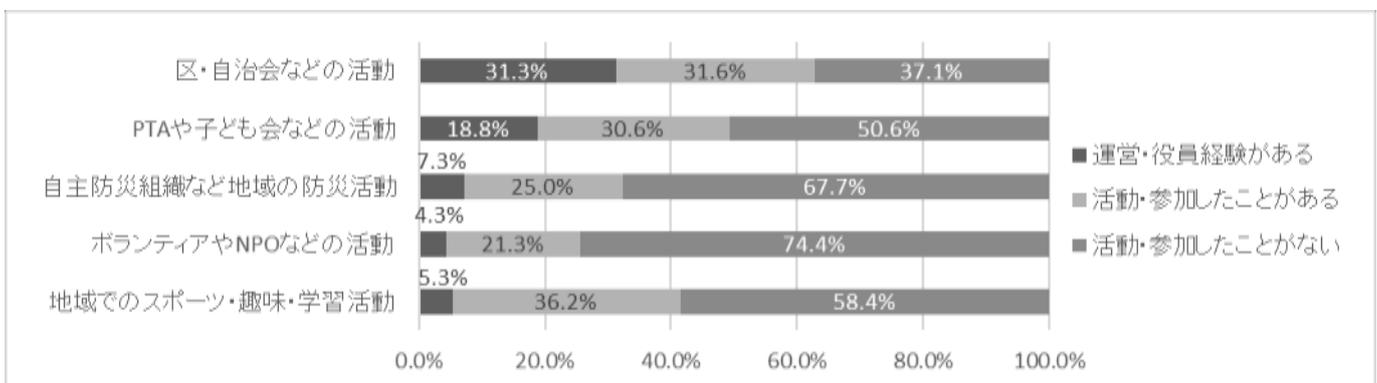
#### ④ 地域活動について

問 8. あなたは、成人後、次の活動をしたことがありますか（それぞれ1つだけに○を）

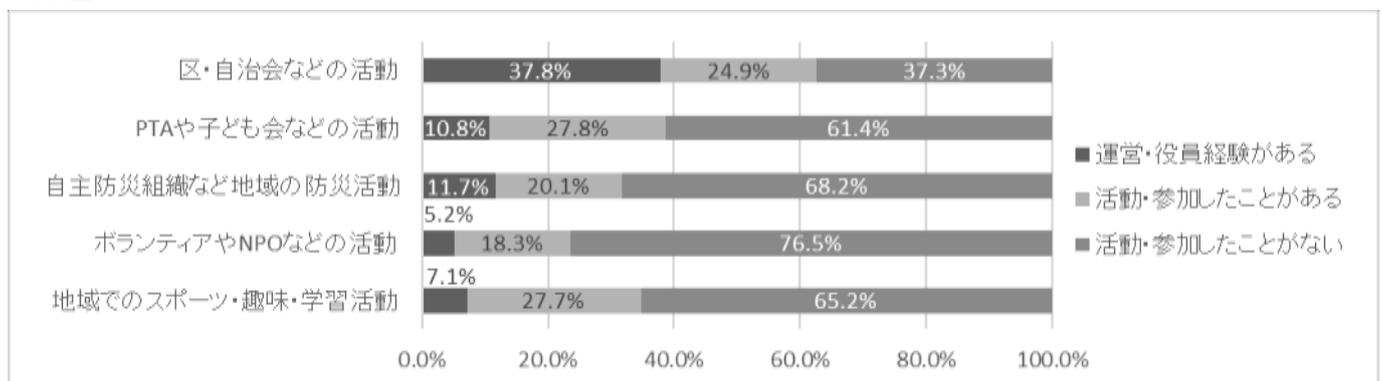
「運営・役員経験がある」地域活動は、「区・自治会などの活動」（31.3%）が最も多く、次いで、「PTAや子ども会などの活動」（18.8%）です。

「活動・参加したことがある」活動で、最も多いものは「地域でのスポーツ・趣味・学習活動」（36.2%）です。「活動・参加したことがない」活動については、「ボランティアやNPOなどの活動」（74.4%）で最も多く、「自主防災組織など地域での防災活動」（67.7%）が続きます。

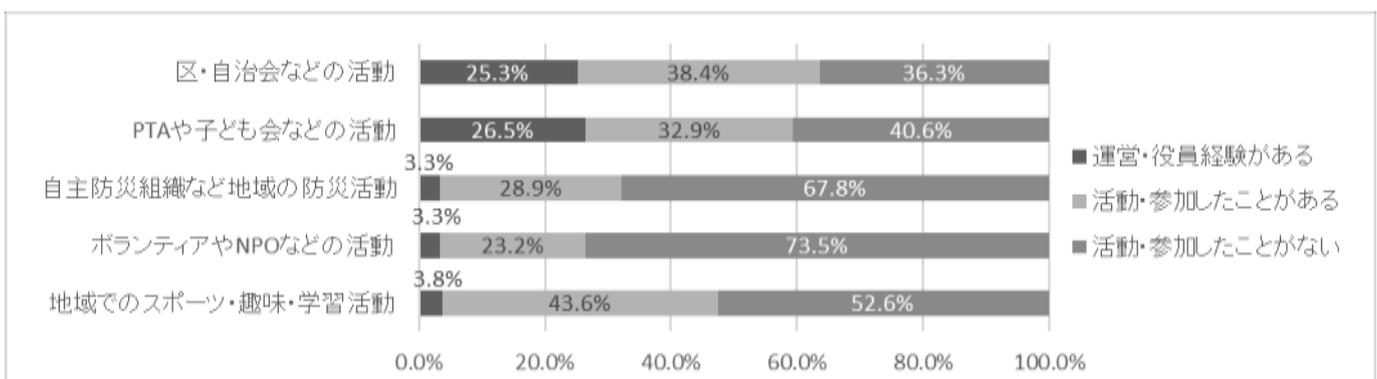
性別に比較すると、男性より女性の方が、どの活動も経験が多いですが、「運営・役員経験」では「PTAや子ども会などの活動」を除き、男性が多いです。



#### 男性



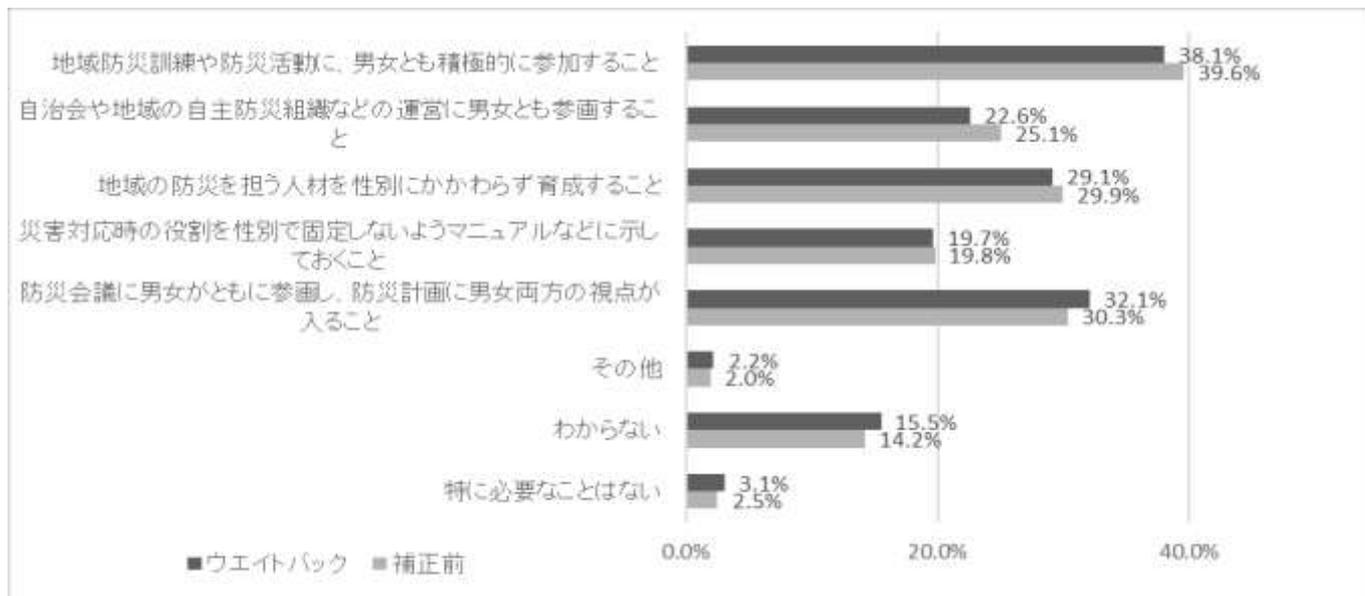
#### 女性



問 9. 地域の防災についてうかがいます。あなたは災害時における男女共同参画の視点からの防災・復興の取組を進めるために、特にどのようなことが必要だと思いますか（特に必要だと思うもの2つまでに○を）

「地域防災訓練や防災活動に、男女とも積極的に参加すること」が最も多く、次に「防災会議に男女とも参画し、防災計画に男女両方の視点が入ること」「地域の防災を担う人材を性別にかかわらず育成すること」と続きます。

ウエイトバック方式と補正前で順番が変わる項目はありません。

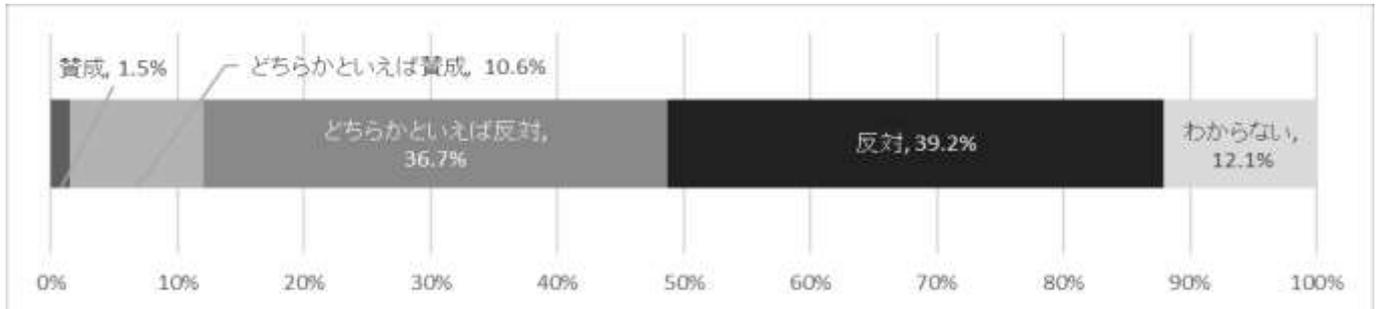


⑤ 男性・女性の役割に対する考え方について

問 10. 「男は仕事、女は家庭」、「女の子とはこういうもので、男の子とはこういうもの」といった性別で役割を固定した考え方について、あなたはどのように思われますか？（1つだけに○を）

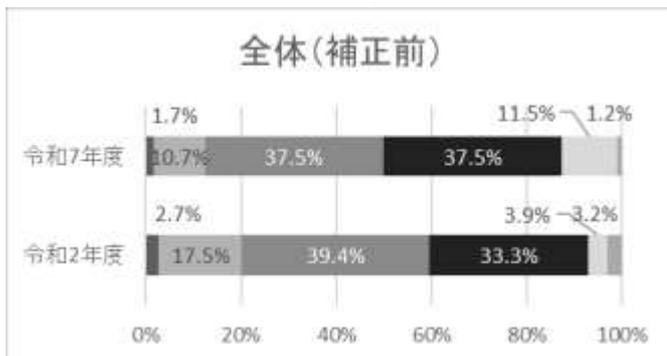
「賛成」「どちらかといえば賛成」をあわせると、12.1%「どちらかといえば反対」「反対」をあわせた結果では、75.9%でした。

【ウエイトバック（補正）による数値】

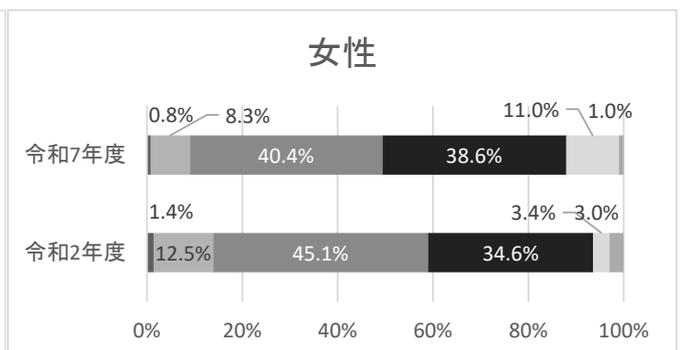
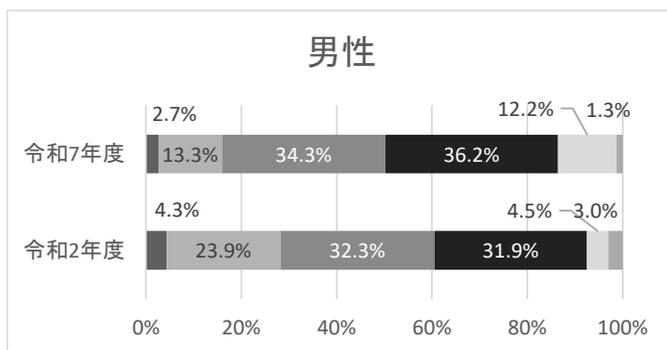


前回との比較【ウエイトバック前】

全体（補正前）、男性、女性 全てで「賛成」「どちらかといえば賛成」が前回（令和2年度調査）から減少しています。



- 賛成
- どちらかといえば賛成
- どちらかといえば反対
- 反対
- わからない ※R2は、選択肢「その他」
- 未回答

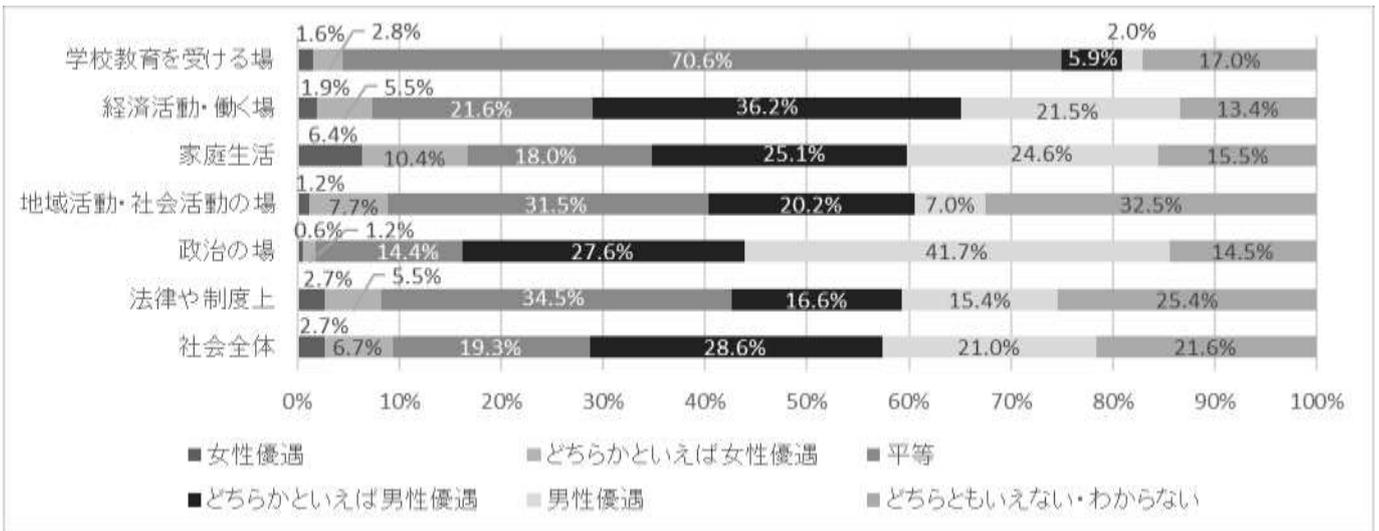


問 11. 次の場面で、男女平等だと思いますか（それぞれ1つだけに○を）

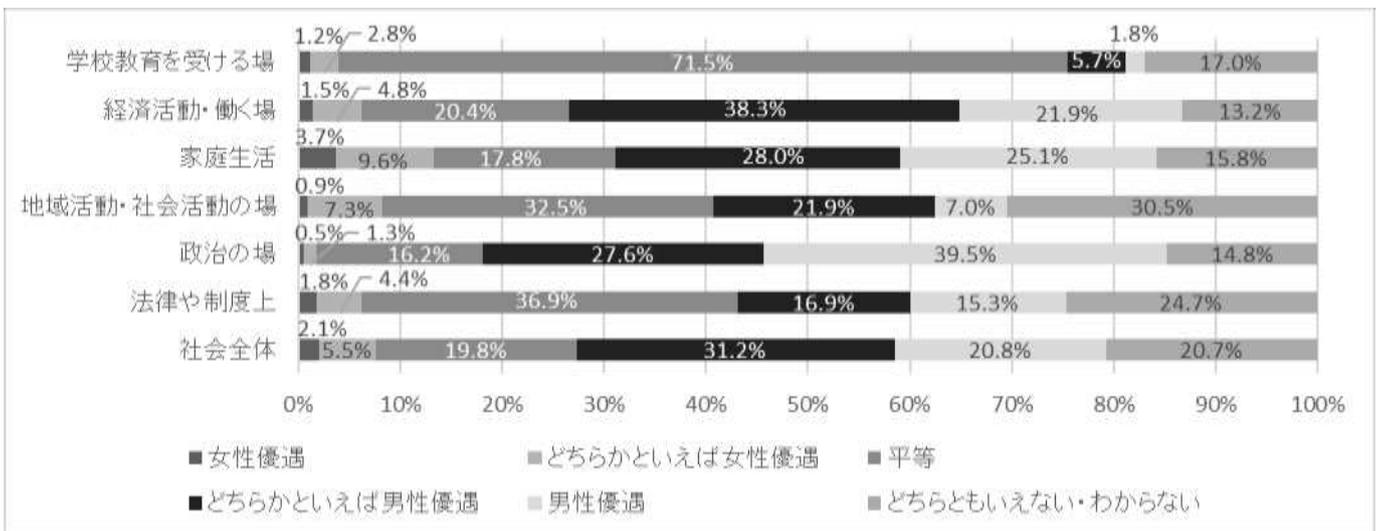
「平等」の回答が最も高いのは「学校教育を受ける場」（70.6%）、続いて「法律や制度上」（34.5%）「地域活動・社会活動の場」（31.5%）です。

「平等」の回答が最も低いのは「政治の場」（14.4%）、続いて「家庭生活」（18.0%）「社会全体」（19.3%）となっています。

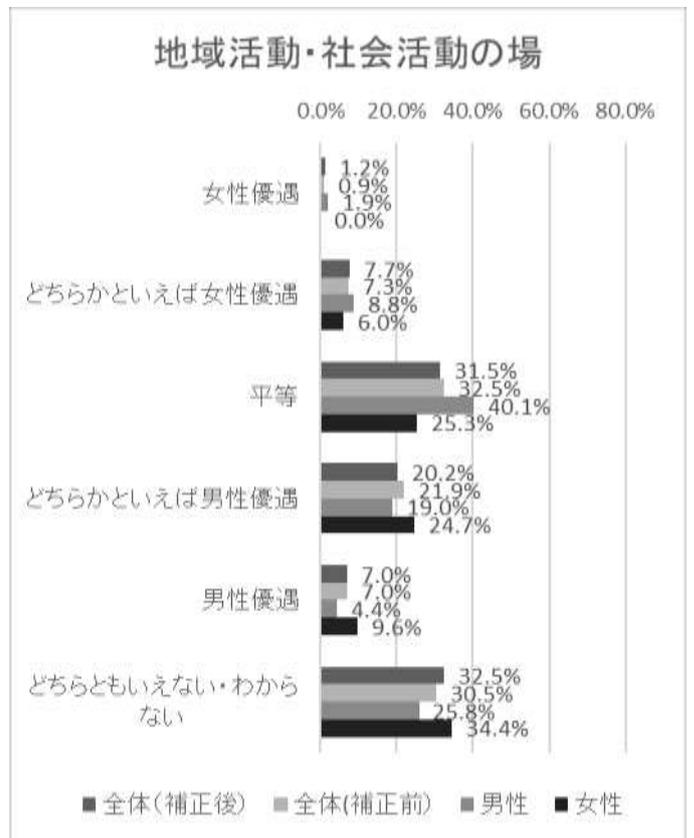
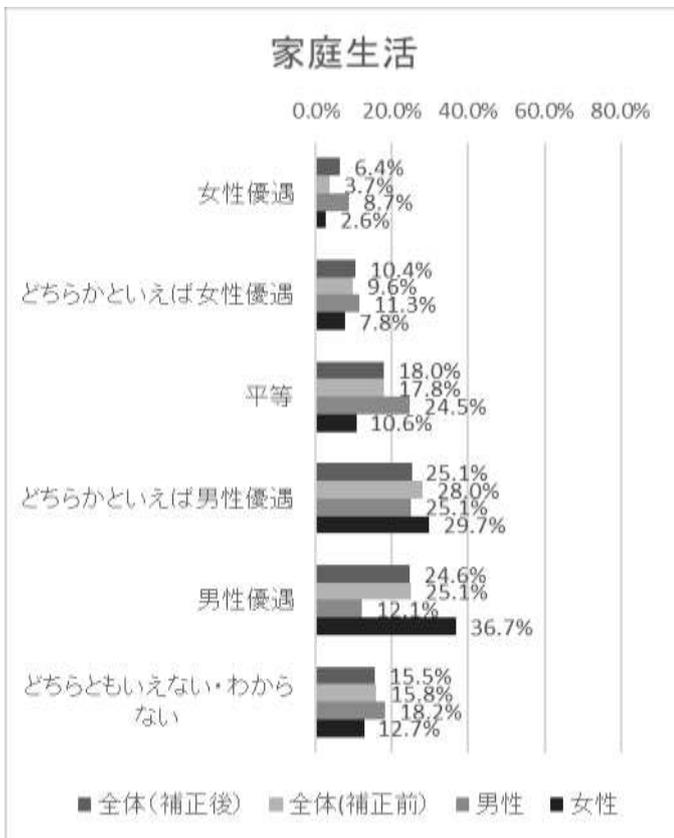
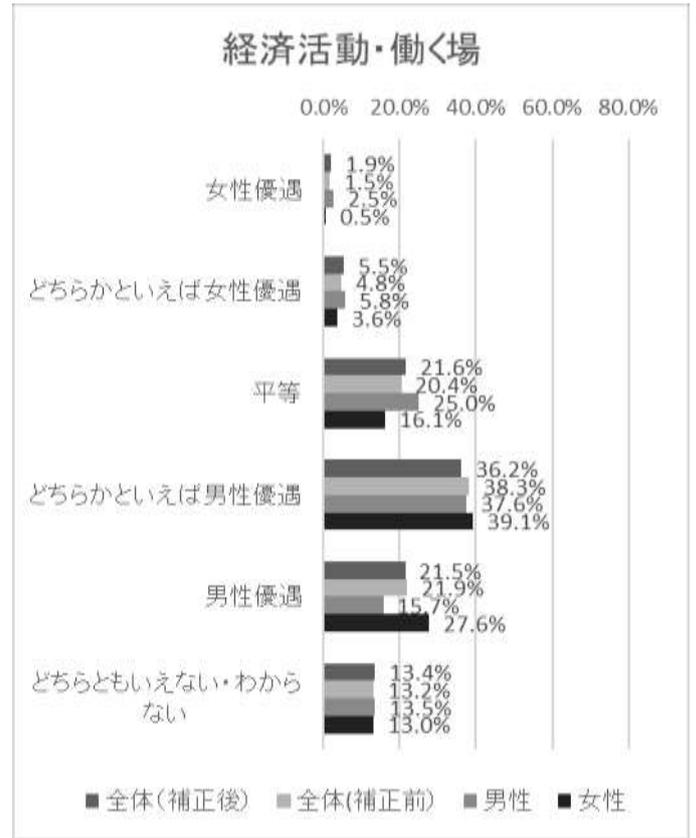
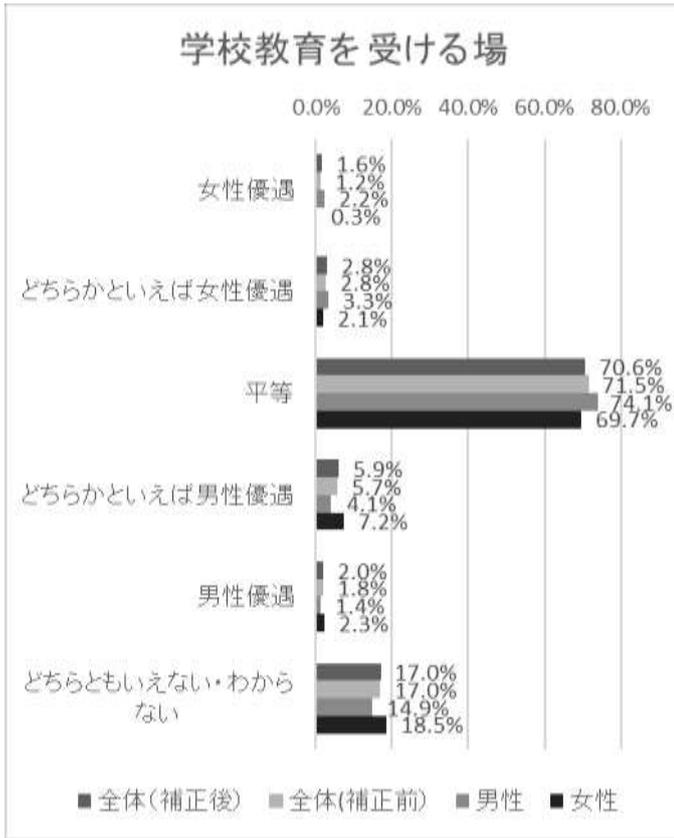
性別では、すべての項目で、女性より男性の方が「平等」と回答されている率が高いです。



【補正前】

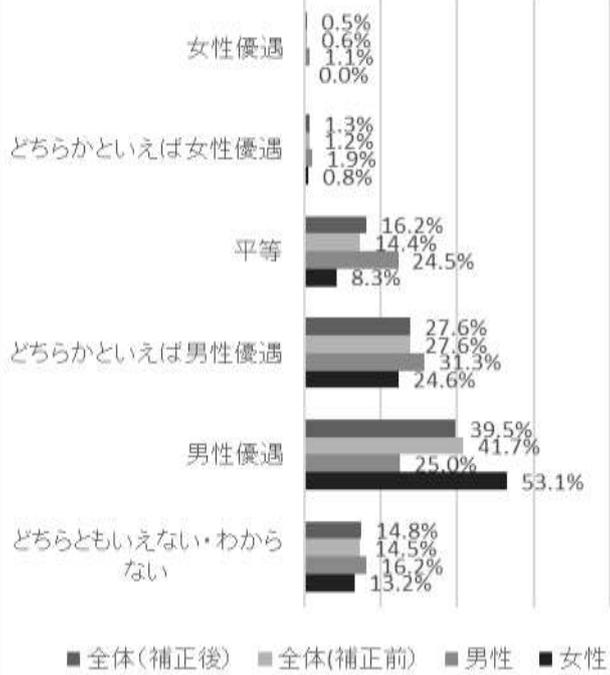


【項目別・全体（ウエイトバック補正・補正前）・性別】



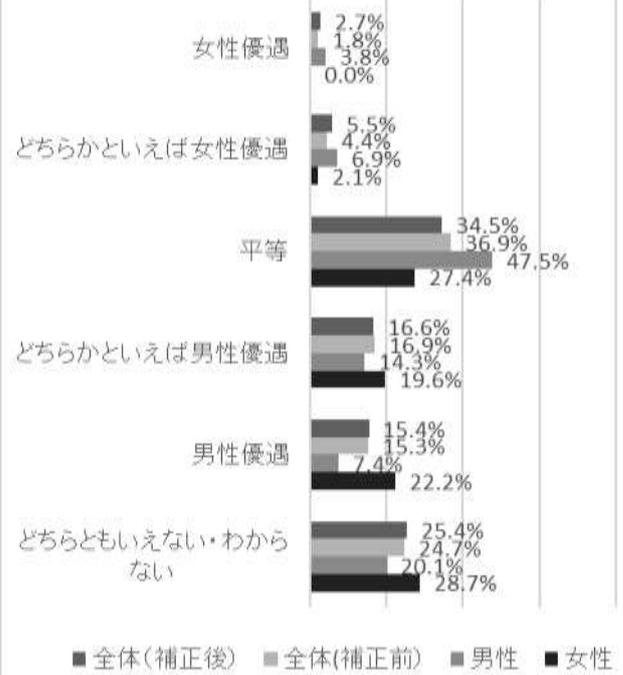
### 政治の場

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



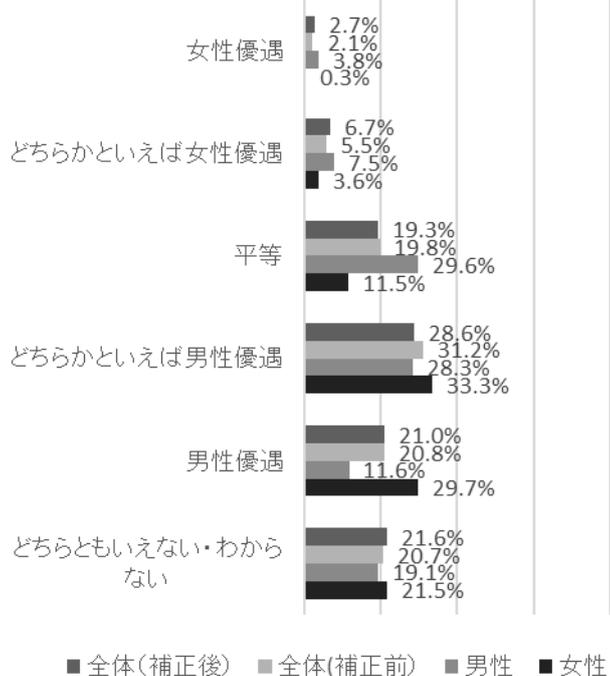
### 法律や制度上

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%



### 社会全体

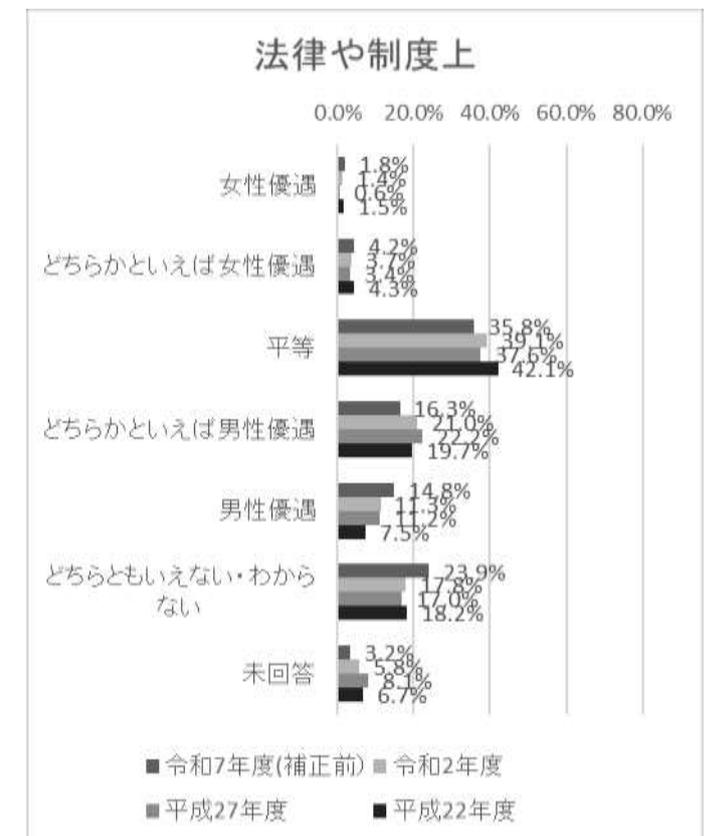
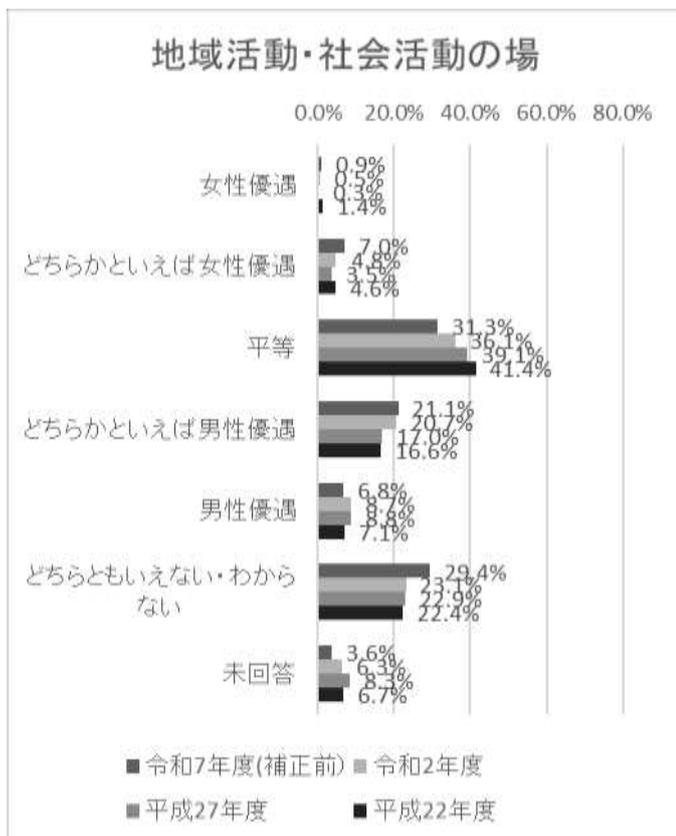
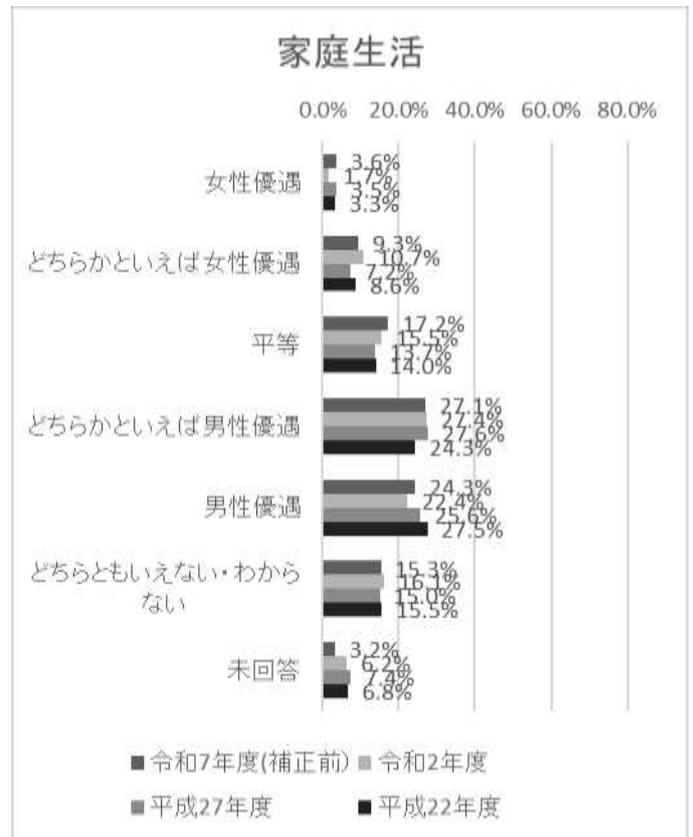
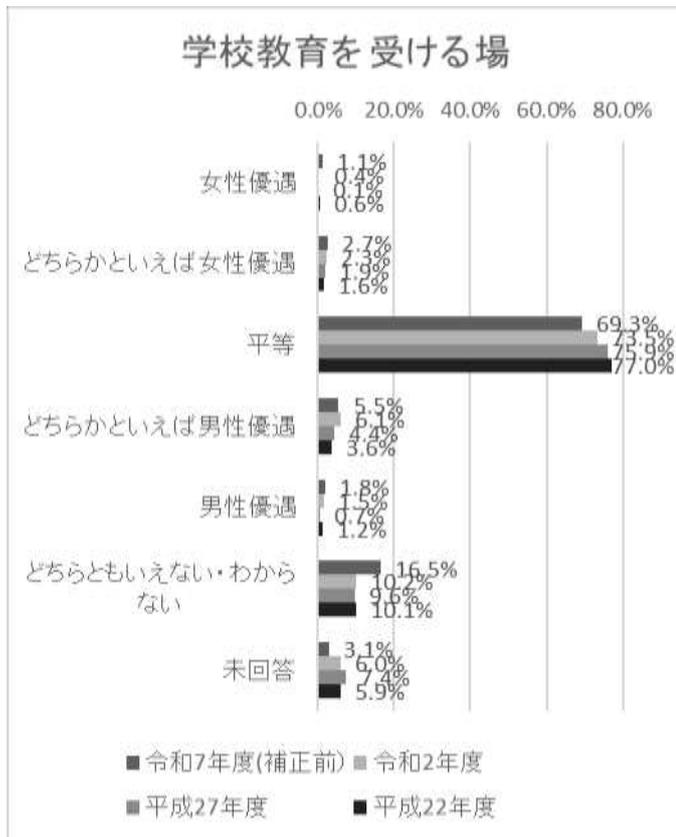
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%

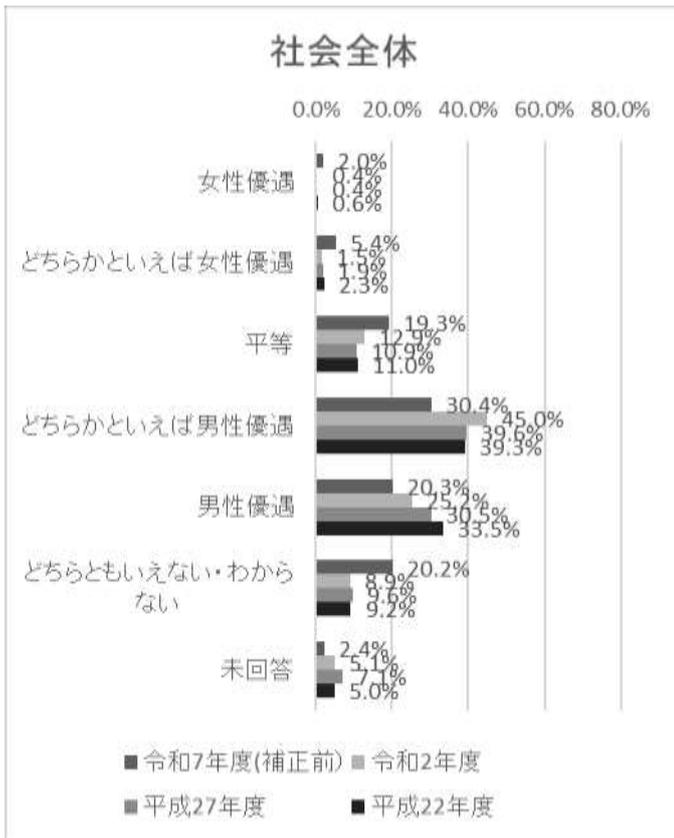


【回答推移（平成22年度～令和7年度）・項目別・全体】

※選択枝を変更したため、調査項目が同じもののみ掲載します。

過去の調査結果と比較するため、令和7年度は未回答数を反映した補正前の結果を使用しています。

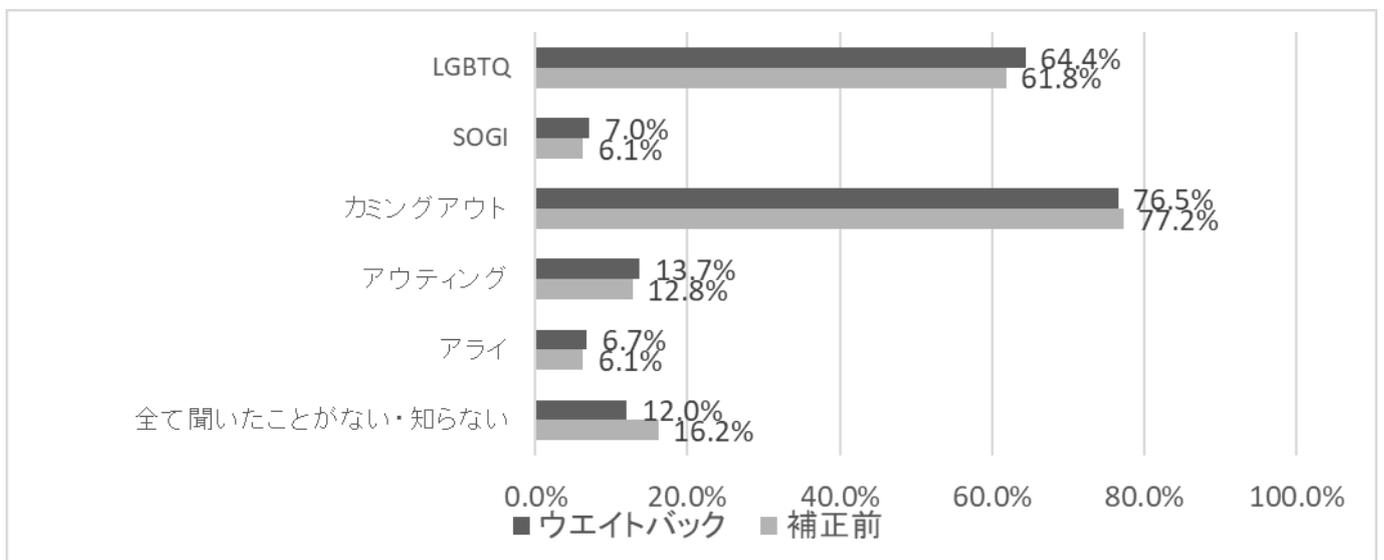




### ⑥ 性的少数者に関することについて

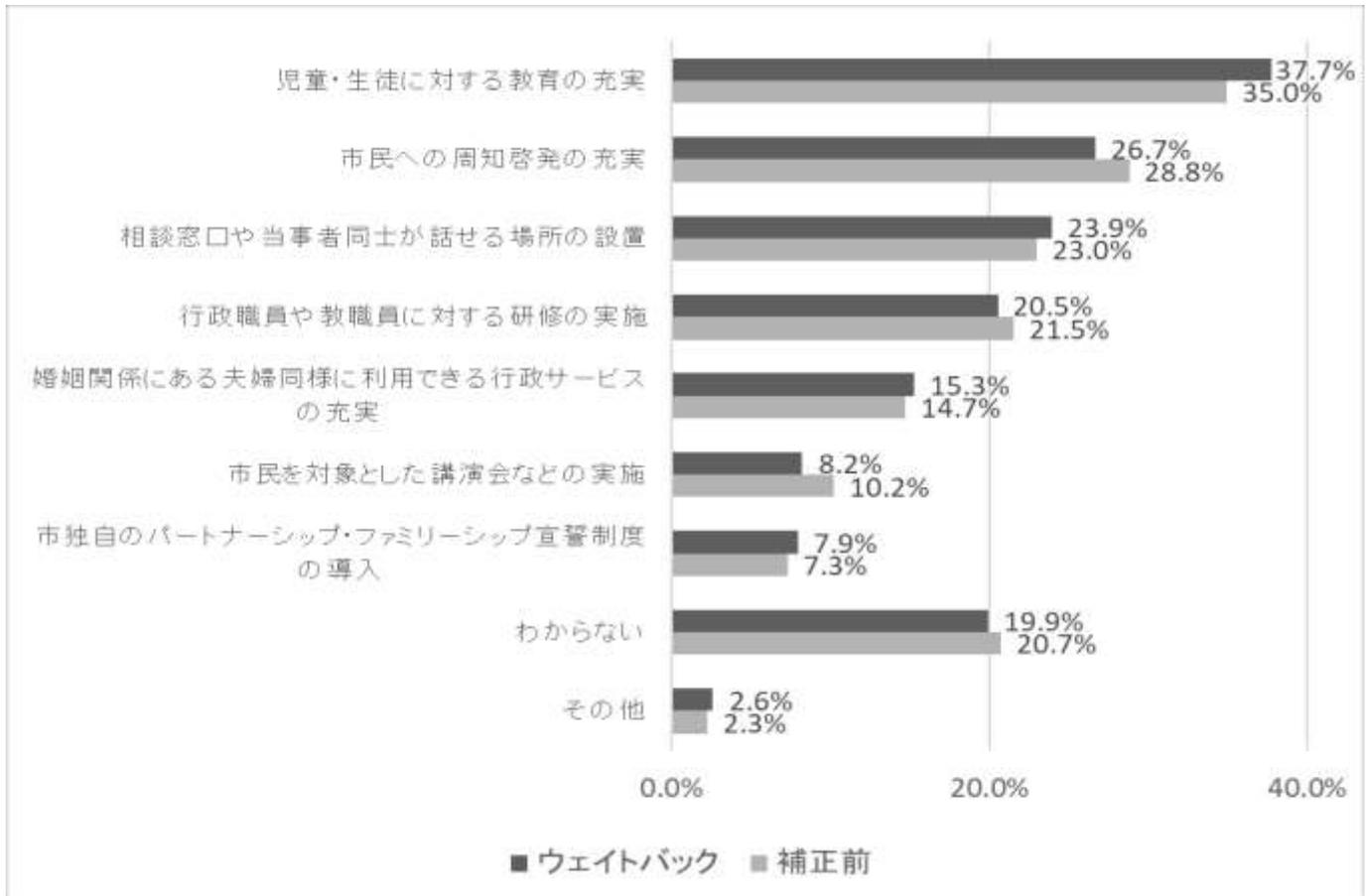
問 12. 次の言葉のなかで、あなたが知っている、または聞いたことがあるものはどれですか（あてはまるものすべてに○を）

「知っている、聞いたことがある」が最も多いのは「カミングアウト」、次に「LGBTQ」です。約1割は、「全て聞いたことがない、知らない」となりました。



問 13. あなたは性的少数者が更に生活しやすくなるために、岩出市ではどのような取組が必要だと思いますか（特に必要だと思うもの2つまでに○を）

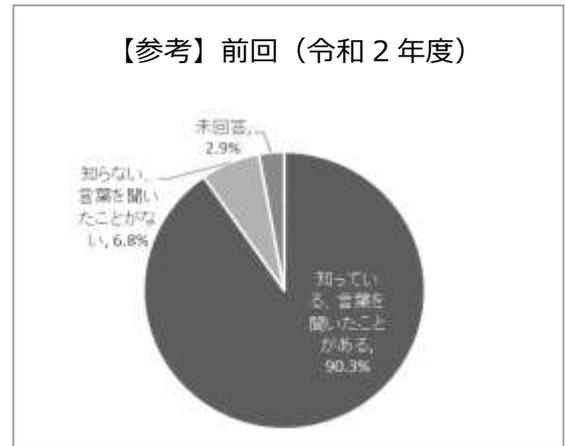
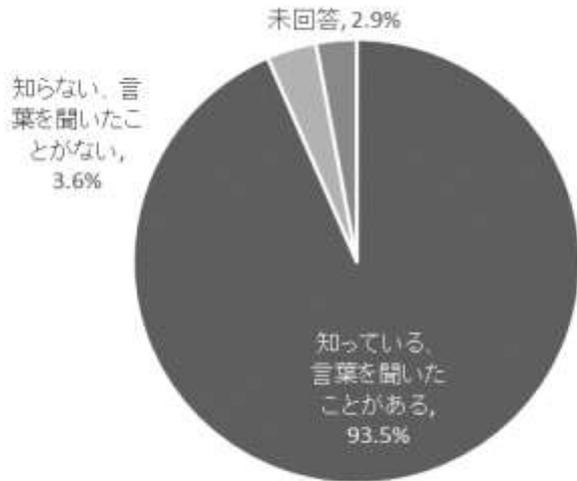
「児童・生徒に対する教育の充実」が最も多く、続いて、「市民への周知啓発の充実」「相談窓口や当事者同士が話せる場所の設置」が続きます。



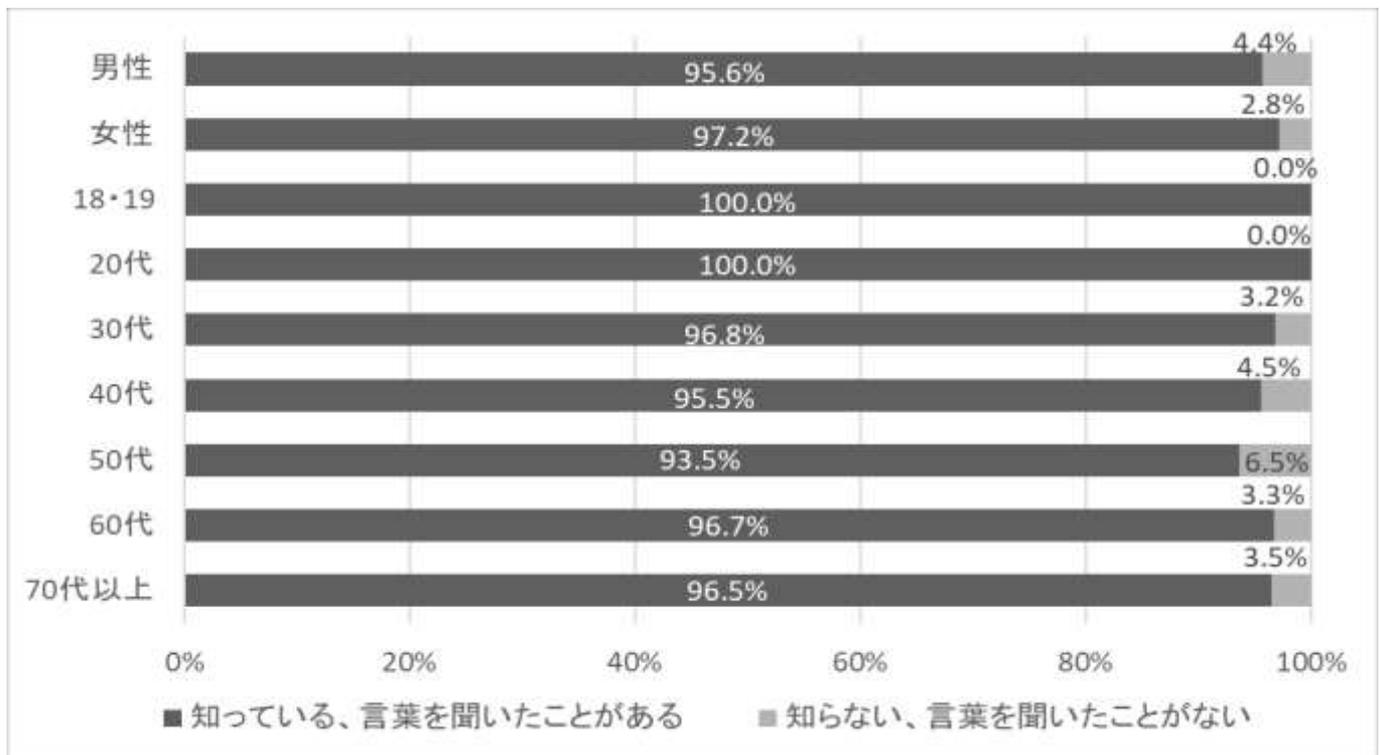
⑦ DVについて

問 14. あなたは、配偶者や交際相手からの身体的・心理的な暴力（ドメスティック・バイオレンス（DV））について知っていますか（1つだけに○を）

「知っている言葉を聞いたことがある」が、93.5%です。  
 性別にみると男性（95.6%）女性（97.2%）、年代別には、18.19歳と20代で100%、次いで多いのは、30代（96.8%）60代（96.7%）です。  
 「知らない、言葉を聞いたことがない」が最も多いのは、50代（6.5%）です。



【項目別・性別・年代別】

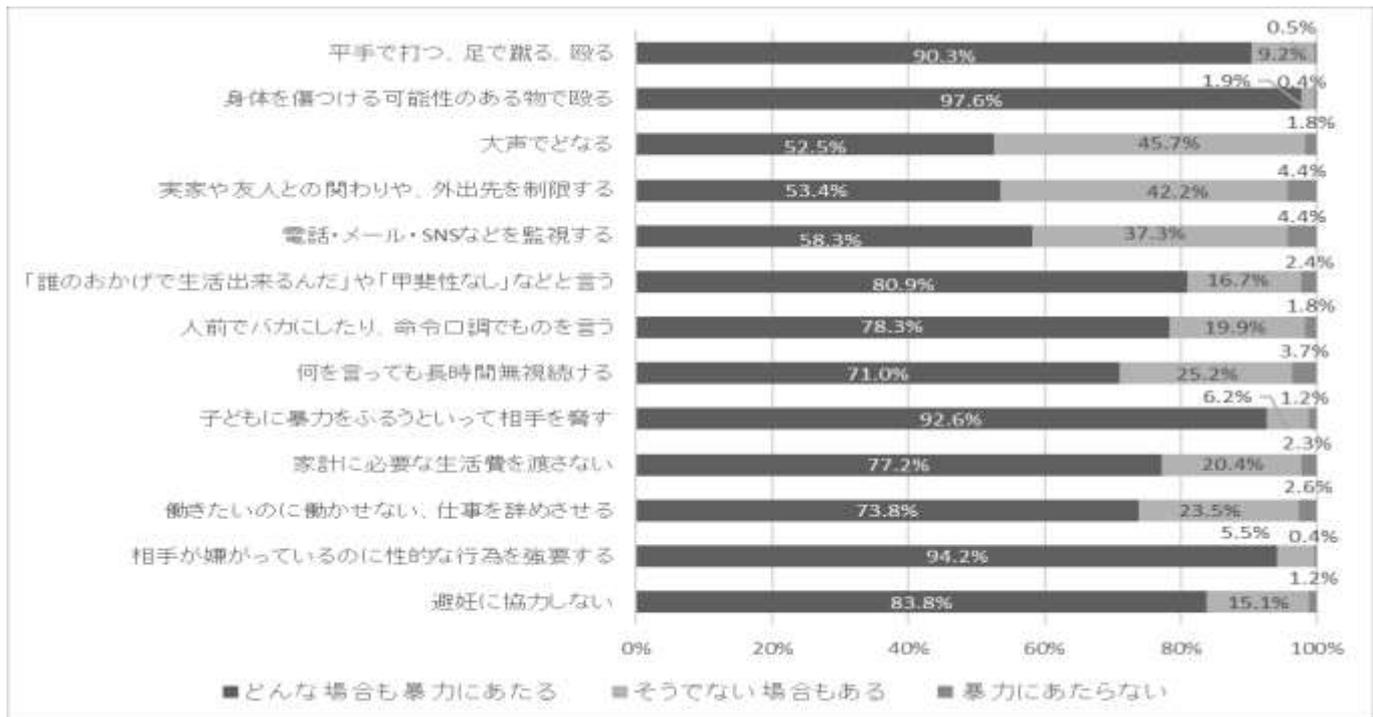


問 15. あなたは、夫婦（恋人）間における次のような行為をどのように思いますか（それぞれ1つだけに○を）

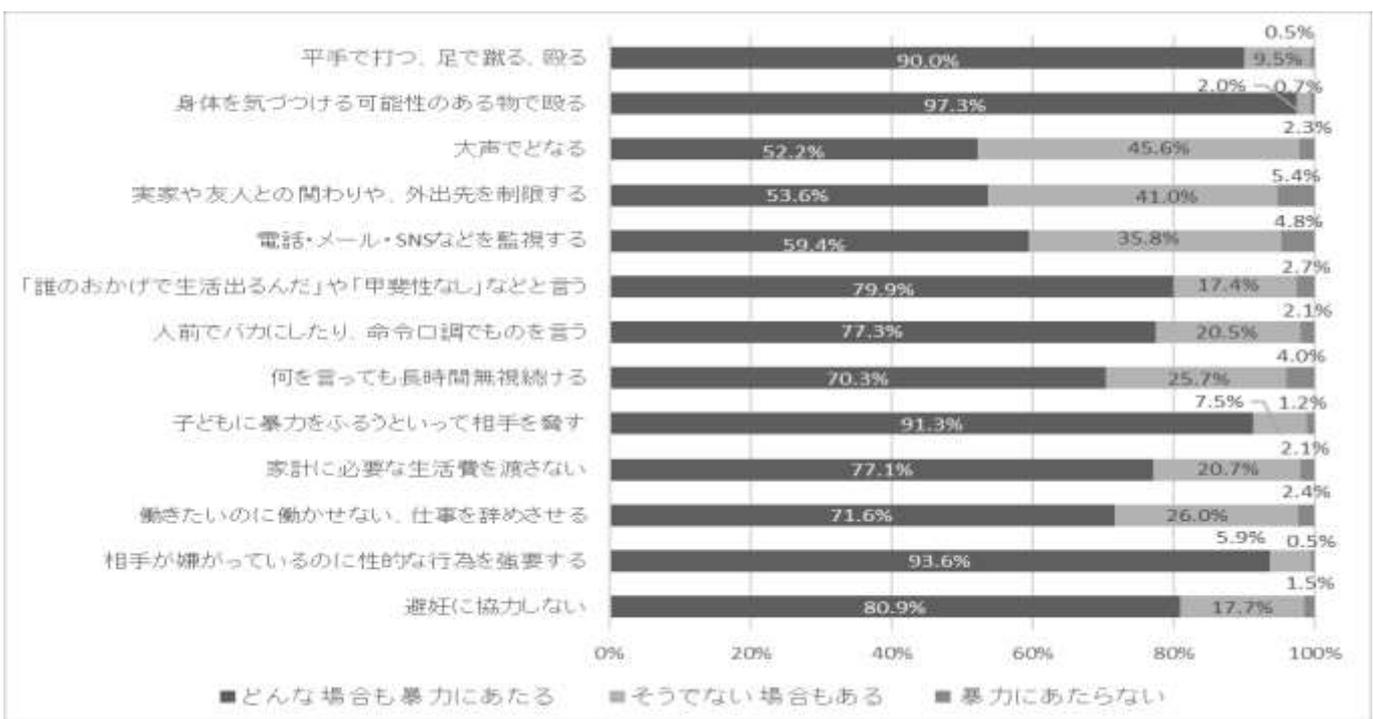
「どんな場合も暴力にあたる」の率が最も高いのは「身体を傷つける可能性のあるもので殴る」（97.6%）で、次に「相手が嫌がっているのに性的な行為を強要する」（94.2%）「子どもに暴力をふるうとって相手を脅す」（92.6%）と続きます。

「暴力にあたる場合もそうでない場合もある」の率が最も高いのは「大声でどなる」（45.7%）、次に「実家や友人との関わりや、外出先を制限する」（42.2%）「電話・メール・SNSなどを監視する」（37.3%）と続きます。

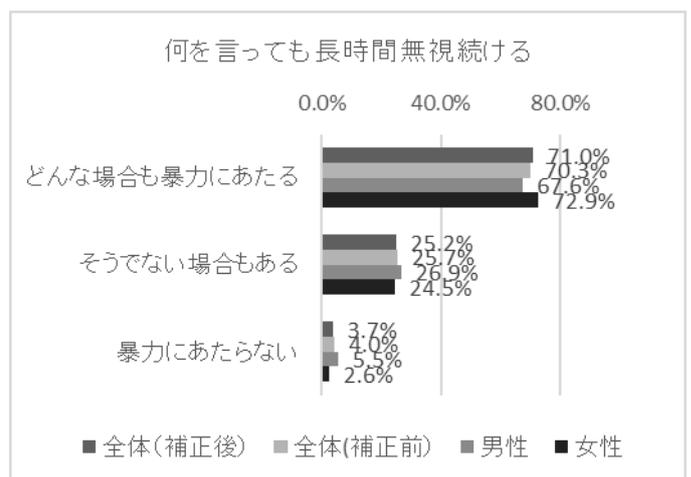
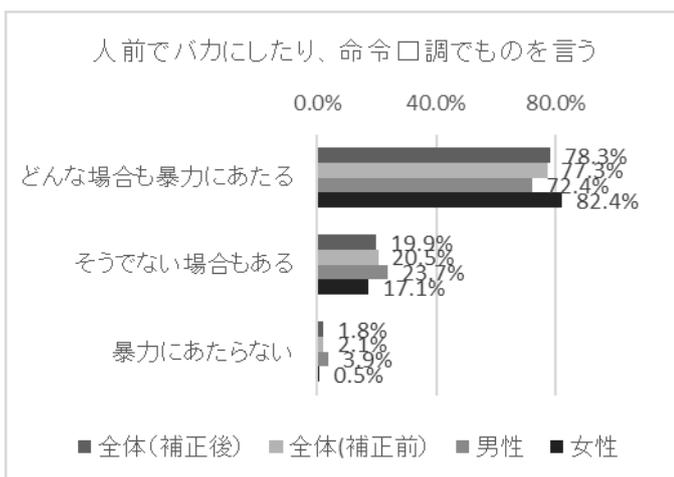
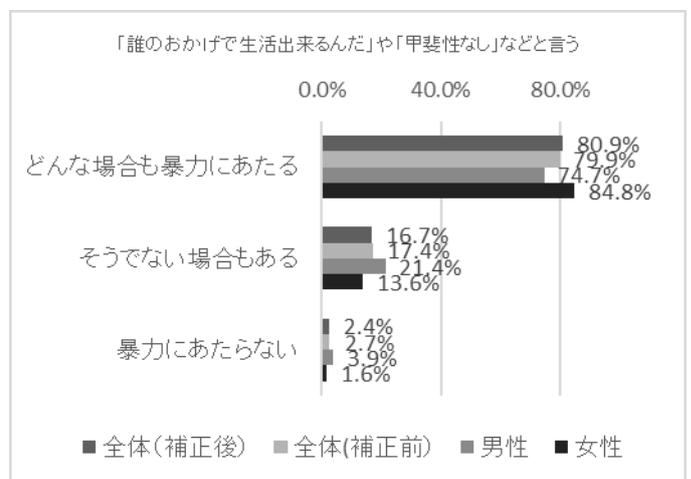
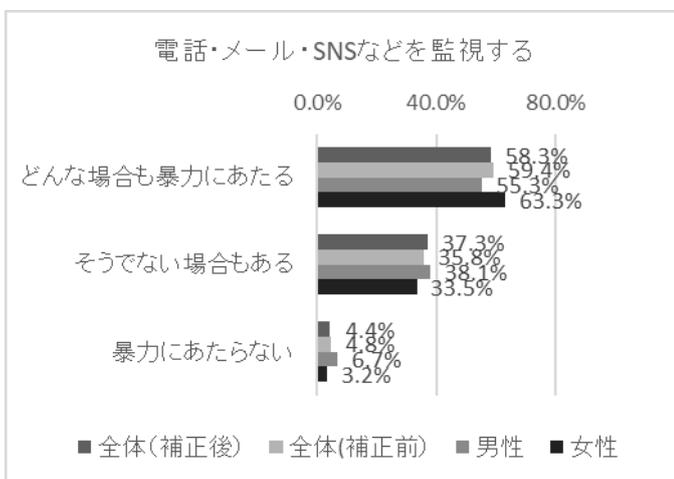
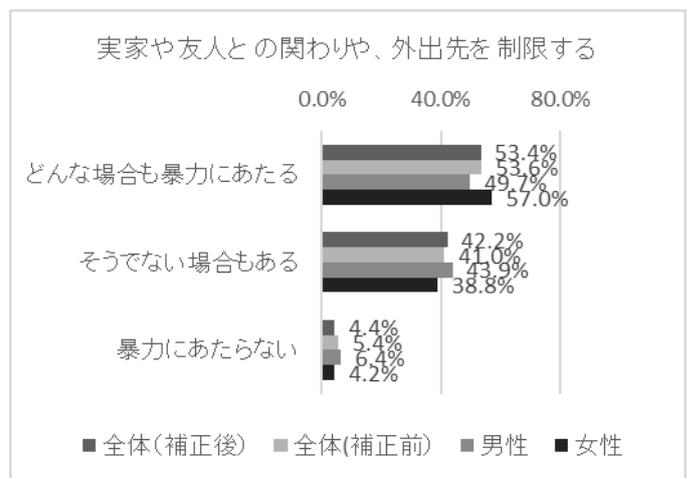
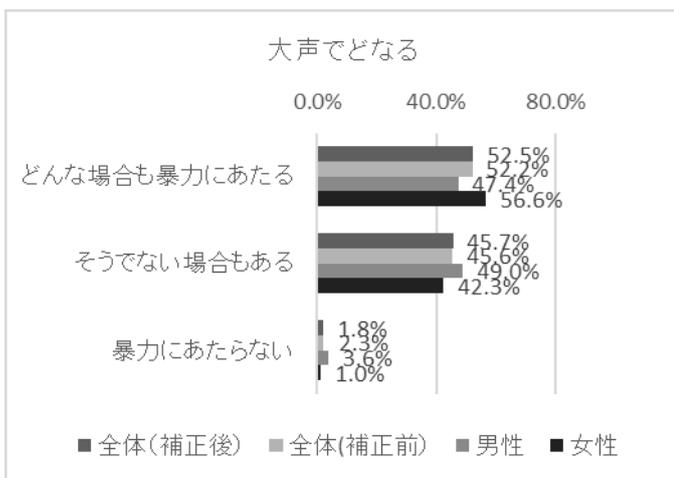
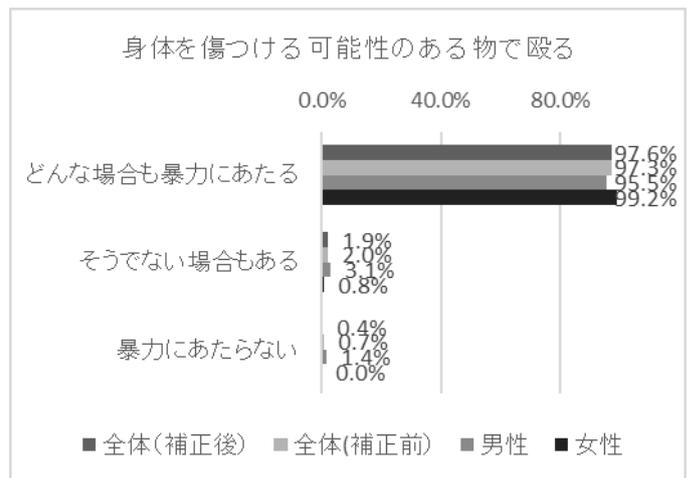
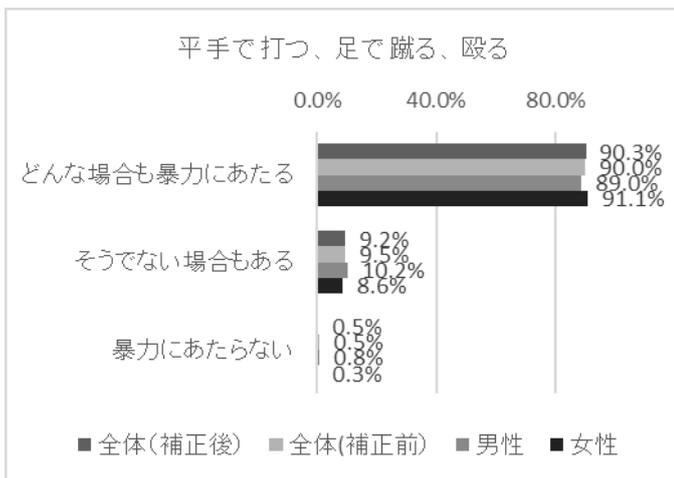
【ウエイトバック（補正）による数値】

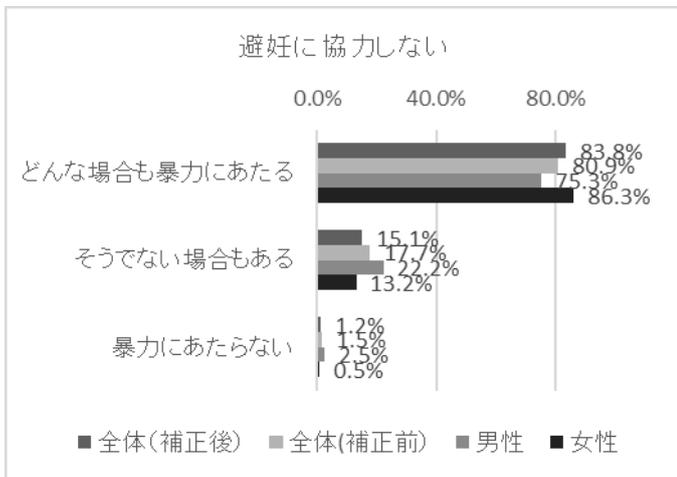
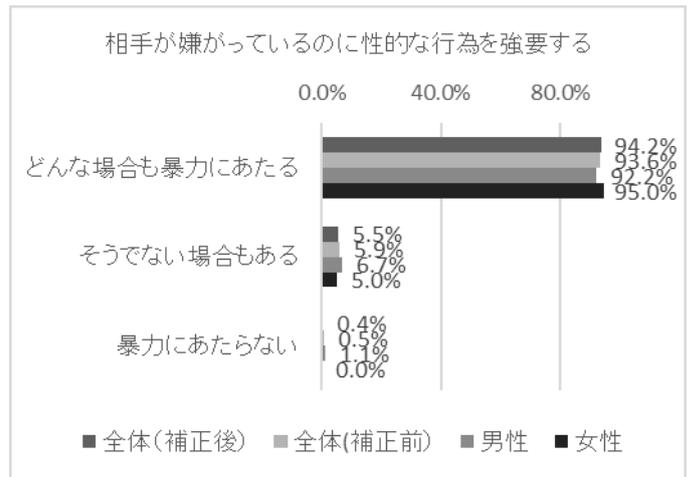
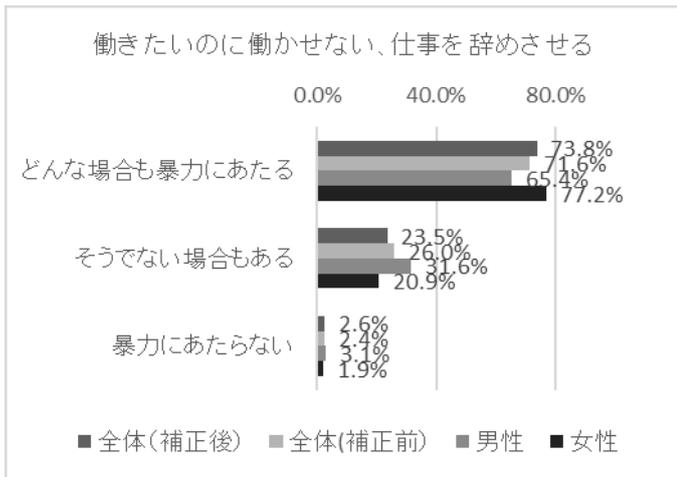
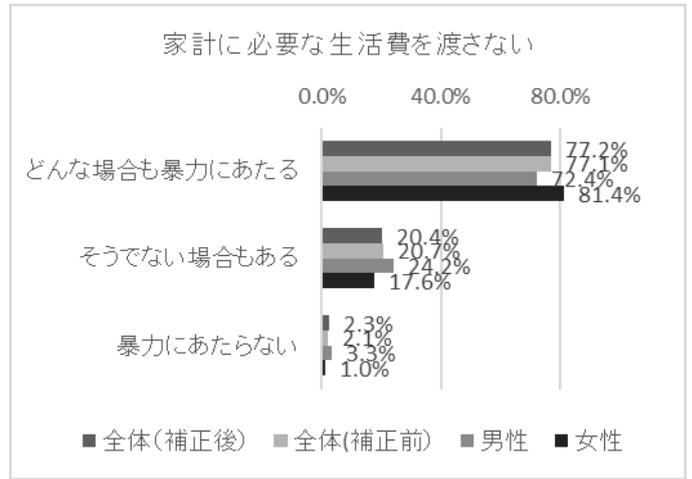
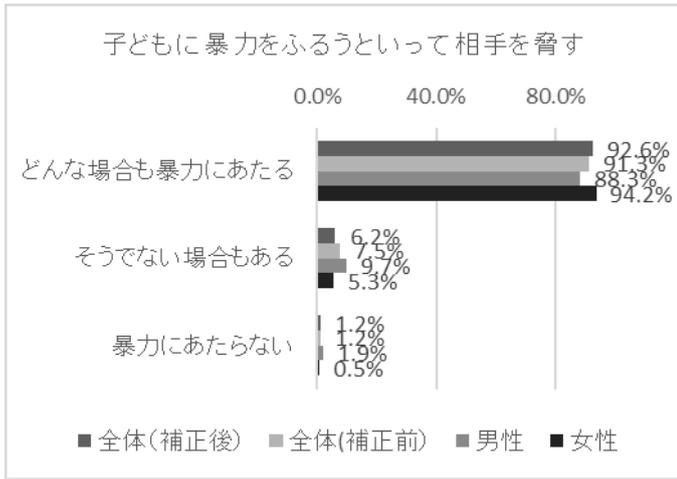


【補正前】



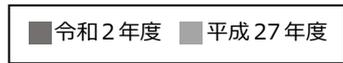
【項目別・全体（ウエイトバック補正・補正前）・性別】



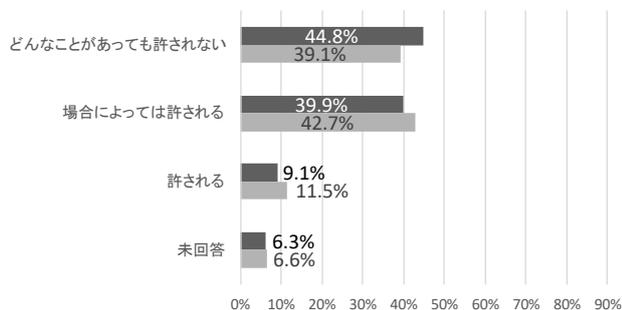


【参考：回答（平成 27 年度、令和 2 年度）】

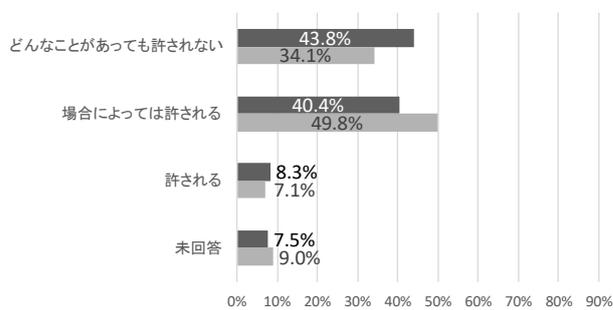
※調査項目が異なるため比較できませんので、参考に掲載します。



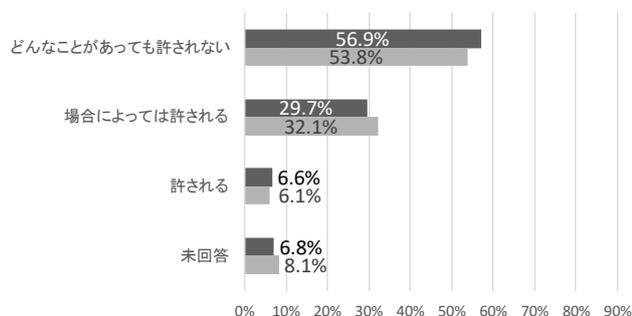
外出を制限する



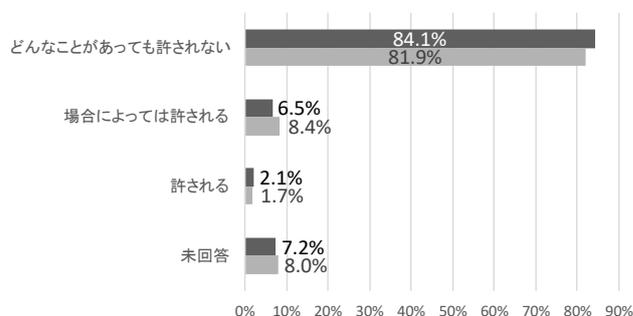
政治活動・経済活動を制限する



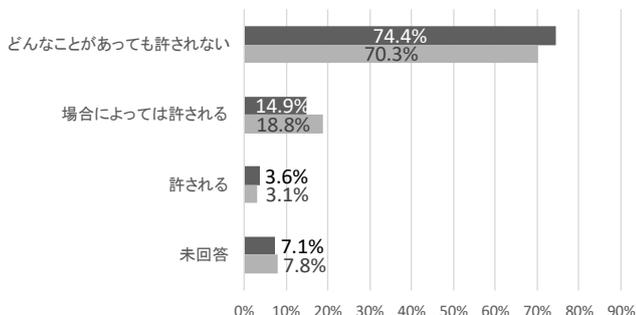
交友関係の監視・制限



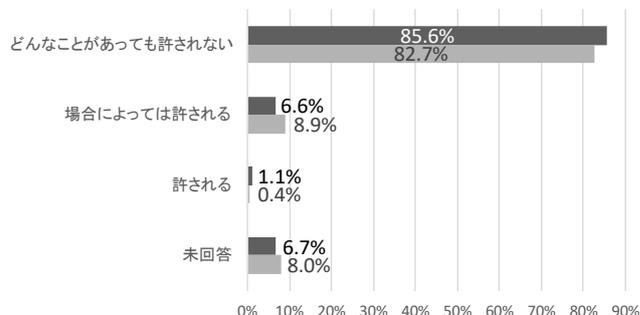
「だれのおかげで生活できるんだ」と言う



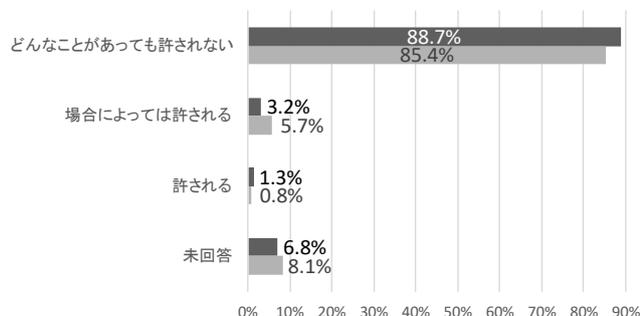
スマートフォン等を監視する



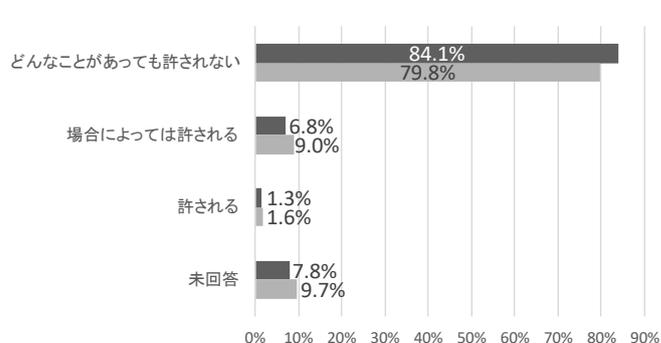
大声で怒鳴ったり、物を壊したりする



平手でうつ

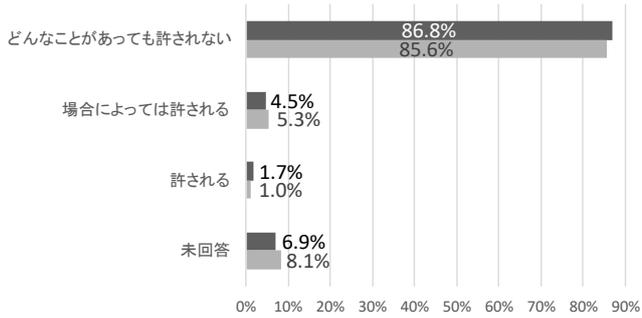


避妊に協力しない

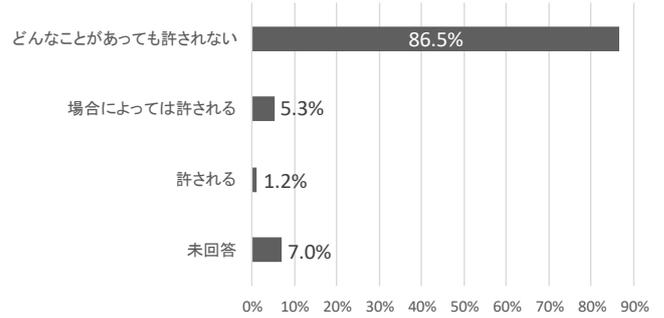


※平成 27 年度の設問は、『だれのおかげで生活できるんだ』『食わせてやってる』というような内容のことをいう」です。

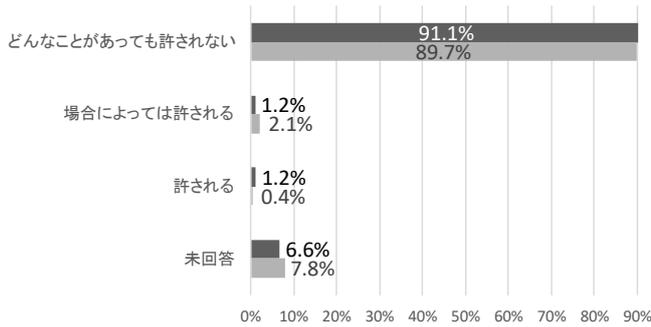
殴るふりをして、おどす



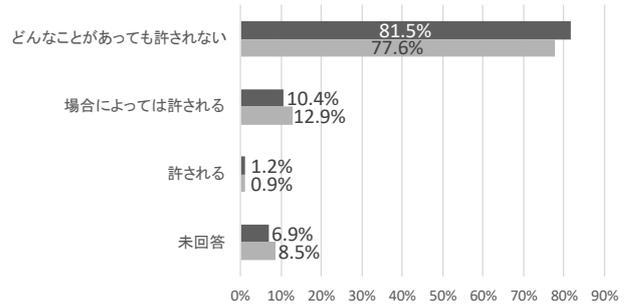
生活費を渡さない



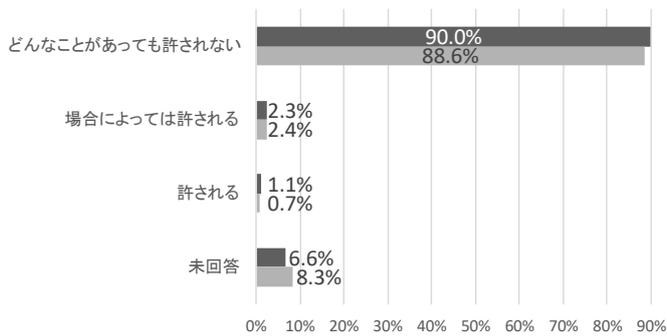
殴ったり蹴ったりする



何を言っても無視し続ける



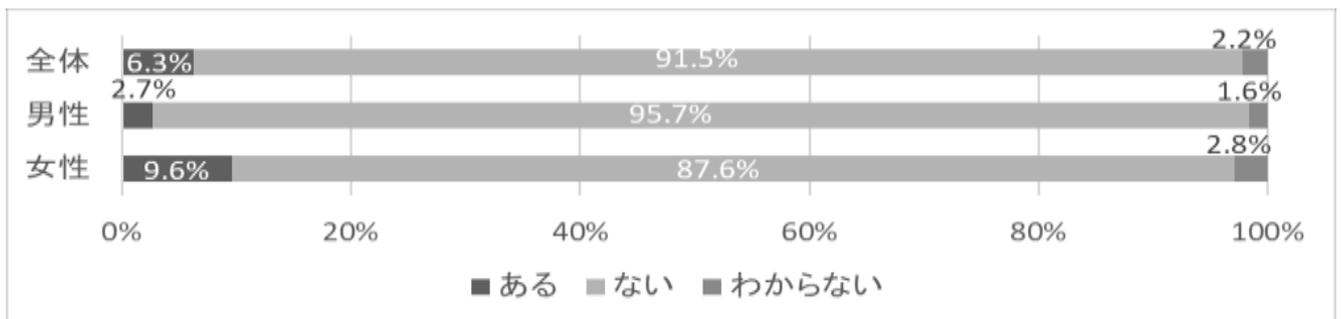
性的な行為を強要する



■ 令和2年度 ■ 平成27年度

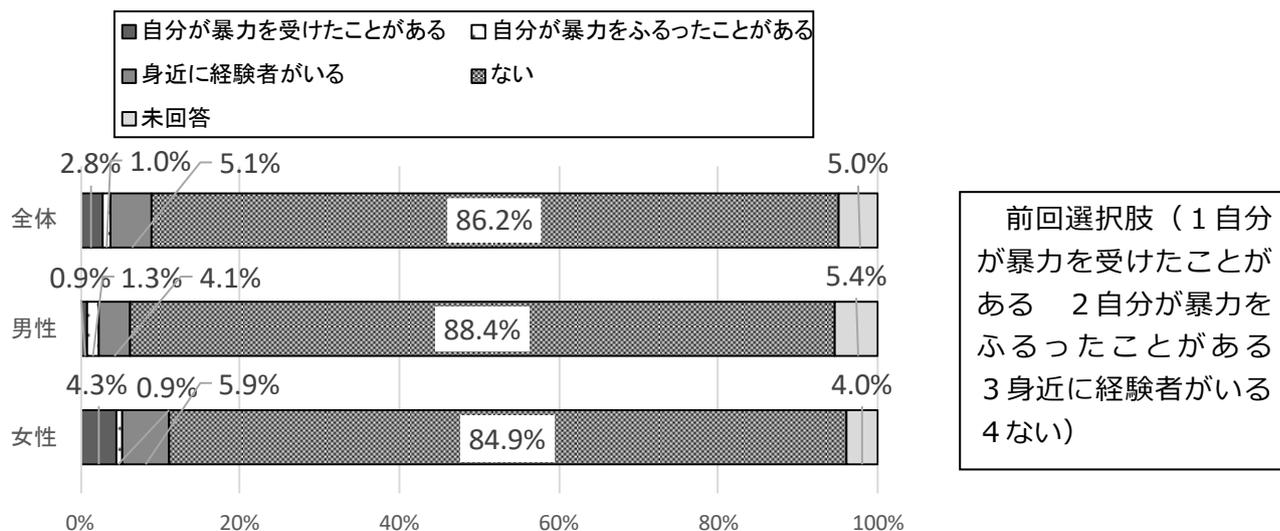
問 16. あなたは、最近（5年以内）配偶者や交際相手から暴力にあたる行為を受けたことがありますか（1つだけに○を）

「ある」と回答した方は、6.3%。性別では、男性 2.7%、女性 9.6%です。



【参考：回答（令和2年度）】

※選択肢が異なるため、比較できません。参考に掲載します。

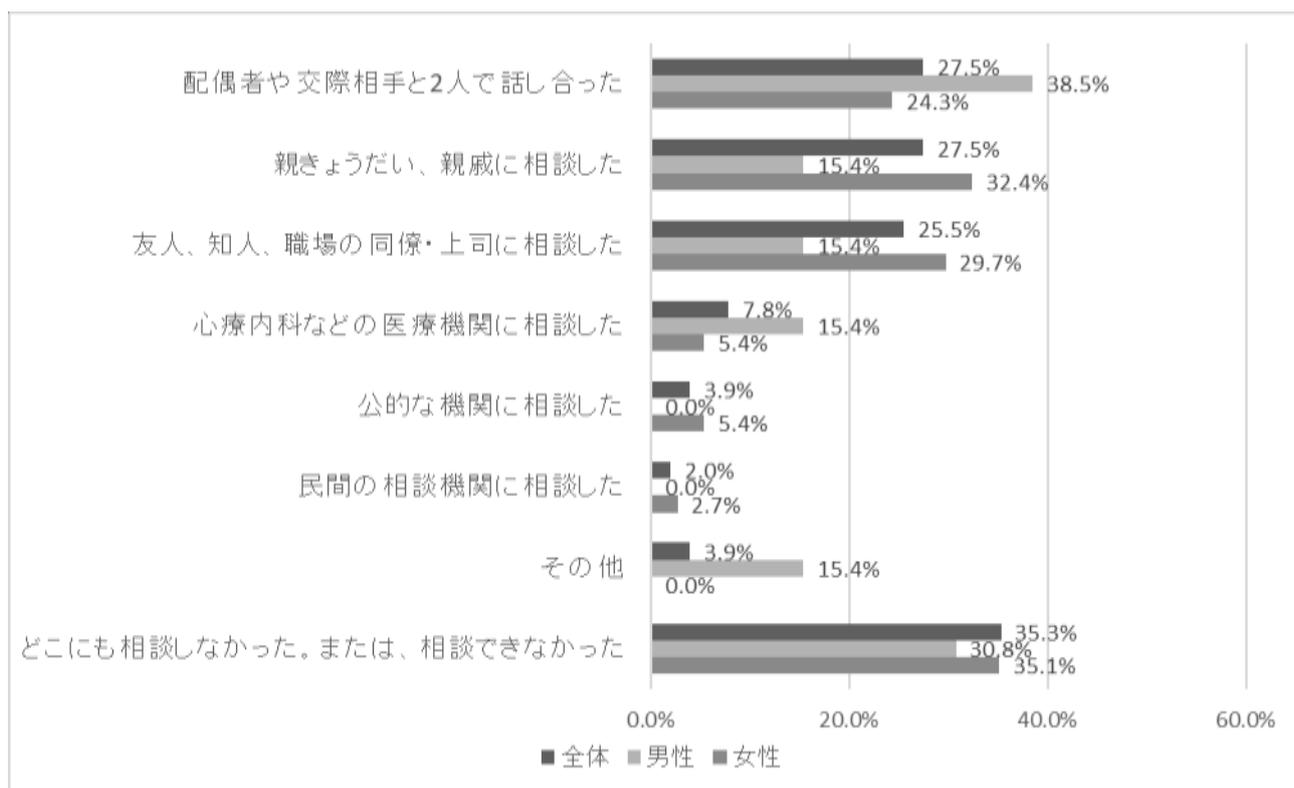


【問16で「1 ある」を選んだ方】におうかがいします

問16-1. その時あなたはどうしましたか？（あてはまるものすべてに○を）

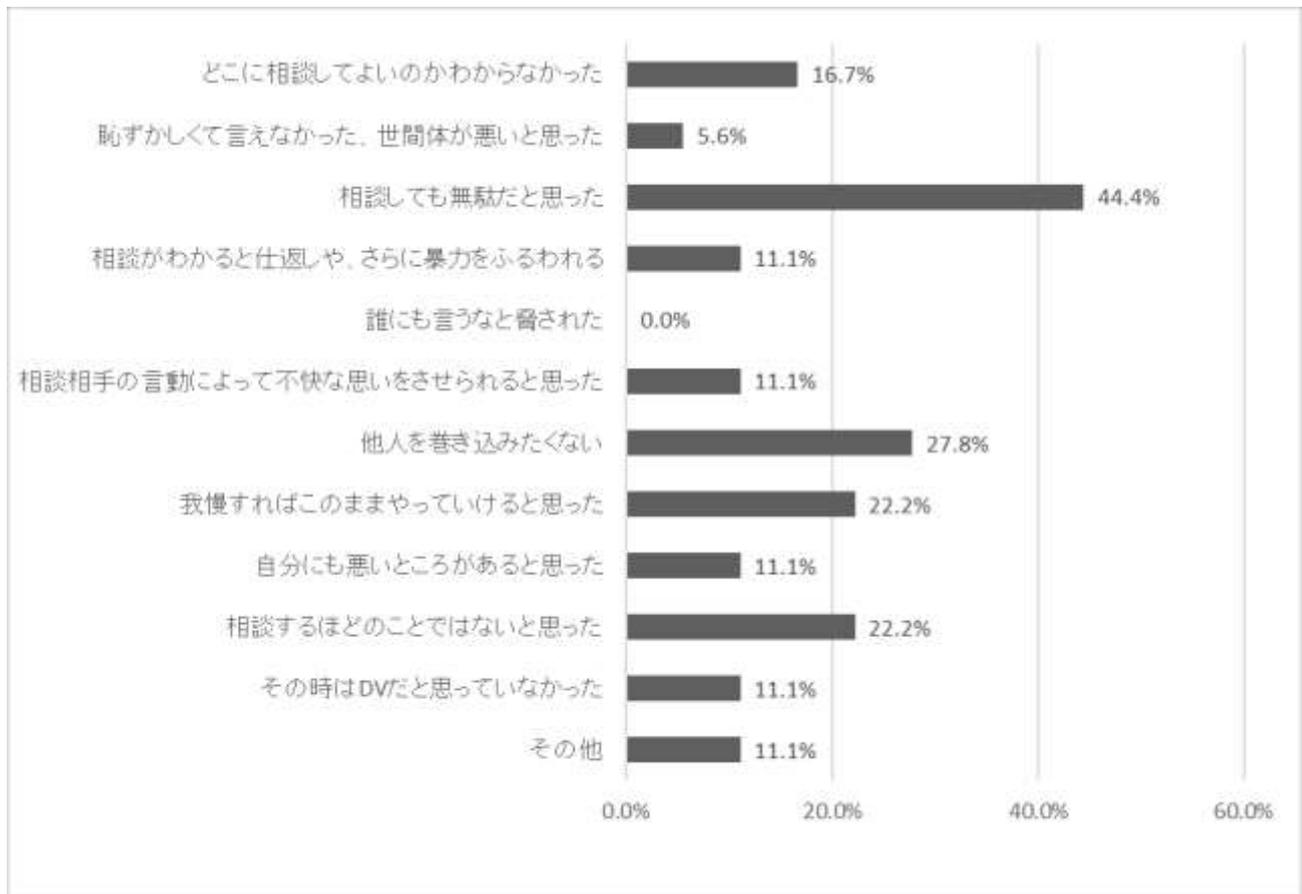
全体では「どこにも相談しなかった。または、相談できなかった」（35.3%）が最も多いです。次いで、「配偶者や交際相手と2人で話し合った」と「親きょうだい、親戚に相談した」が共に27.5%です。

性別にみますと、男性では、「配偶者や交際相手と2人で話し合った」（38.5%）と最も多い、女性では、「どこにも相談しなかった。または、相談できなかった」（35.1%）が最も多いです。



【問 16-1 で「8 どこにも相談しなかった。または、相談できなかった」を選んだ方】  
 問 16-2. どこにも相談しなかった。または、相談できなかったのはなぜですか? (あてはまるものすべてに○を)

「相談しても無駄だと思った」(44.4%) が最も多く、次いで「他人を巻き込みたくない」(27.8%)、「我慢すればこのままやっていけると思った」「相談するほどのことではないと思った」が共に(22.2%)となっています。



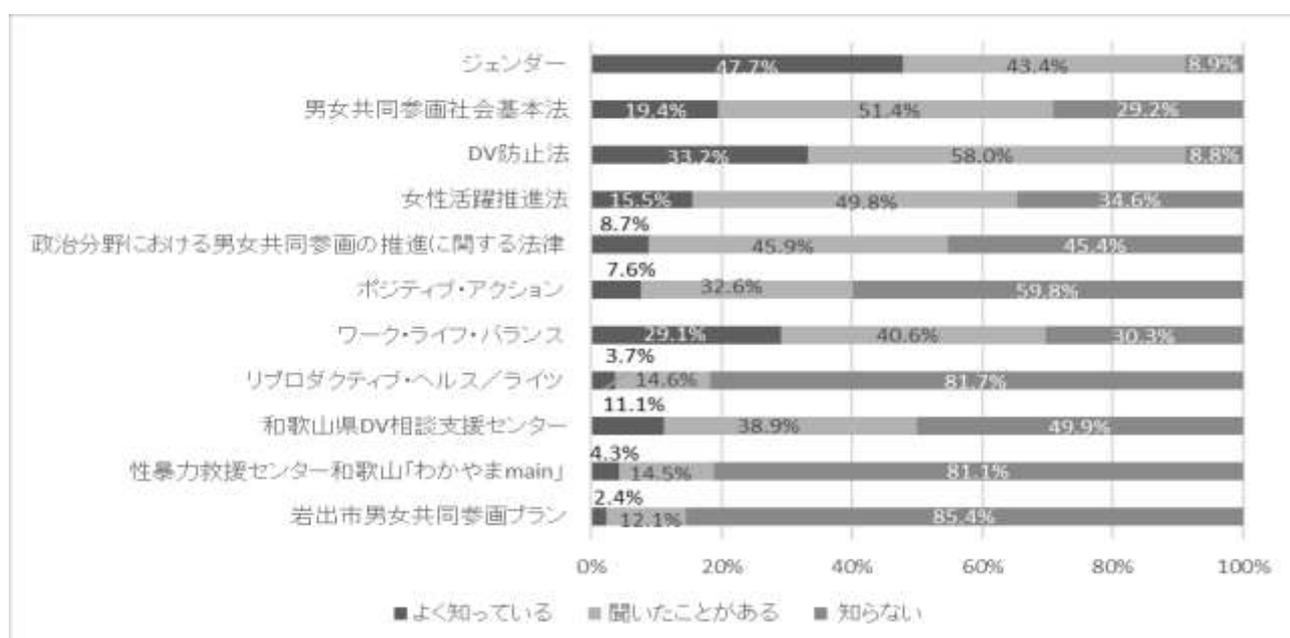
## ⑧ 男女共同参画の取組について

問 17. 次の「ことば」や「ことば」についてご存じですか（それぞれ1つだけに○を）

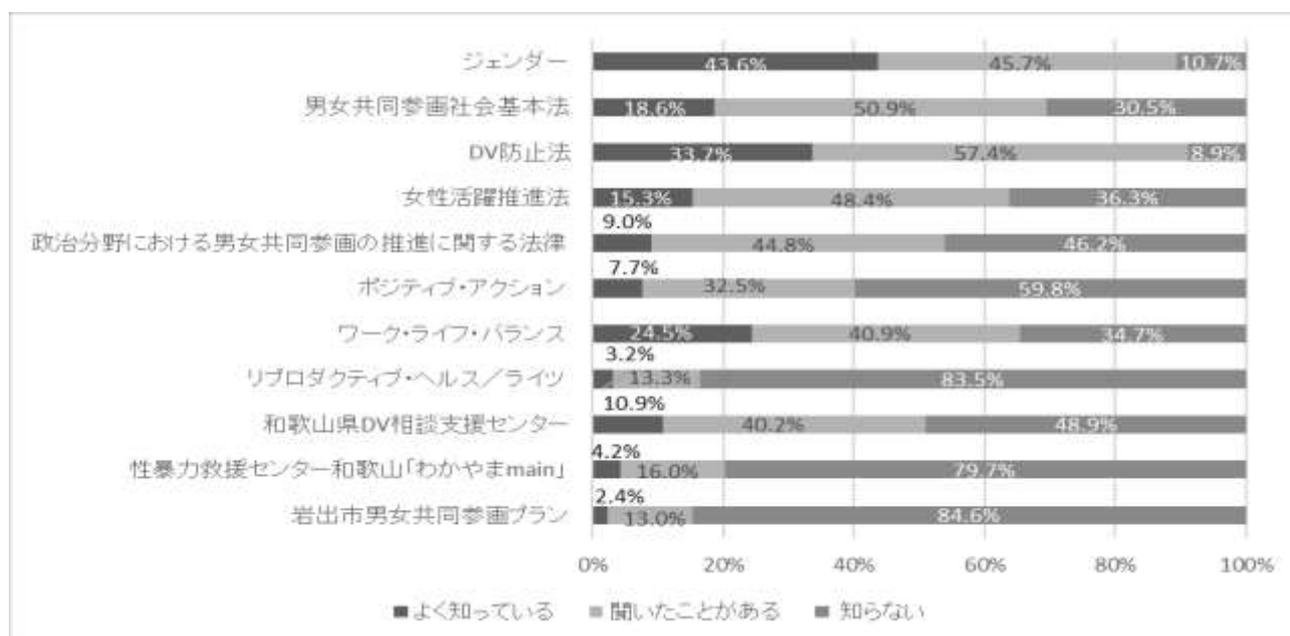
「よく知っている」が最も多いのは、「ジェンダー」（47.7%）。次いで「DV 防止法」（33.2%）「ワーク・ライフ・バランス」（29.1%）です。

「知らない」が最も多いのは、「岩出市男女共同参画プラン」（85.4%）次いで、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」（81.7%）「性暴力救援センター和歌山「わかやま main」」（81.1%）と続きます。

### 【ウエイトバック（補正）による数値】



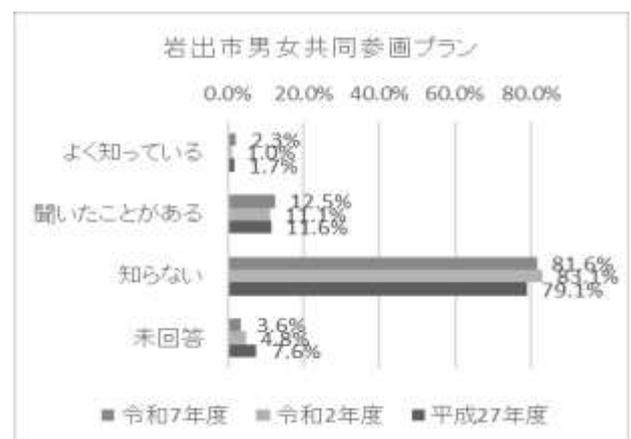
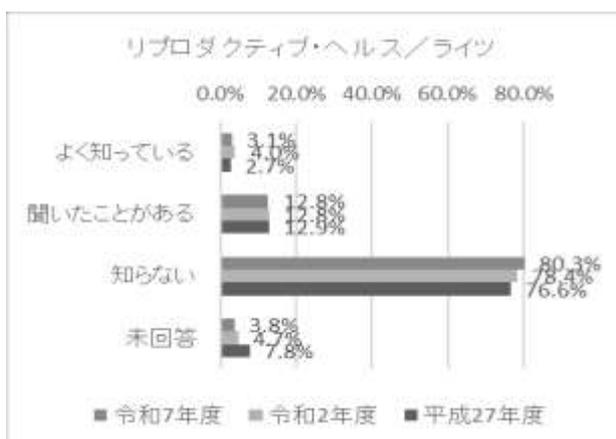
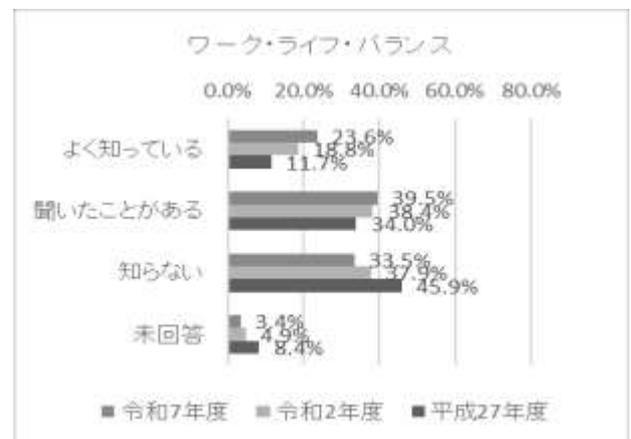
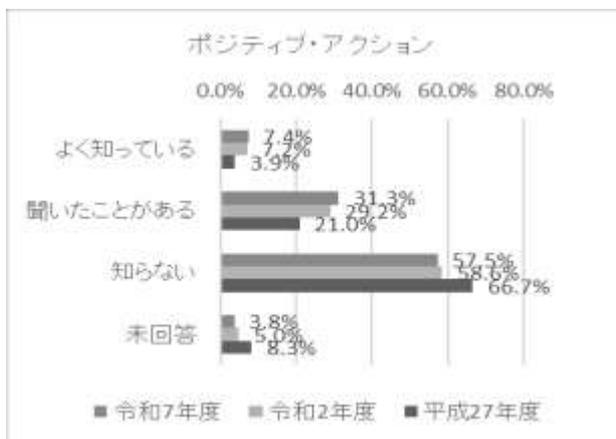
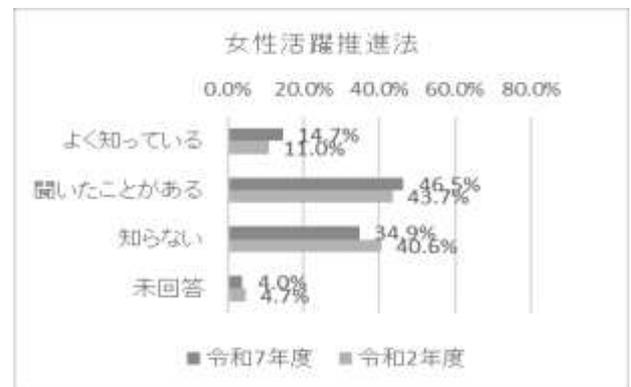
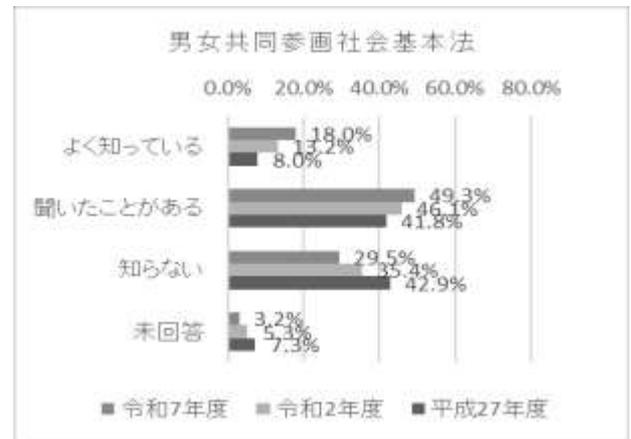
### 【補正前】



【回答推移（平成27年度～令和7年度）・項目別・全体】

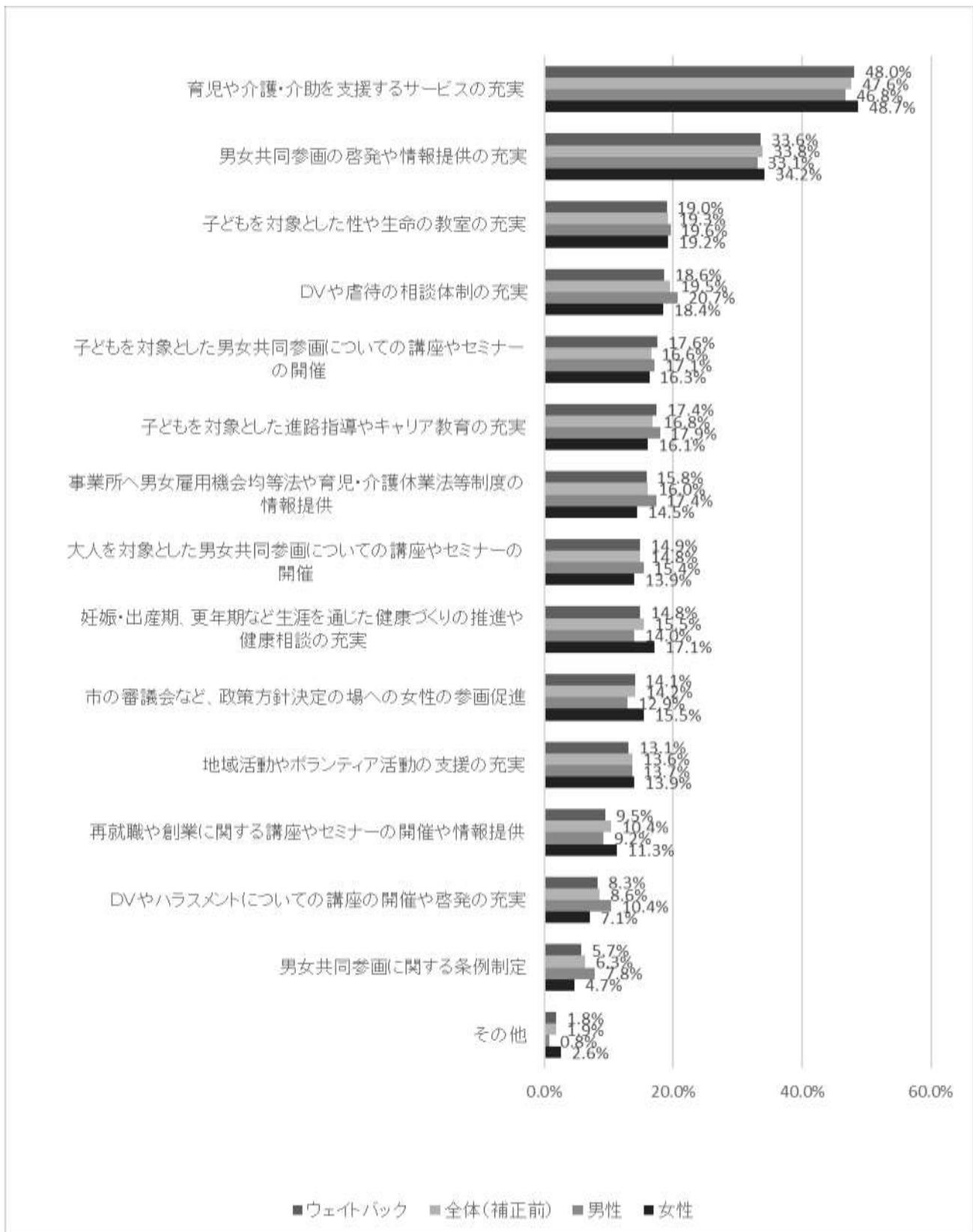
※調査項目が同じもののみ掲載します。

過去の調査結果と比較するため、令和7年度は未回答数を反映した補正前の結果を使用しています。



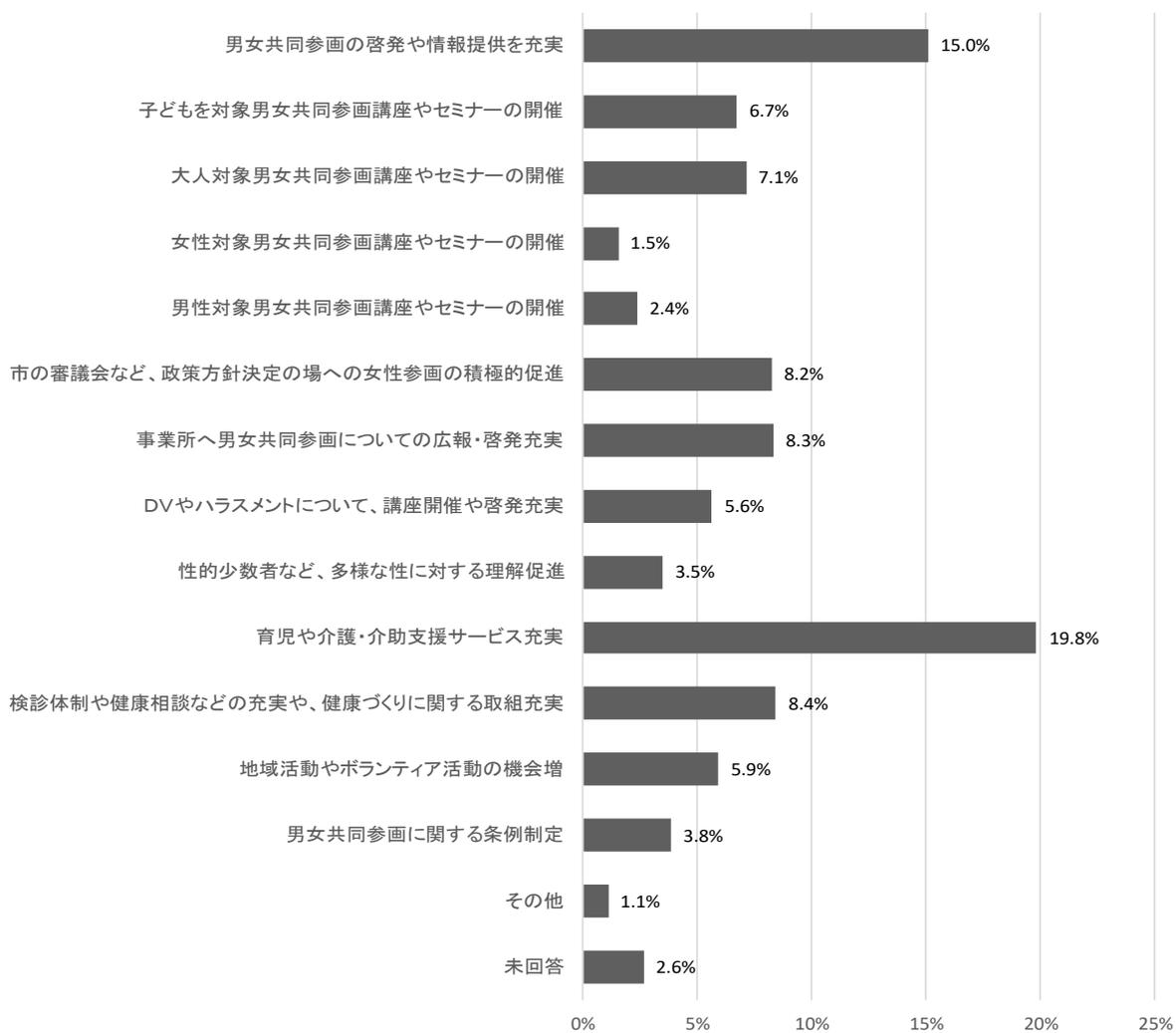
問 18. 今後さらに男女共同参画を進めるために、岩出市がどのようなことに力をいれるべきだと思いますか？（3つまでに○を）

「育児や介護・介助を支援するサービスの充実」が最も多く、次いで「男女共同参画の啓発や情報提供の充実」と続きます。



【参考：回答（令和２年度）】

※選択肢が異なるため、比較できません。参考に掲載します。



## 2 意識調査（事業所）

### （ア）調査概要

#### ① 調査の目的

岩出市では、令和4年3月に「第5次岩出市男女共同参画プラン」を策定し、「性別に関わりなく活躍できるまち岩出」の実現をめざして、取り組みを進めています。現プランは、令和8年度で計画期間が終了することから、新たなプランの策定に向け、事業所の皆様のお考えや状況を把握し、基礎資料とするために実施しました。

#### ② 調査設計

調査対象	岩出市商工会会員
調査数	664 事業所
調査方法	郵送による調査票の配付・回収および Web 回答（*） （*）依頼状に掲載した二次元コードを通じ、Web（インターネット）からの回答を受け付けた。郵送による配布・回収（一部 WEB 上での回答）
調査期間	令和7年7月28日～9月12日

#### ③ 回収結果

有効回収数	231（郵送：187 WEB：44）
有効回収率	34.7%

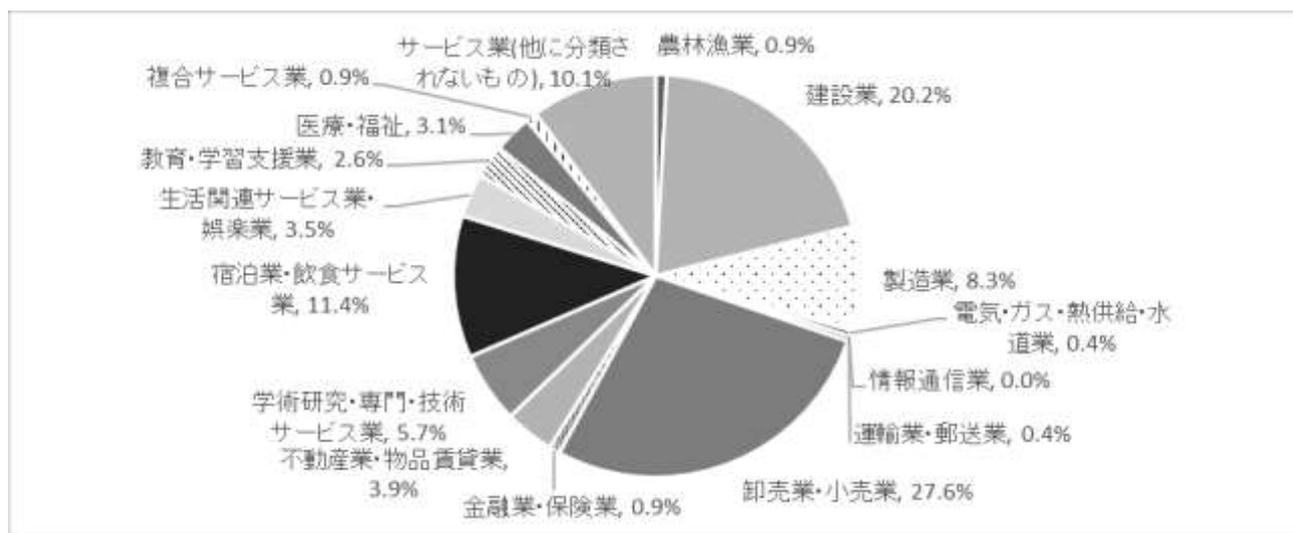
#### ④ 報告書の見方

- ・図表の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載していますが、一部簡略化した表現を用いている場合があります。

(イ)調査結果

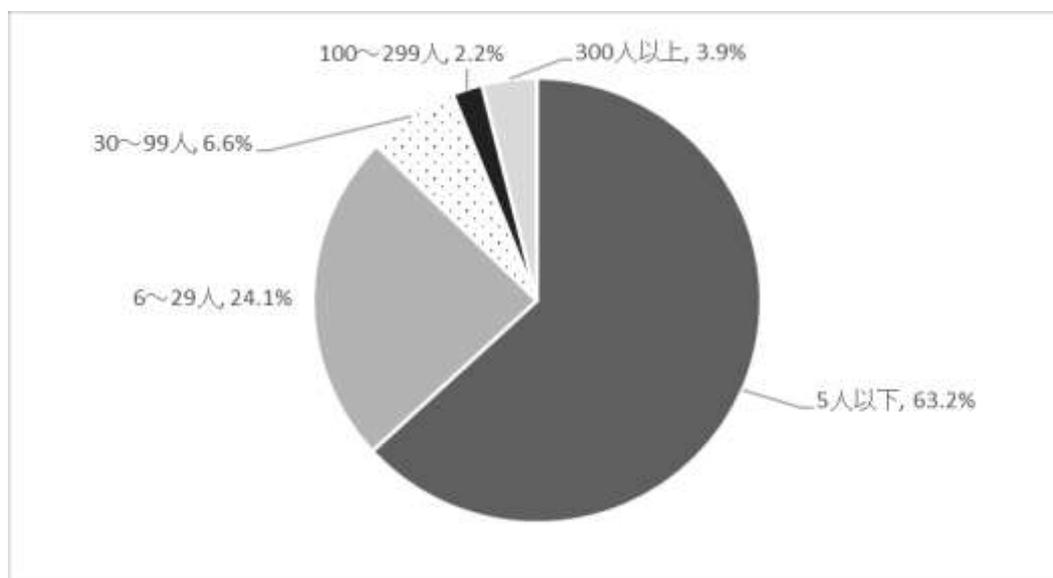
問 1. 貴社（本社、支店、営業所なども含めた企業全体）の産業分類についておうかがいします（○は1つ）

「卸売業・小売業」（27.6%）が最も多く、ついで「建設業」（20.2%）「宿泊業・飲食サービス業」（11.4%）となっている。



問 2. 貴社（本社、支店、営業所なども含む企業全体）の従業員規模は次のどれにあてはまりますか（○は1つ）

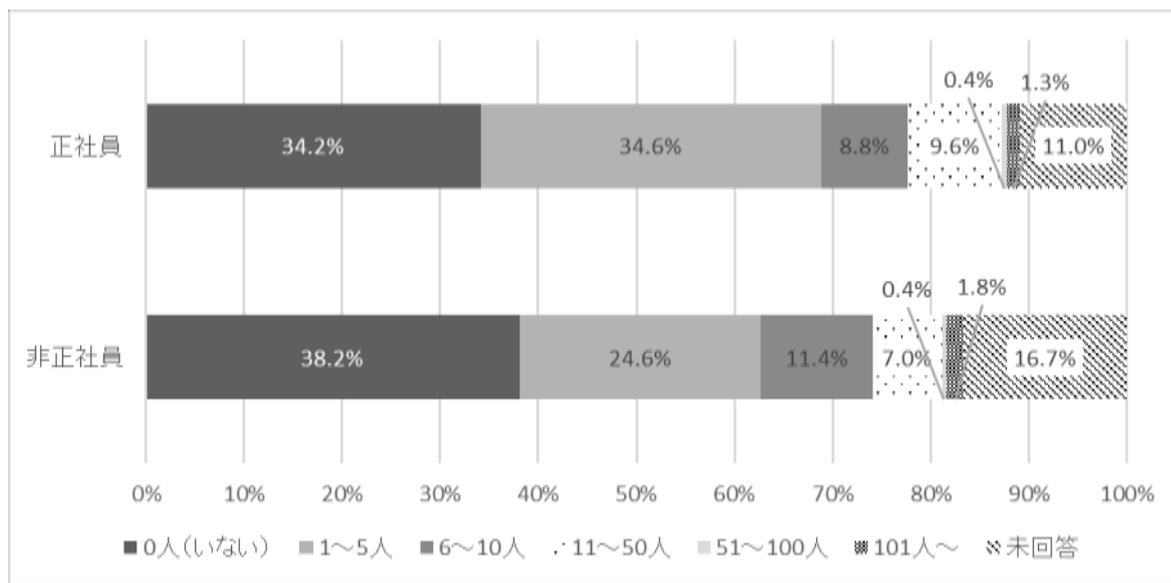
「5人以下」（63.2%）が最も多く、ついで「6～29人」（24.1%）「30～99人」（6.6%）となっている。



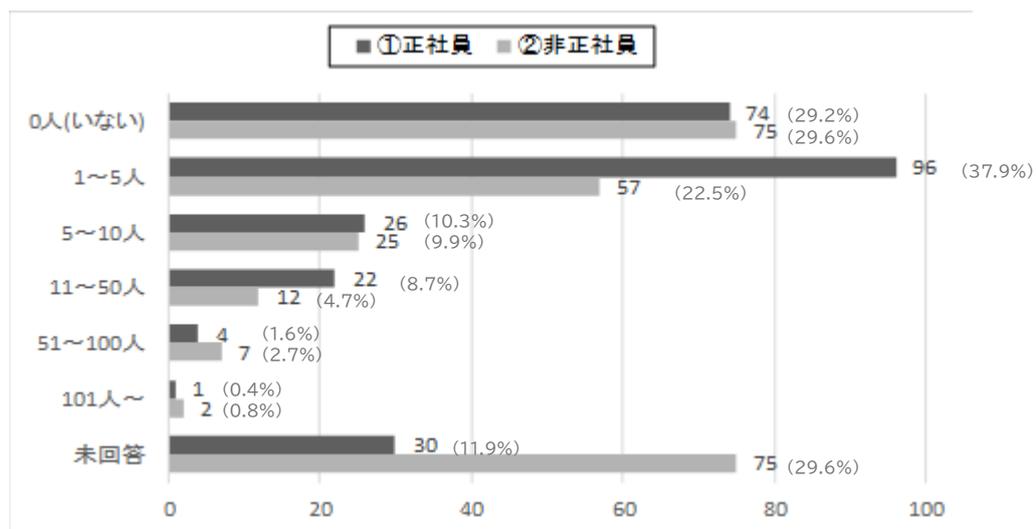
問 3. 貴社（本社、支店、営業所なども含む企業全体）の従業員規模は次のどれにあてはまりますか（○は1つ）

「正社員」では、「1～5人」（34.6%）が最も多く、ついで「0人（いない）」（34.2%）となっている。

「非正社員」では、「0人（いない）」（38.2%）が最も多く、ついで「1～5人」（24.6%）となっている。



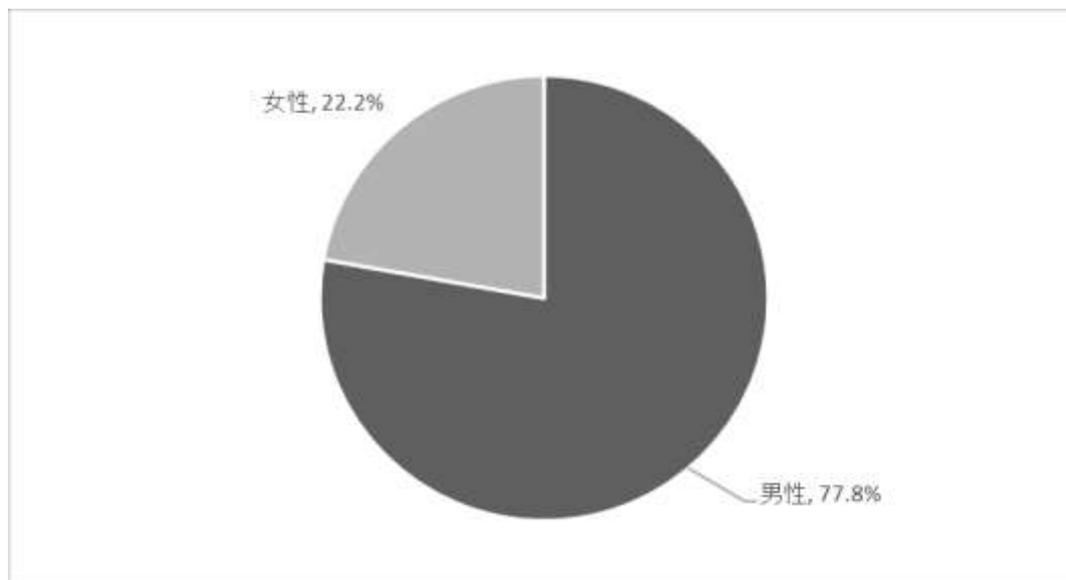
【参考：前回（令和2年度）】



【①正社員②非正社員のどちらも「0人（いない）」と答えられた方】

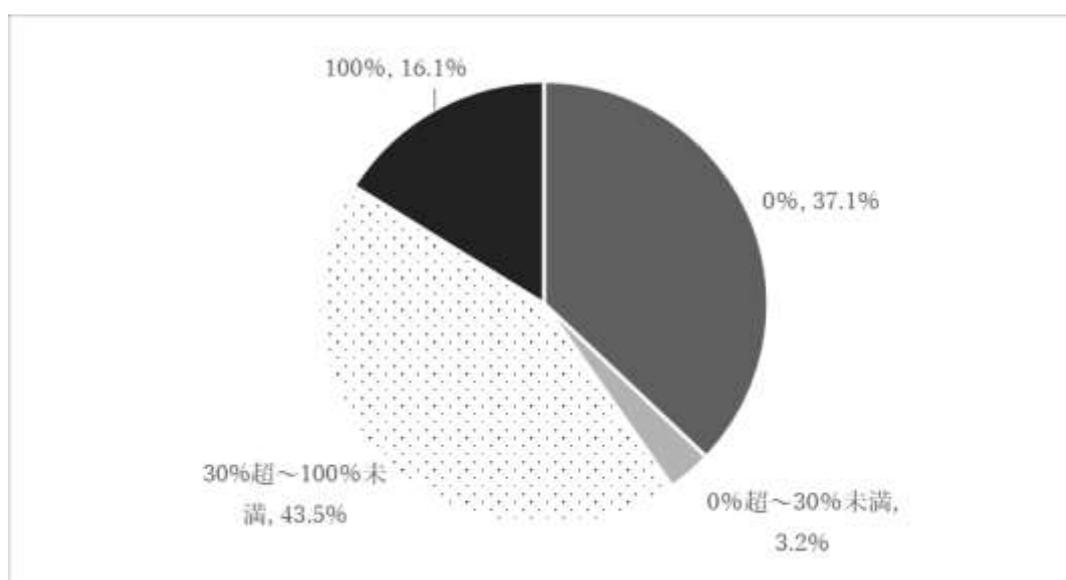
問3-1. 個人事業主の方は性別についておうかがいします（○は1つ）

社員が「0人（いない）」事業所のうち事業主の性別を回答いただいた事業所（90社）の性別比率は、男性（77.8%）女性（22.2%）です。



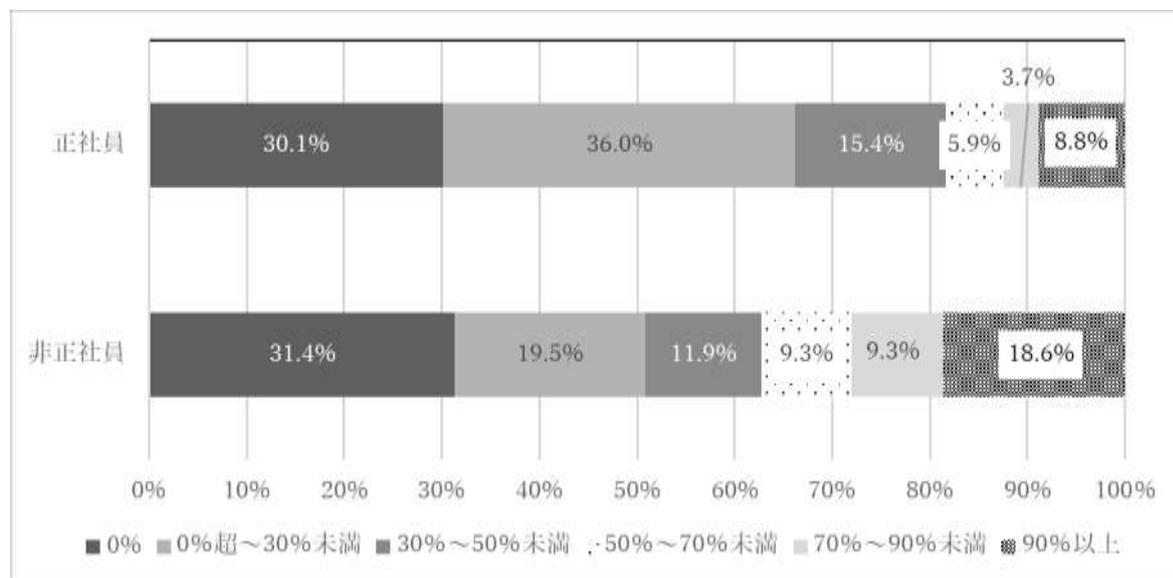
問3-1. 法人の方は貴事業所従業員の性別ごとの人数をおうかがいします（人数を記入）

社員が「0人（いない）」事業所のうち従業員の性別人数を回答いただいた事業所（62社）の事業所従業員の女性の割合は、「30%超～100%未満」（43.5%）が最も多いです。



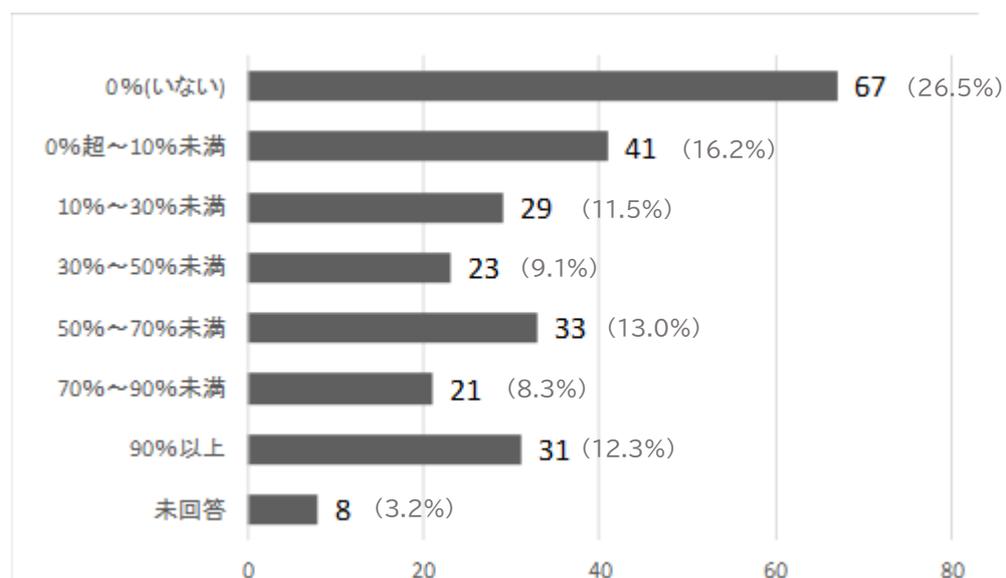
問4.従業員の女性の割合についておうかがいします（それぞれ、○は1つ）

正社員の女性割合は「0%超～30%未満」（36.0%）が最も多く、続いて「0%」（30.1%）  
 「30%～50%未満」（15.4%）です。  
 非正社員は、「0%」（31.4%）が最も多く、続いて「0%超～30%未満」（19.5%）「90%  
 以上」（18.6%）となっています。



【参考：前回（令和2年度）】

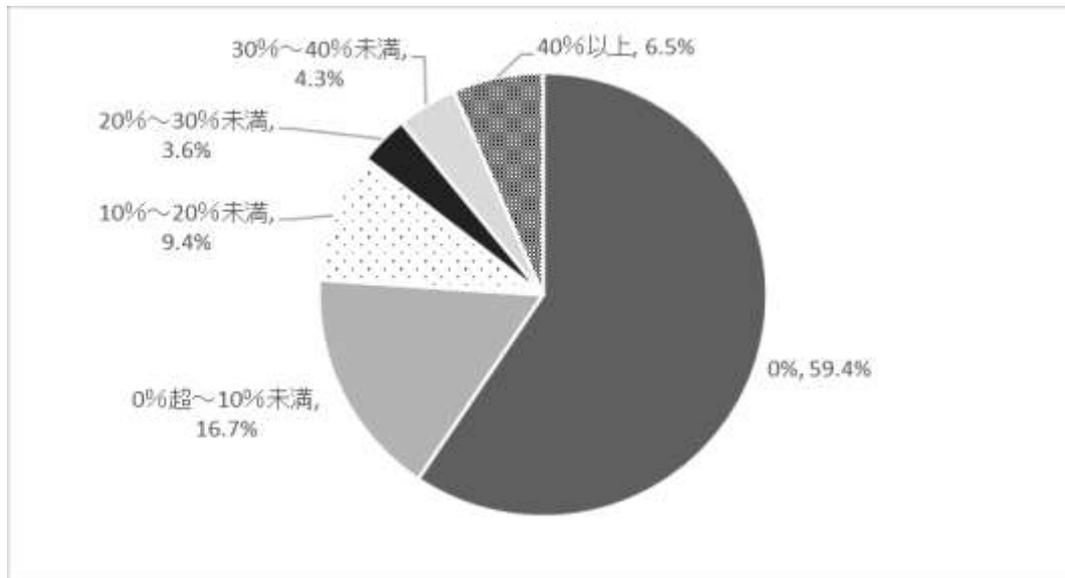
※前回は、正社員・非正社員をわけず、女性従業員の割合を伺いました。  
 ※選択肢が異なります。



【問4で女性従業員がいるとお答えいただいた事業所】

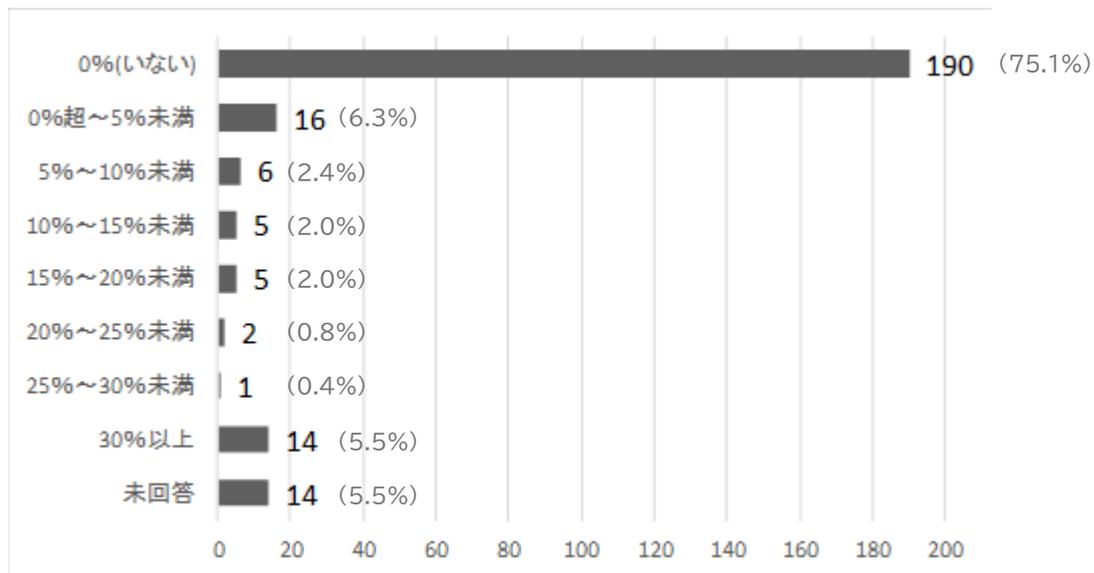
問5.貴事業所の管理職（課長相当職以上）の女性の割合についておうかがいします（○は1つ）

「0%」（59.4%）が最も多く、続いて「0%超～10%未満」（16.7%）「10%～20%未満」（9.4%）です。



【参考：前回（令和2年度）】

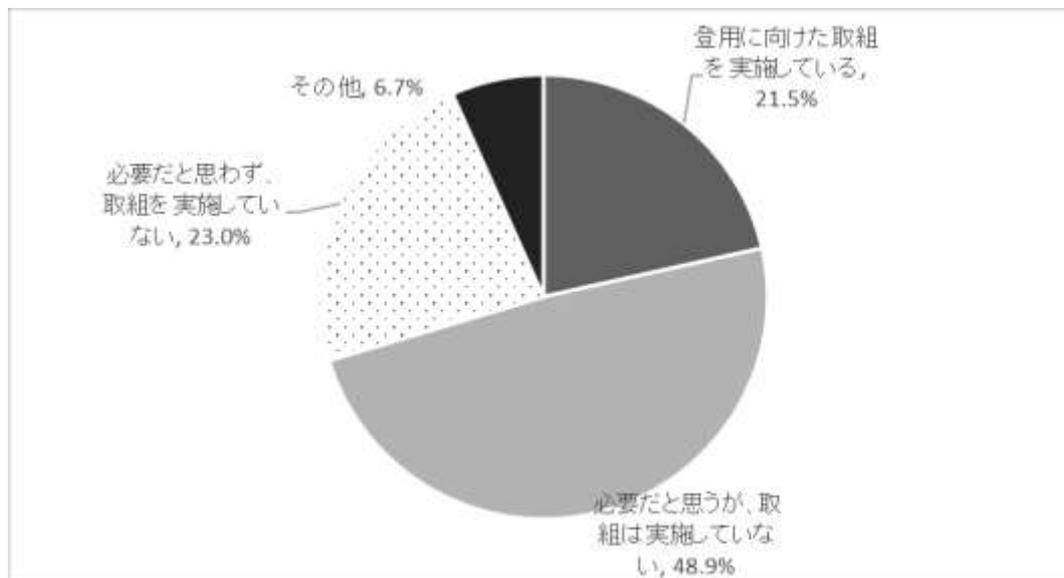
※選択肢が異なります。



【問4で女性従業員がいるとお答えいただいた事業所】

問6.貴事業所では、女性の管理職登用（昇進）に向けた取組を実施していますか（○は1つ）

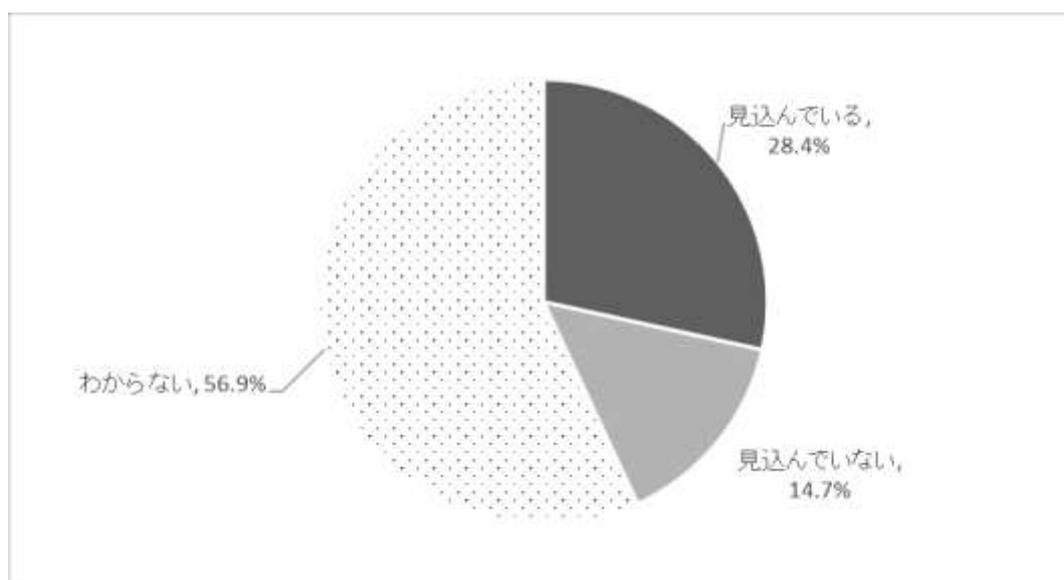
「必要だと思うが取組は実施していない」（48.9%）が最も多いです。



【問4で女性従業員がいるとお答えいただいた事業所】

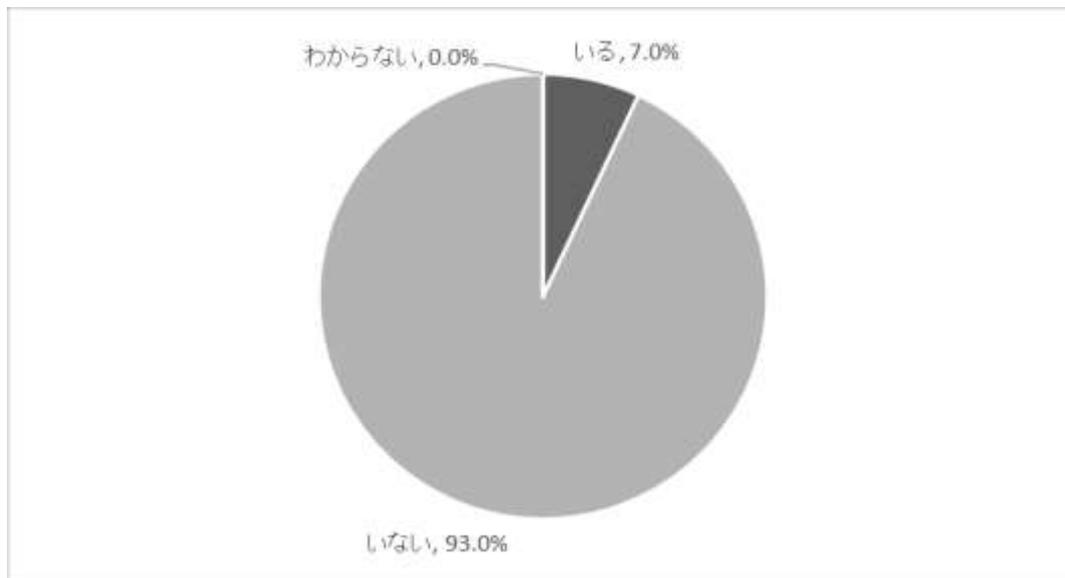
問7.貴事業所では、今後管理職の女性割合が増加すると見込んでいますか（○は1つ）

「わからない」（56.9%）が最も多いです。



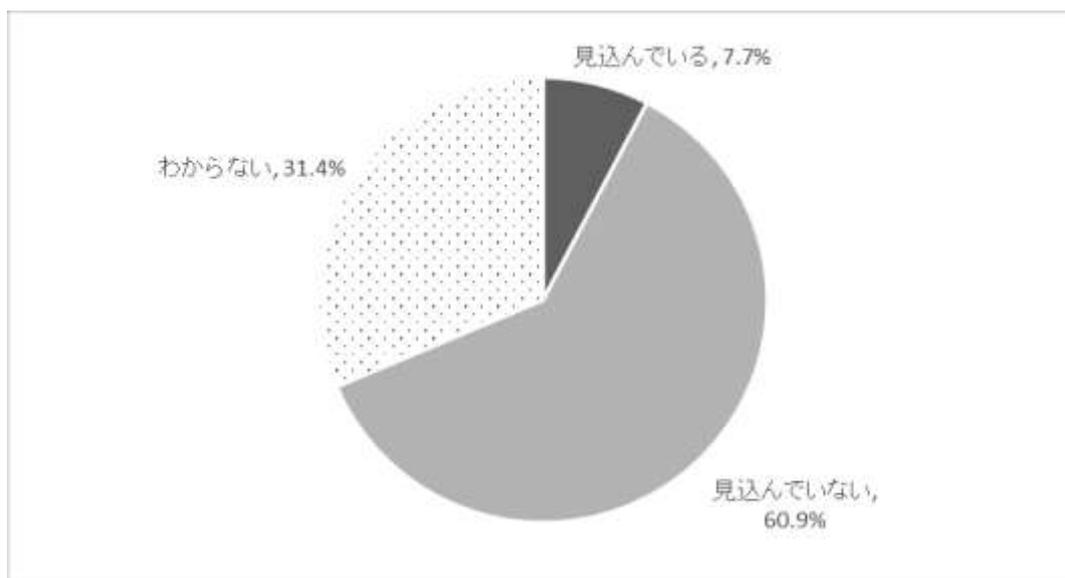
【問3で従業員がいるとお答えいただいた事業所】  
問8. 貴事業所に外国籍の従業員はいますか（○は1つ）

「いない」（93.0%）が最も多いです。



【問3で従業員がいるとお答えいただいた事業所】  
問9. 貴事業所では、今後外国籍の従業員が増加すると見込んでいますか（○は1つ）

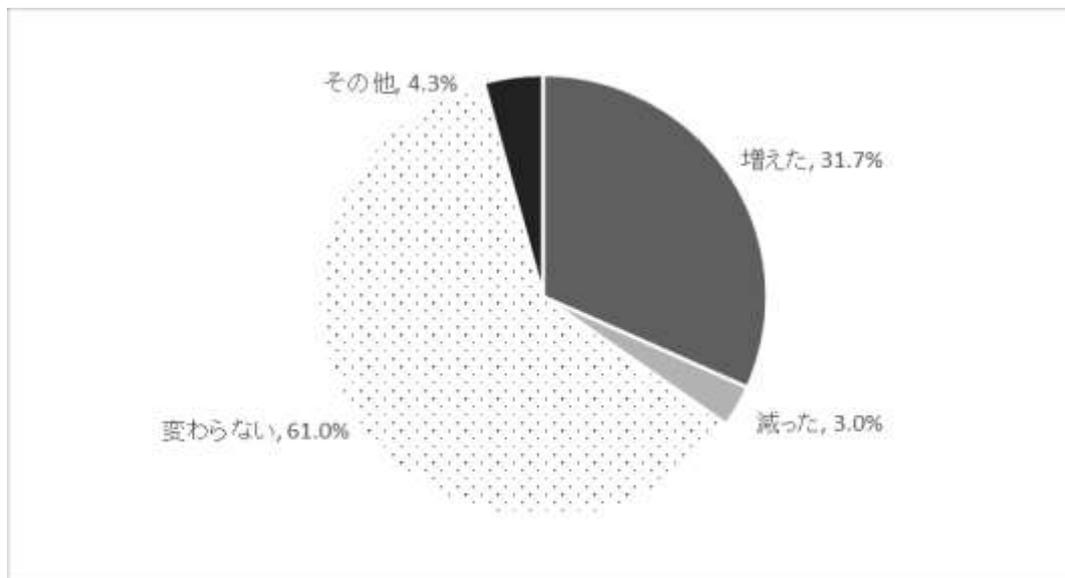
「見込んでいない」（60.9%）が最も多いです。



【問3で従業員がいるとお答えいただいた事業所】

問10. 従業員の年次有給休暇取得日数は、6年前（コロナ禍前）に比べて変化があると思いますか（○は1つ）（6年前と比較できない場合は、貴事業所で比較可能な年と比べてください）

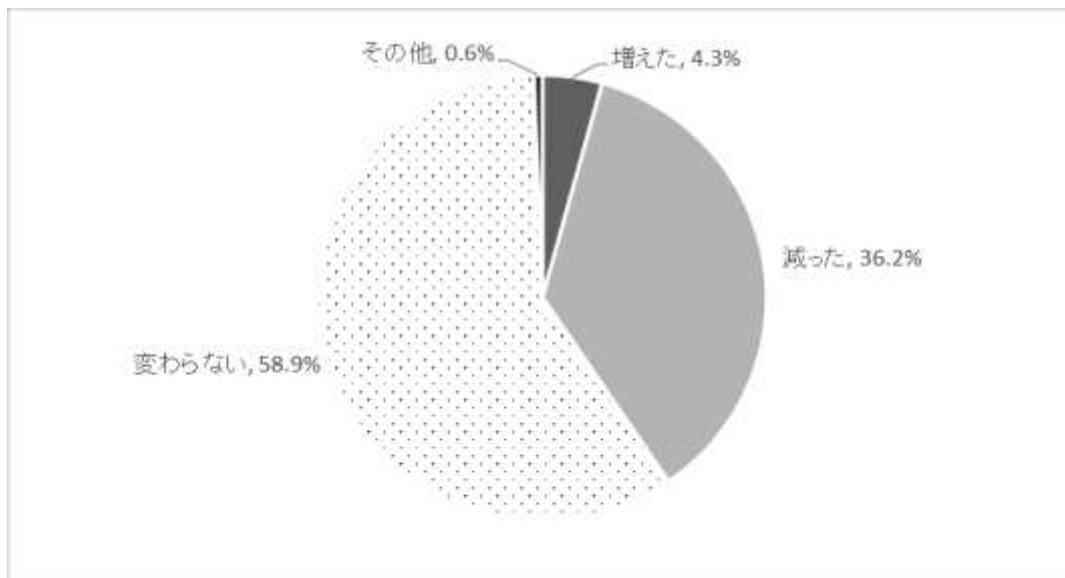
「変わらない」（61.0%）が最も多いです。次いで「増えた」（31.7%）となっています。



【問3で従業員がいるとお答えいただいた事業所】

問11. 従業員の超過勤務時間は、6年前（コロナ禍前）に比べて変化があると思いますか（○は1つ）（6年前と比較できない場合は、貴事業所で比較可能な年と比べてください）

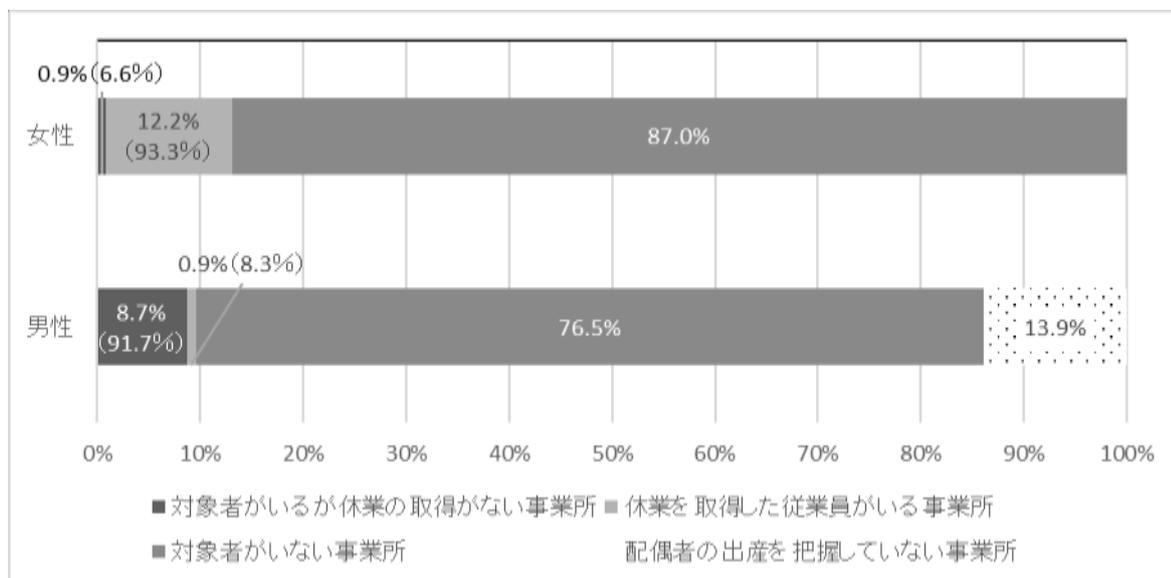
「変わらない」（58.9%）が最も多いです。次いで「減った」（36.2%）となっています。



【問3で従業員がいるとお答えいただいた事業所】

問12. 育児休業の取得についておうかがいます。該当する人数を記入してください

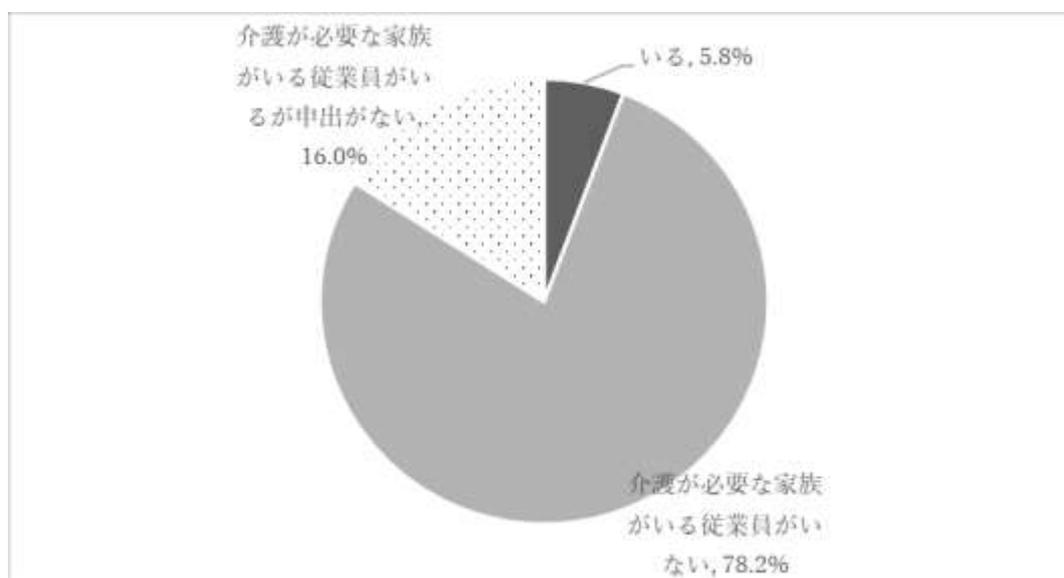
女性従業員では、「対象者がいるが取得がない」が0.9%、「休暇を取得した従業員がいる」12.2%。男性従業員では、「対象者がいるが取得がない」が8.7%、「休暇を取得した従業員がいる」0.9%。「配偶者の出産を把握していない事業所」は13.9%です。



【問3で従業員がいるとお答えいただいた事業所】

問13. 貴事業所で令和6年4月1日から令和7年3月31日までに介護に関する休暇・休業を取得した従業員はいますか。いる場合は人数を記入してください（あてはまる番号すべてに○を）

介護に関する休暇・休業を取得した従業員がいる事業所は、5.8%、「介護が必要な家族がいるが、従業員から申し出がない」事業所は、16.0%でした。

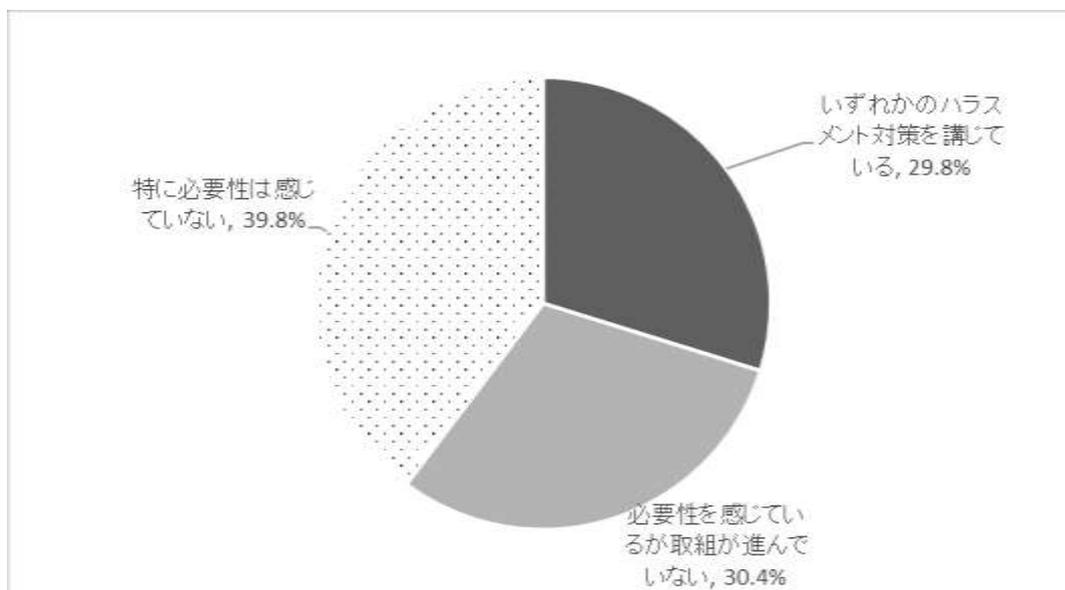


【問3で従業員がいるとお答えいただいた事業所】

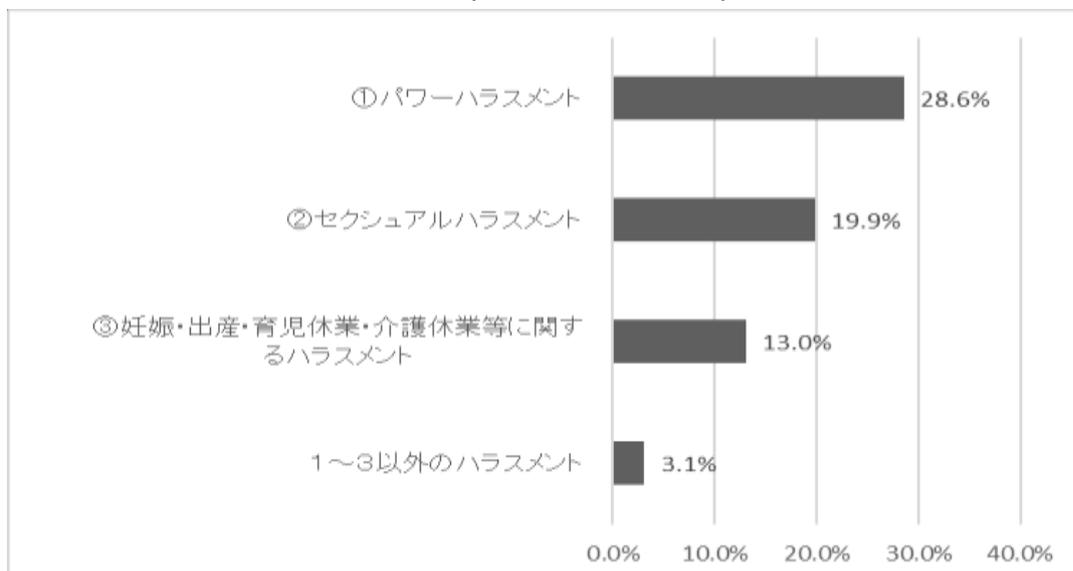
問14. 貴事業所におけるハラスメント対策についておうかがいします（あてはまる番号すべてに○を）

- ①「パワーハラスメント」について、防止策や対応策等の取組を行っている
- ②「セクシュアルハラスメント」について、防止策や対応策等の取組を行っている
- ③「妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメント」について、防止策や対応策等の取組を行っている
- ④①～③以外のハラスメントについて、防止策や対応策等の取組を行っている
- ⑤必要性を感じているが、取組は進んでいない
- ⑥特に必要性を感じていない

選択肢5のうち、①～④までをあわせた「いずれかのハラスメント対策を講じている」事業所（29.8%）と「⑤必要性を感じているが取り組んでいない」事業所（30.4%）、「⑥特に必要性を感じていない」事業所（39.8%）です。

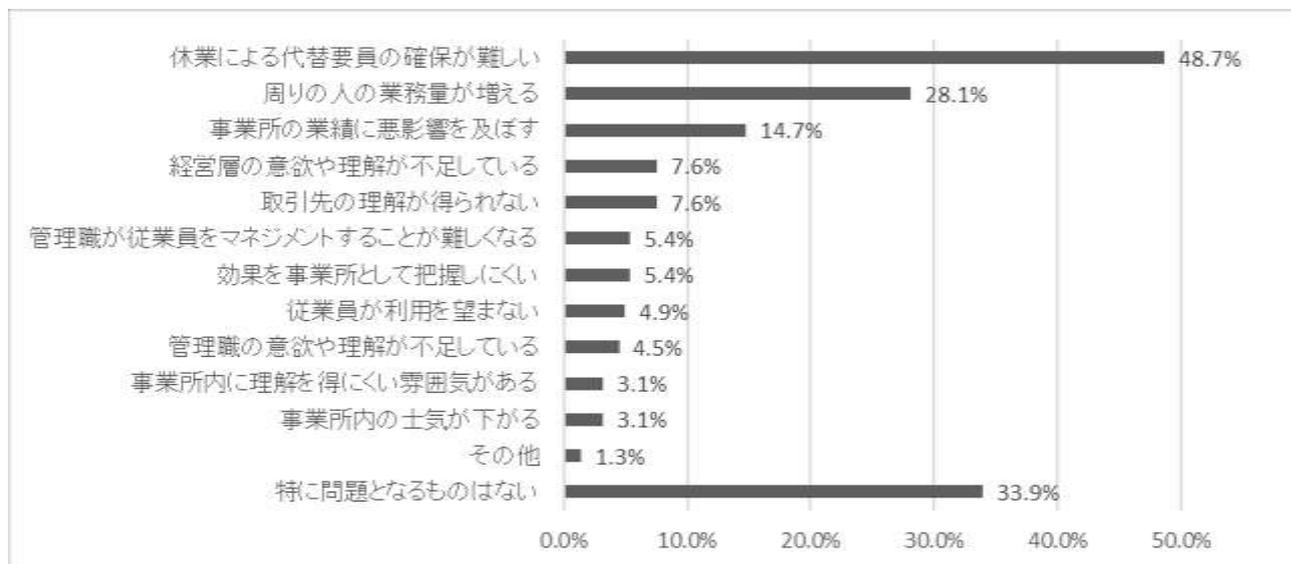


取り組んでいるハラスメント対策【問14回答事業所のうちの比率】



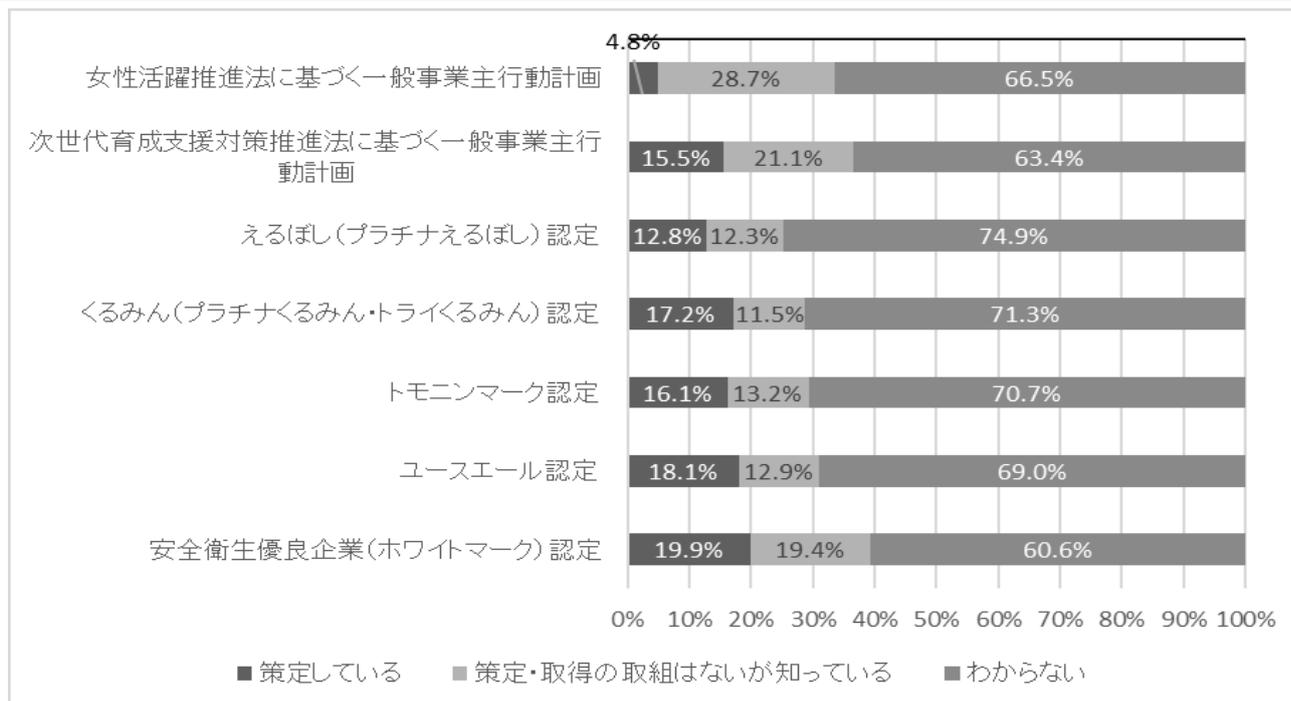
問 15. 現在、多くの企業で働き方や休み方の改善の取組が進められていますが、進める上で、難しいと感じるのはどのようなことですか（ご記入者のお考えにあてはまるすべてに○を）

「休業による代替要員の確保が難しい」（48.7%）が最も多く、次いで「特に問題となるものはない」（33.9%）です。



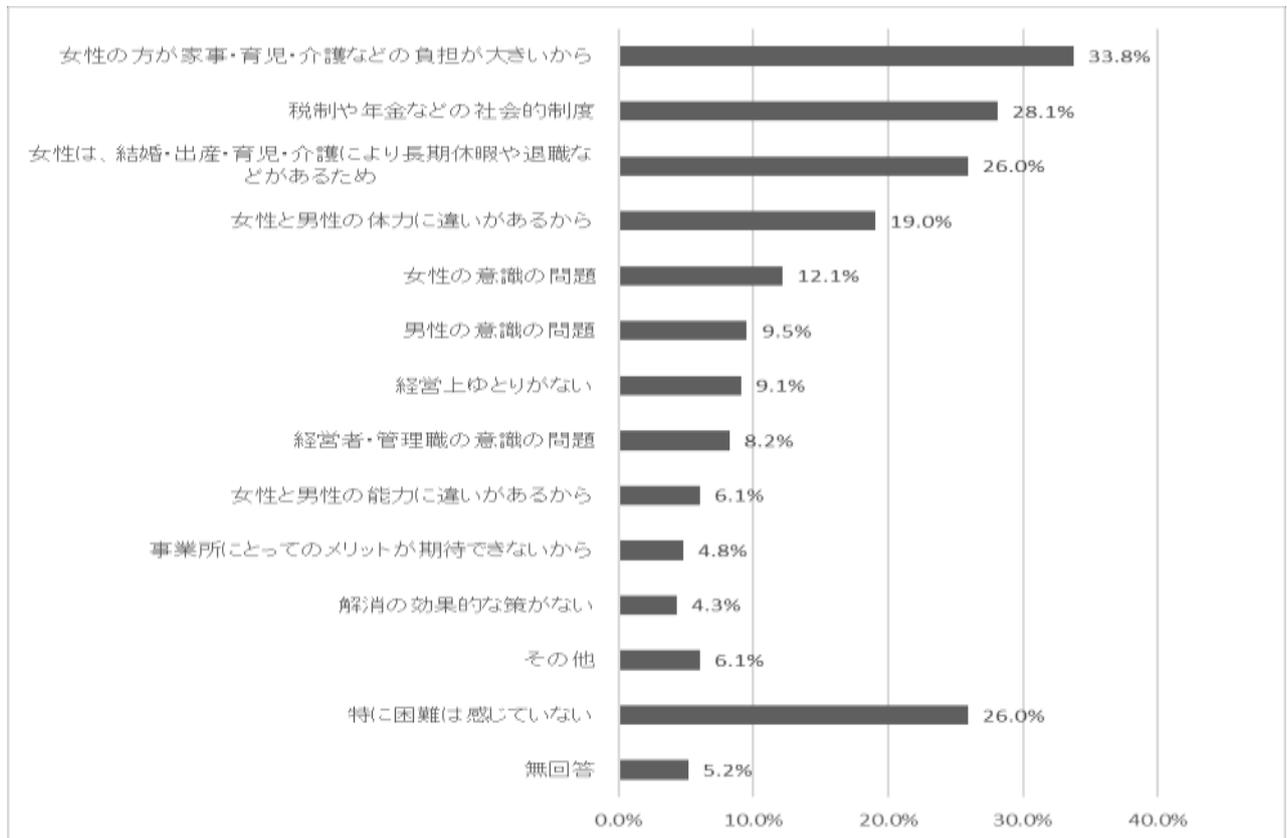
問 16. 女性活躍やワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組や制度の活用についておうかがいします（それぞれ○は1つ）

「策定している」が最も多いのは「安全衛生優良企業認定」（19.9%）次いで「ユースエール認定」（18.1%）です。

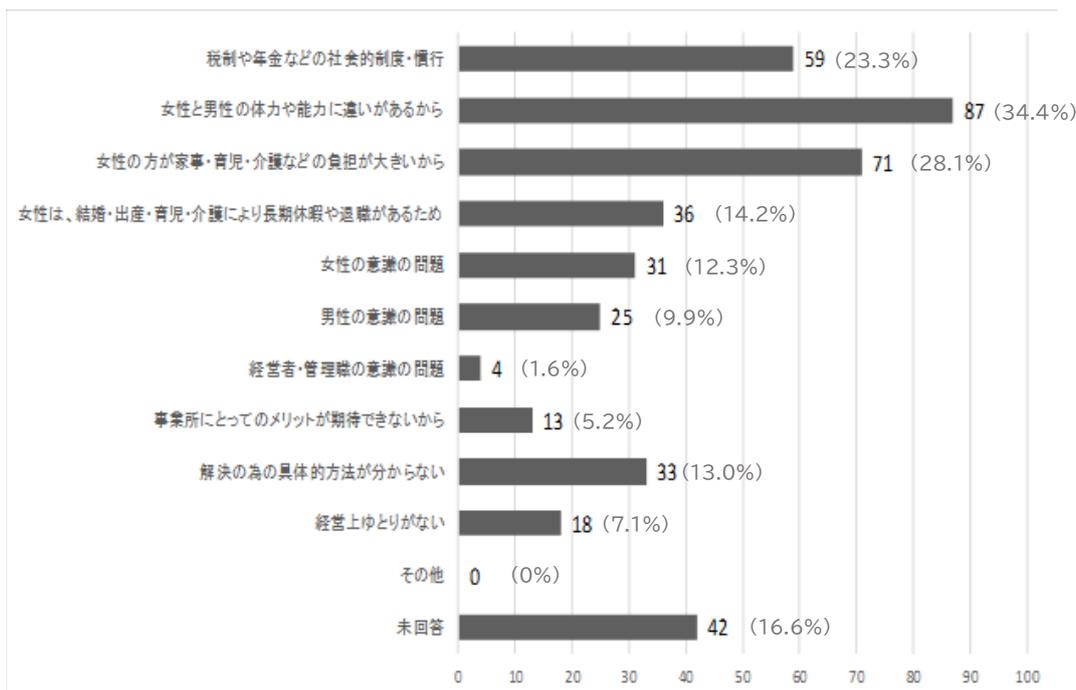


問 17. 職場において女性の活躍を困難にしている要因は、どのようなことだと思いますか（ご記入者のお考えで3つまでに○を）

最も多いのは「女性の方が家事・育児・介護などの負担が大きいから」（33.8%）次いで、「税制や年金などの社会の制度」（28.1%）です。



【参考：前回（令和2年度）】選択肢が異なります。



### 3 自由記載欄ご意見

#### (ア) (住民意識調査) 問19

##### 【周知・啓発に関すること】

- 性的役割分担等、平等を押し付けるだけではなく、自分たちで考えることが大切であり、性的役割による向き不向きもあること、性的少数者を不快に感じる人もいることが普通であることも、合わせて知らせるべきである。(30代男性)
- 講座とかセミナーで無駄なお金を使わず、子どもに対する、習い事チケットなどの配布して下さい。(30代女性)
- 子どもより大人を対象に周知していく方が良いと思います。(40代女性)
- 男女共同参画社会の情報提供があまり感じられないので市報等、皆がみるような所に情報提供すべきだ(50代女性)
- ジェンダーに対しては、大人の意識を変えることが重要で、子供には教育は不要だと感じています。(50代女性)
- 男女共同参画社会というのは専門にしている人達以外はあまり知られていないのでは。市報やイベント等の場で繰り返し説明し続け、内容を知ってもらう事は必要のように思います。(50代どちらとも言えない・答えたくない)
- 男女共同参画も勿論ですが高齢者の参画も啓発していけば良いのではないのでしょうか(60代男性)
- 岩出市が男女共同参画社会実現に力を入れているイメージがありません。私が無知なだけかも知れませんが。もし力を入れているのなら、もっとアピールすべきと思います。(60代男性)
- 色々な取組みにおけるPR不足を感じます。市民に広く知らせる取組みをお願いします。(70代以上女性)
- 高齢者は固定観念がある。今の考え方を広報とかいろいろな機会にわかりやすく伝える必要がある。回ラン板でもよい。必ず見るから。(70代以上男性)
- 男女共同参画について、知識・情報がない。情報提供の場を作ってください。(70代以上男性)
- 情報提供をすみやかにする事(70代以上女性)
- カタカナが多くて良くわからない。(70代以上男性)
- 公報に毎回少しでも、男女共同参画社会のPRを続ける。(70代以上男性)
- あまり良く解からない(70代以上女性)

##### 【子どもへの教育に関すること】

- この10年でもかなり世の中の流れは変わったと思います。固定的な考えや風潮にとらわれず多様な生き方が認められてきていると感じます。例えば次世代の教育でジェンダーの視点を育てる取り組み等が増えれば男女がともに参画し、個性や能力を發揮し支えあう社会の実現につながるのではないのでしょうか。(40代女性)

- 岩出市は子供が多いので教育を充実させた方が良いと思います。(40代女性)
- 男女平等は物理的に無理な事沢山あると思います。それを理解した上で男女共同参画を考える すごく深い話で子供に教えるのは難しい。(40代女性)
- 何においても、子供のうちから正しい知識を学ばせていくことが大切。(60代女性)
- 男女共同参画を実現する為に1番必要な事は、子供に対する学校と家庭での教育だと思います。また、社会へ共同参画する事は共働きとなり、そのシワ寄せは全て子供に掛かります。その対策も重要な事だと思います。(60代男性)
- 小家族化や小子化に伴い、躰に関しては学校側や一部学童と言った部分での伝達しかなく、社会全体として(各自治体)一定の取組みが行なわれているが、家庭内ではどうしても利己主義に傾いた指導となっている。「おもいやり」の精神育生が出来る環境や地域づくりに一歩ずつ近づけて行ってほしい。(60代男性)
- 小さい時からの環境、教育が人作りには、もっとも大事だと考えます。市の環境作り、町ぐるみの子供の教育(学校、家、町の環境)(60代男性)
- 虐待、いじめは、学校ではなく、警察に通報する。そのことを学校に徹底し子供達に伝える。学生に中高に闇バイトは犯罪で刑務所に行くことになることを教える。親は教えていないから。(70代以上男性)
- ・間違った知識を教えない ・講師・先生等、偏った考えが多く、正しい認識が必要である。(特にリベラル系が、合理的でないように思われる。(70代以上女性)

### 【子育て世帯への支援に関すること】

- 高齢者ばかり優遇せず、子持ち世帯やシングルマザーに対する支援金。子どもが生まれた世帯へオムツやミルク等を選べるギフト券やギフトカードの配布。子持ち世帯が夏でも遊べる室内遊具のある建物。(20代女性)
- 子どもが生まれた時の支援するお金を増やせば、更に、岩出市に住む若者が増えると思います。その部分を見て、岩出市に住むのをやめたという声をよく聞きます。(20代男性)
- 子どもがいる家庭への支援を充実させるべき。育休＝女性がとるもの→職場復帰後、子どもが熱や病気で休むとパート等の場合減給になる→家の収入が減り、生活に余裕がなくなる。子どもがいることでしんどい思いをするならしたくない、いらぬという若い子が増えるのでは？岩出市としてこれから何をしてくれるのですか？(30代男性)
- 他府県では充実できている育児支援をもう少し考えてほしいです。(30代男性)

### 【高齢者施策に関すること】

- 免許を返した年令の方への移動行動範囲を広げられるように交通への道巾をもっと行動出来るように、バスなどの路線をふやしてほしい タクシーも利用するにあたって高年令の人の為に安価、割安サービスをして欲しい お食事サービス割引などの楽しみが出来る家族孫などファミリーにお安く食事出来るお店が増えると助かる◎たとえば70才～の老人にバースデー祝をしてあげれば良い 食品券や現金のランチ代などでも良いから楽しみが欲しい 年金暮らしの日々の3食食事はそまつですよ(60代女性)

- 私は後期高齢者の1人住まいです。近隣とは会釈程度です。SOS又はお陰様でポストの下にでも掛ける物アイデア考えて下さい。(ボランティアの不足の為見守り隊人材も無理でしょう。(70代以上女性)

### 【労働・産業に関すること】

- 現状は経済的理由から男女ともに社会への進出はしなければならない状況であります。我が家も共働きしないと子どもを育てられない。社会に出てからの男女の違いを理解していただいて病欠や子どもの病気での早退に対応していただかないとやはり辞める選択になります。本当は子ども優先にしたいが昇進が足踏みになるのでやる気もなくなります。育休中ですが復帰したくないが復帰しないと生活ができません。社会保険料も毎月かかるし手当ではやりくりできません。(30代女性)
- 会社や法人、組織に対して(特に上層部)、情報提供を行い、社内でも必ず教育・情報提供を行う制度やしきみを作るように行政から指示できるようにしてほしい。女性の参画促進するには産休、育休、子の看病休暇等、組織内で「とりやすい」ではなく、「必ずとる!」と気軽に取得できるような職場環境やしきみ作りが必要となる。「制度はあるけど実際は…」そんな声をママ友からよく聞く。夫婦2人の子ども、家族なのになぜ女性だけが築きあげたキャリアや人間関係をすべてリセットしなくてはいけないのでしょうか。私自身は会社の制度や風潮、同僚に恵まれてしっかりとお休みをもらえています。そんな会社をもっと増えればいいと思います。(30代女性)
- 岩出市は男女共に働く場所が少なく、業種も限られているように思います。男女共に働く場、教育できる場を(企業誘致、学校増設など)増やして、いきいきとした生活をおくりたいです。(40代女性)
- 現代では男女問わず働きに出るのが当たり前の社会で女性が働くことに喜びと安心を感じられるようになってほしい。(30代女性)
- 男女共同参画社会を実現する町づくりを考えるにあたり、女性が活躍できる雇用を守り、つくる事に注力する必要があると考えます。海外から安い賃金に雇用が奪われる事の無い様、行政として仕組みを構築していただきたい。(50代男性)
- 男女共同参画社会を実現する為にも、岩出市で職場をふやしてほしい。サービス以外の会社、工場をふやしてほしい。(60代女性)
- 若い子たちが、働ける場所が多くなり、皆さまが幸せになり、男女もなく、みなさまが幸せだとももえる町へと、思います。(60代男性)
- 女性の方が同じ仕事をしていても評価が低いと感じます。また、電話は女性もしくは新人がとると考えている人も多いと思います。男性も女性も同様な扱いになることを望みます。(70代以上女性)
- 男女共同参加と言われ出して長いですが?日本人は平等とは名ばかりの差別国家なのですか?私は年金生活ですが?長時間働き、年金も問題無いと思っていましたが?問題が大きすぎて、息もできません。信じた会社が支払って、いなくても信頼して頑張る年をとって裏切りを知ります。あたり前の事を皆ながすれば年をとって泣く人は無くなります 男、女、同じ事するなら同じ給料を支払って下さい。(70代以上女性)
- 男女共同参画社会を構築する活動に仕事をされている方が活動しやすいように事業所側の柔軟な理解を得られないと、なかなか統一したことができないと思います。(70代以上男性)

## 【家庭内の役割について】

- 女性の社会進出を促進する為には、男性の家事・育児に参加する時間を増やさなければ実現しないと思うので、男性向けにアプローチする（その上司にも）セミナー等はいかがでしょうか？あとは、子どもたちに当たり前に家事分担をする、育児に関わる、仕事に忙殺されずに、暮らしを大切にす意識を持ってもらうことが大切だと思います。（30代女性）
- 女性が社会にだいぶ進出できるようになりましたが、いまだ働く女性の家事・育児の負担は大きいと思います。出産前に“両親学級”や“母親学級”などありますが、“父親学級”（男性のみを集めて、育児・家事（簡単な料理を作る、洗たくをして干して、たたむ等）を最低限教えて、平等な家事・育児、キャリアアップができるようにしていくべきだと思います。民間ですでに始動している所もあるようなので、ご検討下さい。（40代女性）
- 現状、新生児に対して父親の理解が全くなく、母親は心身共に疲れています。出産入院時に父親の研修を義務化出来れば、もう少し育児に参加してくれるのではないかと考えています。（50代女性）
- 男性の育児や介護、家事への参加が少ないということをよく聞きます。（和歌山県）本当にそうなのか気になります。また、少ないのであれば、参加しない理由、その結果、家庭や子どもへの影響等について、市全体、県全体で真剣に考えていかなければならないと思います。私はできる限り協力していますし、むしろ、家事負担は妻の方が少ないくらいだと思います。（50代男性）
- 障害児を持つ子供を、いつでも預ける施設があれば良いと思います。親も年を取って、見てやれない様になって来ます。夫も協力的でなかったら一人で、何もかもやりこなさなければならない、大変です。どうか、そんな施設（いつでも少しのお金がかかっても）があれば良いと思います。（70代以上男性）

## 【地域活動・減災に関すること】

- 防災、復興の取組に男女共同参画の視点は必要ないと思う。時間が割ける人や意識、能力の高い人、意欲のある人なら男女関係なく役割を担っていくのが本当の平等だと思う。PTA活動についても同様で、役員に男女のバランスは必要ない。熱意のある人で構成されるべきで、全員女性でもよいと思う。男性だからと言ってポット出で会長になるのは平等ではない。（10年前はまだ男性しかPTA会長になれませんでした。今はどうか知りまん。）（50代女性）
- 隣接した他自治会の人との繋がりが気になる。車の排気ガス、ゴミ（草なども含む）、勝手に人の駐車場の前に車を停める、等々の迷惑行為を受けているがどんな人なのかわからないので恐しくて何も言えなくて困っている。区切りが欲しいくらいです。（泣）（50代男性）
- 男女に的を絞って考えても、非常に根が深い部分があり、目に見える成果につなげるには無理があるように思います。地道な啓発などを進めつつ、市民が皆笑顔になれる活動を増やしていくなどが広がりやすいように思います。たとえば地域別祭りや盆踊りの復活など（60代女性）
- 地域の居場所サロンづくりを積極的に取り組む、市民が気軽に集まれる場所として公園や空き家など活用できるようにする。その管理を地域の住民にボランティアで委託する。地域の担い手を養成することが、男女共同参画社会がより進展できるものと思います。（70代以上男性）

## 【DV・ハラスメント・性被害に関すること】

- 全国的にも教師による性犯罪が多過ぎるので、研修をする、データベースを活用する、教室内にカメラを設置するなど環境をすぐにでも整えて欲しい。(40代女性)
- 性教育を詳しくしてほしいです。SNSでまちがった情報ばかりの知識の子が多いので…。学校では、時々性教育を今もしてくれていますが、生命の尊さ、自分の体を守ること、相手のことを大切にすることを。助産師さんや、とても早くに出産した若いママに体験したこと、きれい事ばかりでなく苦労したことなど実体験を話してもらい、など子どもたちに聞いてもらいたいです。小学生～中学生の子どもたちへ。(40代女性)
- 今はハラスメントが女性中心になっていて、男性の立場が良くない方向へ行っています。こまっっている人を助けてもハラスメントだと言われるので気軽に声もかけられない。男女共同でも相手だけで立場が不利になる事がない様に取り組んで行けたらと思います。(60代男性)
- DV等の相談は1度した事があるが、特に動いてくれたことはなかった。その後どうですか?と、聞くだけ。言っても無駄なので、自分で行動するか我慢しかない。(女性)  
※一部を省略させていただきました。

## 【性的少数者に関すること】

- LGBTに配慮し第2中学校が男女共に学ランやセーラー服が廃止されブレザーになったが、「ふーん」としか思わなかった。結局ブレザーでも女の子はスカートなので。集団行動が大事だとは思いますが、制服自体の廃止は集団行動においてなにか規律を乱すことはないと思うので、制服自体廃止すればいいと思う。(20代女性)
- LGBTと言うが、LGBは性的指向であり、Tは性自認の問題である。これを一緒くたにして議論することは問題だと考える。LGBの問題とTの問題は区別してそれぞれ考えるべきだと思う。(30代男性)
- 性的少数者に関して見聞きすることが多くなりました。声の大きな人たちの意見だけが取り上げられがちで、「かわいそう」「理解しないと!」「理解しない人は悪だ!」という風潮が高まっているように思います。当事者の中には「ほっといてほしい」と思っている人がいたり、正しい情報を学んでも受け入れられない人(当事者ではなくて)もいると思います。差別や理不尽な目に合うことは許されませんが、LGBTQだから、と区別するのは少し違うような気がします。(30代女性)
- 私のようなマイノリティに対して理解いただき、見守っていただき、いつも感謝しています。(50代あてはまらない・答えたくない)

## 【男女共同参画全般に関すること】

- 岩出市だけで進めても意味がない(20代女性)
- 性別では無く純粋な能力を参考に男女共同参画社会実現に向けて邁進頂きたい。(20代男性)
- 男女共同参画社会は素晴らしい趣旨であるが、それであるがゆえに気を付けて頂きたい。対等に参画し共に喜びや責任を分かち合うのは大事であるが、結果の平等に集中しすぎて、片方への負担が過大となることや、肉体的な性差を無視して生産性の低い計画をするなどのことのない様にして頂

きたいです。それと、機会の不平等や、根拠のない不平等などは無くして欲しいです。(30代男性)

- 女性は責任を負いたがらない、出世欲がなく、冷静な論理的思考能力が低いと思う。意見が否定されると感情に支配され、人格攻撃や論点のすり替えなどをよくする。これは男性でもやる人はいるが、女性の方が圧倒的に多い。社会を運営するうえで感情ゼロで運営はできないが、近視眼的な感情に支配されるようでは任せられない。人間を襲ったクマを駆除したらクレームを入れるような輩はそれに当たる。共同参画というのが機会の平等は既に達成されつつあると思う。あとは男女とも意識改革が必要なのと、すべての人が広い視野と論理的思考能力を高めていくことが大事だと思う。(30代男性)
- 今まで男性しかできなかった事、今まで女性しかできなかった事など男女性別関係なく参加していると思います。今は、男女共平等に力を入れてもいいと思います。実は私自身も上記の⑩に参加したいと思っています(50代女性)
- 男女共同参画社会を実現するにあたり、男性側の意識改革も必要かなと思います。例えば自分の年齢(私達世代)の親から、よく「男は台所に立ってはいけない」など育てられる時に言われました。そういう考え方もまだ根強く残っていると思う。男女共同参画には賛成ですが、何でもかんでも「平等に」というのは、反対です。女性の体も守ってほしいなと思います。認識違いであればすみません。(50代女性)
- どのような性別・性的指向があっても、すべての人が幸せであってほしい、そういうまちづくりをしていただけたらと思います。(50代女性)
- 男女共同参画などと考える事が、男女差別である。「できる人が、やればいい」社会を作る事が大切である。(50代男性)
- 最近の取り組みでよかったこと→岩出中・二中でセンスのよい制服に変わったこと。特に女子のスラックス選択可はセクハラ防止によいと思う。これからの取り組みの希望→DVや虐待の相談体制の充実。学校で道徳 or 総合学習での実施(すでに実施していたらそれでよし)問15の質問全てを教える 介護入浴サービス(デイサービスなど)を保険対象外でも希望があれば増やしてほしい保険対象週2回?(50代男性)
- 参考にならない回答ばかりで申し分けございませんが、人間って勝手です。思いも考え方もさまざま、日本の場合古くからの習慣が消し去りにくく この手の問題は、そう簡単には... 昨今、自己優先主義が台頭してますが、自分は他人を思いやる心を持ち続けたいと、常に思って行動しているつもりです。余談ですが日本全体が中華思想になって来ている様な気がします。危険な事です。(50代男性)
- どれだけソフト(施策やサービス・ルールなど)を増やしても、ハード(市職員、とくに運営に関わる上層部職員、設備など)が「男女共同参画社会」を十分に理解し、実践できなければ、十分に機能しないままとなると思います。本当の意味での「男女共同参画社会」の実現は相当困難なものです。女性の参画を増やすだけでは失敗に終わる分野もありうるでしょうが、その場合でもその結果を基にして(元に戻すのではなく)より洗練された施策を生み出せるように有能な若い職員を長期にわたって携わらせるべきと考えます。(50代男性)
- 性的なものに対しては、そもそも遺伝子レベルで異なるので、その違いについてはしっかり教育すべき。全てを本当に平等にすべきなのか? 公平に考え個々の状況やニーズに合やす仕組みが必要だと考える。男は子供を生めない生物。(50代男性)

- なかなか身近なこととして実感していないというのが正直なところ。 (日々の生活に追われ、考えに及びません) (60代女性)
- 守ることと甘やかすことは別なので、正しい考えに基づいた信念が必要。決めたことの真髓を全員で共有して凜とした行動が大事。NOをはっきり言えないと平等にはならないと思います (60代女性)
- 既に取り組まれていることとは思いますが、市役所をはじめ公的な役職に、女性をより多く登用すべきだと思います。 (60代男性)
- 目的としてすべての子供の幸福 社会であって欲しい (60代男性)
- 他の市町村と比べて、劣っている所もあるので、全体をみて、改善・努力を、お願いしたいです。 (60代男性)
- 女性を活躍させる必要は十分あります (→平等として) 但し、肉対的に異なる部分については、お互いの理解が必要です。住み良い岩出市にして行きましょう。 (60代男性)
- 男女共同参画社会を実現する為に、岩出市民の意識を変える施策をさらに進めていただきたいです。 (70代以上男性)
- L G B T法案反対です。夫婦別姓法案反対です。問18-9 小学生の場合高学年からで良いと思う。 (70代以上女性)
- 例えば、避難所で対策本部が立ち上げられてもメンバーはほとんど男性。女性がほとんど入ってないから女性目線の女性に必要な事柄が反映されない。未だに調理や配膳は女性で男は指導的役割しかやらない。そういう話を聞きました。明治時代の家父長制度で男性優位の教育を受け実践してきた祖父母に育てられた昭和の人を親に持つ子たちは、私を含め (特に男性は) 未だにその考えから抜け出せていません。私の周りでは、法事などの行事などの行事の時、男は座って酒を飲み女は炊事と配膳という役割を強いられます。事例はいつでもありますが。一番大事なものは教育ですね。8月29日の朝日新聞の記事を添えました。(学校生活すり込まれる男女の役割) 岩出市としてできることは、まず女性の参加者を増やすことでしょうか?何かの会合があったとしたら女性の参加者を四割にすることを目標にするところから始めてはいかがですか?議長が女性で良いではありませんか。そのためには人を育てることも必要です。会社も同じですね。思い切って任せてみて人を育てる。 課題は、育児や介護の現場で女性が負担を強いられること。女性が表に出ると、今の仕事、家事、育児の上に更に負担が増えることになるので、目立たぬようになるべく余計な事には首を突っ込まないという考えの女性がほとんどかなと思います。現役世代の母親は疲れ果てています。家族の理解が欠かせません。 DV、ハラスメント、性的少数者など問17に書かれている事柄が公に語られ議論される世の中になったことは大変嬉しいことです。遠い道のりであっても、諦めず真の平等を求めて一歩ずつ前に歩いてほしいと思います。 (70代以上女性)
- 男女の違いを理解した上で、互いに尊重しあう必要があると思う。また男女に限らず、多様性や個人を尊重する必要があると思う。 (70代以上女性)
- 岩出市全体でいろ～取り組む事。 (70代以上男性)
- 1) 当課題は、陰語的であり、通常の世界生活では発展的会話にすすみにくい。 2) DVについても、その意味を理解していない住民は現状多数と思う。 3) 先の終戦後、自由、平等、民主化問題は、大きく長く社会で取り上げられ (約100年) 一応の評価を得ていると思う。 4) 人の心を動かすことは難しい。 5) 今回の男女共同参画については、是非すすめ乞う。「成功を祈る。」以上 (70代以上男性)

## 【アンケートに関すること】

- ジェンダーさんにとってこのようなたくさんの質問、アンケート内容は失礼だと思います。(不快な気持ちになりました。)(20代女性)
- 30代40代を中心にアンケートをとった方が良いのでは、と感じました。(60代男性)
- 高齢家族のため、アンケートに充分答えられていないかと思っています。(70代以上男性)

## 【その他・市政に関すること】

- 私は、父が亡くなって以来年金がでないので、家族の分を養っています。(給料ほぼ全額を母に費やしています。)何とかして下さい。生活面の充実化をお願いします(20代女性)
- 高齢者と若者が交わる町づくり。岩出市は地域によって子どもの見守り活動などにも差がある。岩出市中心(中央)にみんなが交流できる場所などを造ったほうがいい。スーパーなど多すぎる!!(いらない)総合体育館をリノベーションして交流の場所にしてほしい!!図書館や、大きな公園が町の端にあるべきではない!!高齢者や子どもは通えない。(40代女性)
- 生活が潤う取組をして欲しい(40代男性)
- その取り組みも良いと思いますが、もっと市民に対しての生活の保護や補填をして下さい。例えば紀の川市ではコロナ禍の時期に一世帯か一人に対してか忘れてましたが給付金があったと聞いています。和歌山市も何かしらあったような…岩出市は何も無いんだ…と職場や知人等と話したのを覚えています。2、3年前まで岩出市は人口増加していて、ここ最近は停滞しているみたいな事を耳にします。岩出市はあまりいいイメージは無いようです。名産品や観光名所も少ないですし…最近はラーメン激戦区になってきているので、それをPRに使ってはどうか?環境や給付金等、市民に寄り添った政策をして岩出市に住んでいて良かったと思える市にしてもらいたいです。(40代男性)
- 岩出市は他の市と比べて福祉が充実していないように思います。住民税も高いように思う。(50代女性)
- 子供の居ない世帯にも配慮をして欲しい(50代女性)
- ありがとうございます よろしく願いいたします(50代女性)
- 強制的にすると反発する人が現われ、こじれるので、ゆっくり時間をかけてすすめて下さい。(50代男性)
- 1. 行政(市長・議員・(警察・消防)の年齢制限を75才まで)とする! 2. 女性の役職を高位職にも多用する!(登用する!) 3. 市議会の傍聴をもっと市民に呼びかける。頻度をあげ、傍聴席をもっと増席すべき!(50代男性)
- 市長を一新すること。(50代男性)
- ふるさと納税をなぜ積極的にしないのか疑問。せっかくこういう制度があるのだからすべきではないかと思う。他の市町村にいたからわかるが岩出市は何をするにも消極的。変化のない行政は市民にとって魅力なし。(50代男性)
- 市民が平等に平和な生活を送れるようにする事(60代男性)
- 企業誘致と男女が共に働ける職場の提供、誘致。また子供の教育、育児が安心してできる。学童保育や保育所幼稚園の整備、充実。また、高校生までの医療費の無料化、子育てに、やさしい街づく

り等、社会資本の充実が必要であると思う。また岩出市の伝統を大切にされた地域教育と世代間の交流の促進、地域としての若者世代への教育連携等に取り組み、男女共同参画社会に参加しやすい、社会に参加し、職業について所得を得て豊かな生活ができる環境が形成される事で、次世代が U ターンして、岩出市に定住しやすい環境を整えることが大切であろうと思う。(60代男性)

- ご苦労様です 良い岩出市に成るように願っています。(60代男性)
- 市民が注目する、しっかりとした、議会作りと運営 これは全市民の責任でもあると思う(60代男性)
- まずは、選挙の投票率UP(70代以上女性)
- 市民の声を届けられる箱の設置(70代以上女性)
- いつどのような時も男女お互いに理解出来る状態であること 市民団体のグループが出来るように市で催しものがあれば多めに利用して参加の人数を集めること。旧い歴史のある根来寺等をもっともっと宣伝して多さんの人を一年中来てもらえるように整備見所をつくること(70代以上女性)
- 災害時等の市民の避難場所に指定されている避難所のエアコン(特にクーラー)の設置が必要と考えています。特に夏場の避難が出来ない 通常時にも市民の使用頻度がある、岩出市立体育館へのクーラーの設置が必要と考えており、早急に対処願いたい。(70代以上男性)

## (イ) (事業所用) 問18

- 私は男女共同参画社会とは、女性が男性と同じように働くことだとは考えてません。体格や体力の差、子供を産めるのは女性のみであること等等、男女お互いを理解してお互いの得意や特性を活かす共存共栄する社会創りこそが男女共同参画社会であり、大切な事と感じています。
- 男女平等・共同参画は素晴らしいと思うが社会でも家庭内でも平等共同参画をすすめていくとここ何十年で弊害が出てきているように思う。個々の人権や能力を守りつつもどこかにしわ寄せして負担を強いる事なく新たな社会や家庭の仕組みや教育を作っていただきたいです。
- 平等であるべきですが、やはり、体力的にも違いがあり、完全な平等には無理があります。
- 女性パートナー従業員が長時間(社会保険付)の労働を拒む理由 1. 子供 2. 税金 3. 体力
- 企業内に託児所があるとか、子供を安心して預ける所がないと、数時間しか働けないとパートとかアルバイトになってしまうのではないのでしょうか?
- 女性は、結婚して家庭に入ると、出産、育児等々の事が男性より負担が大きい。パートの職についてたとしても、お給料の面や社会保障が充実していないと思います。パートの人の保障をつけられる事業所をふやして欲しいと思います。えらそうに言って個人経営で主人と私とで細々やっていますので何も言えません。
- 男女共同参画社会という考え自体が間違っている。景気が回復し、日本人全体の所得が増えれば子供のいる女性が働く必要は無く家事、子育てに専念できる。どうすれば女性が働けるかではなく、女性が働かなくても普通の生活が出来る様になるかを考えるべき。そもそも、能力が高い女性はこ

んな考えがなくても出世する こんなムダなアンケートで税金を使うな。

- こんなアンケートは金のむだでは！
- 岩出市の事業での会議や意見交換会にも参加していますが、決まっている事の後付けのお話に感じる。意見や市民の声を集める場合はあまり風呂敷を広げない方が良いのではないかと思う。意見やアイデアを反映できる段階での会議や意見交換は良いと思うが、決まっている後に会議や意見を求めるのは正当化する為？とってしまう事が多い。このアンケートでは現状把握の感じがしますが。
- 岩出市で働ける企業が限られている現状で、岩出市外に働きに出ている人が多く「岩出市にふさわしい男女共同参画社会を実現するまちづくり」を実現するにはほど遠いと思いますが…。参画してくれる人材が無いと思うが…。もっと企業誘致を優先し、働ける場所、人を増やす方が先決と考えます。
- 休業中に等しい当経営技術研究所であります。男女の取引先の人々と意見交換をしながら、存続を企てて行きたいと考えています。
- 夫婦で営む小売店であり、設問には該当しない。特に意見がない。
- インターネットでの回答ができなかった。(つながらなかった。エラー)

多くのご意見をお寄せいただきましたこと感謝いたします。宗教に関する事、他機関の業務に関する事、本アンケートとは無関係と記されていたご意見については、省略させていただきました。

また、インターネット回答について、お知らせの誤りなど不具合がありご迷惑をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。

#### 4 調査票

あなたご自身やご家族のことについて おたずねします

問1 あなたの性別は？（自認している性別1つだけに○を）

- |      |                    |
|------|--------------------|
| 1 男性 | 3 どちらともいえない/答えたくない |
| 2 女性 |                    |

問2 あなたの年齢は？（1つだけに○を）

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1 18歳～19歳 | 5 50歳～59歳 |
| 2 20歳～29歳 | 6 60歳～69歳 |
| 3 30歳～39歳 | 7 70歳以上   |
| 4 40歳～49歳 |           |

問3 あなたには、現在配偶者（事実婚を含みます）がいますか（1つだけに○を）

- |           |              |
|-----------|--------------|
| 1 いる      | 3 いない（離別・死別） |
| 2 いない（未婚） |              |

問4 あなたが同居している方をあなたとの続柄でお答えください（あてはまるものすべてに○を）

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1 単身（ひとり暮らし）     | 6 祖父母（義祖父母含む）     |
| 2 配偶者（事実婚含む）     | 7 孫（義孫含む）         |
| 3 子（義子含む）【問4-1へ】 | 8 兄弟・姉妹（義兄弟・姉妹含む） |
| 4 子の配偶者          | 9 2～8以外の親族        |
| 5 父・母（義父母含む）     | 10 その他（ ）         |

（問4で「3 子（義子含む）」とお答えの方におうかがいします）

→ 問4-1 あなたが同居している最も年齢が低い子どもについてお答えください（1つだけに○を）

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| 1 3歳未満      | 4 中学生            |
| 2 3歳～小学校入学前 | 5 16歳～18歳（高校生相当） |
| 3 小学生       | 6 1～5にあてはまらない    |

お仕事について、おたずねします

問5 主たる職業についてお答えください（最も近いもの1つだけに○を）

問3で配偶者（事実婚含む）が「1 いる」を選ばれた方は「配偶者（事実婚含む）の職業」欄もお答えください

あなたの職業	配偶者（事実婚含む）の職業
1 会社・団体の役員	1 会社・団体の役員
2 正規社員・職員	2 正規社員・職員
3 非正規（派遣・パート・アルバイト等）	3 非正規（派遣・パート・アルバイト等）
4 農業	4 農業
5 自営業・家族従業員	5 自営業・家族従業員
6 学生	6 学生
7 家事専業	7 家事専業
8 無職（家事専業を除く）	8 無職（家事専業を除く）
9 その他（ ）	9 その他（ ）

【問6は現在就労されている方におうかがいします。就労されていない方は問7へ】

問6 あなたの働いているところでは、次の項目について、6年前（コロナ禍前）に比べて変化があると思いますか（それぞれ1つだけに○を）

	増えた	変わらない	減った	わからない	比較できない
① 有給休暇等休暇の取得	1	2	3	4	5
② 超過勤務時間	1	2	3	4	5
③ 女性の育児・介護に関する休暇や休業の取得	1	2	3	4	5
④ 男性の育児・介護に関する休暇や休業の取得	1	2	3	4	5
⑤ 休暇や休業の取得への職場の理解・支援	1	2	3	4	5
⑥ 女性の社員・従業員の割合	1	2	3	4	5
⑦ 女性管理職の割合	1	2	3	4	5
⑧ 職場でのハラスメントに関する周知や研修の機会	1	2	3	4	5

【問7からは皆様におうかがいします】

1日の過ごし方について、おたずねします

問7 1日のうちであなたが仕事（学業）や家事、育児、介護（看護）に費やす平均時間をお答えください（それぞれ最も近いもの1つだけに○を）

問5で選択肢1から6までを選ばれた方は、仕事・学校のある日の平均時間をお答えください

(1) 仕事・学業（通勤・通学時間含む）

1	なし	4	6時間~8時間未満	7	12時間以上
2	4時間未満	5	8時間~10時間未満		
3	4時間~6時間未満	6	10時間~12時間未満		

(2) 家事

1	なし	5	1時間~2時間未満	9	5時間~6時間未満
2	ほとんどない	6	2時間~3時間未満	10	6時間以上
3	30分未満	7	3時間~4時間未満		
4	30分~1時間未満	8	4時間~5時間未満		

(3) 育児

1	なし	5	1時間~2時間未満	9	5時間~6時間未満
2	ほとんどない	6	2時間~3時間未満	10	6時間以上
3	30分未満	7	3時間~4時間未満		
4	30分~1時間未満	8	4時間~5時間未満		

(4) 介護・看護

1	なし	5	1時間~2時間未満	9	5時間~6時間未満
2	ほとんどない	6	2時間~3時間未満	10	6時間以上
3	30分未満	7	3時間~4時間未満		
4	30分~1時間未満	8	4時間~5時間未満		

【問7（4）介護・看護まで回答後、次のページ（5ページ）問7-1へ】

(問7(2)家事～(4)介護・看護で「1 なし」「2 ほとんどない」「3 30分未満」とお答えの方におうかがいします)

問7-1 あなたが家事、育児、介護・看護に費やす時間が少ないのはなぜですか(あてはまるものすべてに○を)

- 1 育児に必要な家族がいない、または成長して多くの時間が必要ないから
- 2 介護・看護が必要な家族がいない、または軽度で多くの時間が必要ないから
- 3 単身世帯(ひとり暮らし)や家電製品を利用するため多くの時間が必要ないから
- 4 仕事や学校がない休日にまとめてするから
- 5 外部(民間・公的など)のサービスを利用しているから
- 6 他の家族がほとんどしてくれるから
- 7 事前に家族で決めた自分の担当分をしているから
- 8 仕事や学校の時間が長く、在宅時間が短いから
- 9 (家事、育児、介護等)が好きではないから、苦手だから
- 10 (家事、育児、介護等)をどのようにしたらよいのかわからないから
- 11 (家事、育児、介護等)をしなくてよいと言われるから
- 12 (家事、育児、介護等)は女性の方が向いているから
- 13 疾病等により(家事、育児、介護等)ができないから
- 14 その他( )



男性・女性の役割に対する考え方について、おたずねします

問10 「男は仕事、女は家庭」、「女の子とはこういうもので、男の子とはこういうもの」といった性別で役割を固定した考え方について、あなたはどのように思われますか？（1つだけに○を）

1 賛成	3 どちらかといえば反対	5 わからない
2 どちらかといえば賛成	4 反対	

問11 次の場面で、男女平等だと思いますか（それぞれ1つだけに○を）

	女性のほうが優遇されている	どちらかといえば女性のほうが優遇されている	平等である	どちらかといえば男性のほうが優遇されている	男性のほうが優遇されている	わからない
① 学校教育を受ける場では	1	2	3	4	5	6
② 経済活動・働く場（職場）では	1	2	3	4	5	6
③ 家庭生活（家事・育児・介護）では	1	2	3	4	5	6
④ 地域活動、社会活動の場では※	1	2	3	4	5	6
⑤ 政治の場では	1	2	3	4	5	6
⑥ 法律や制度の上では	1	2	3	4	5	6
⑦ 社会全体では	1	2	3	4	5	6

※地域活動、社会活動……地域住民の主体的活動や、NPO・ボランティアなど社会貢献をする活動のこと

性的少数者に関することについて、おたずねします

問12 次の言葉のなかで、あなたが知っている、または聞いたことがあるものはどれですか（あてはまるものすべてに○を）

- |   |   |
|---|---|
| 1 | <small>エルジーボーデー</small><br>LGBT（LGBTQ、LGBTQ+など） ※性的少数者の総称のひとつ |
| 2 | <small>ソジ</small><br>SOGI ※性的指向、性自認の英訳の頭文字をとった、すべての人の属性を表す略称  |
| 3 | カミングアウト ※本人が自分の性的指向や性自認を表明すること                                |
| 4 | アウティング ※本人の同意を得ずに、公にしていな性的指向や性自認を第三者に話すこと                     |
| 5 | アライ ※多様な性のあり方を理解し応援する人  |
| 6 | 1～5のすべて聞いたことがない・知らない  |

問13 市立中学校の制服が変更になったり、和歌山県では県民等を対象に「パートナーシップ宣誓制度」が開始されるなど様々な取組がされています。

あなたは性的少数者が更に生活しやすくなるために、岩出市ではどのような取組が必要だと思いますか（特に必要だと思うもの2つまでに○を）

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 市民への周知啓発の充実                               |
| 2 | 市民を対象とした講演会などの実施                          |
| 3 | 行政職員や教職員に対する研修の実施                         |
| 4 | 児童・生徒に対する教育の充実                            |
| 5 | 相談窓口や当事者同士が話せる場所の設置                       |
| 6 | 婚姻関係にある夫婦同様に利用できる行政サービスの拡充                |
| 7 | 市独自のパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の導入              |
| 8 | その他（ <span style="float: right;">}</span> |
| 9 | わからない                                     |

※パートナーシップ・ファミリーシップ制度は、地方自治体が独自にお2人や家族の関係を証明する証明書を発行し、様々なサービスや社会的配慮を受けやすくする制度です。婚姻と異なり、法的な権利の発生や義務の付与を伴いません。

## DVについて、おたずねします

問14 あなたは、配偶者や交際相手からの身体的・心理的な暴力（ドメスティック・バイオレンス（DV））について知っていますか（1つだけに○を）

- 1 知っている、言葉を聞いたことがある    2 知らない、言葉を聞いたことがない

問15 あなたは、夫婦（恋人）間における次のような行為をどのように思いますか（それぞれ1つだけに○を）

ど ん な 場 合 も 暴 力 に あ た る	そ う で な い 場 合 も あ る	暴 力 に あ た ら な い 場 合 も あ る	暴 力 に あ た ら な い
① 平手で打つ、足で蹴る、殴る	1	2	3
② 身体を傷つける可能性のある物で殴る	1	2	3
③ 大声でどなる	1	2	3
④ 実家や友人との関わりや、外出先を制限する	1	2	3
⑤ 電話・メール・SNSなどを監視する	1	2	3
⑥ 「誰のおかげで生活できるんだ」や「甲斐性なし」などと言う	1	2	3
⑦ 人前でバカにしたり、命令口調でものを言う	1	2	3
⑧ 何を言っても長期間無視し続ける	1	2	3
⑨ 子どもに暴力をふるうとって相手を脅す	1	2	3
⑩ 家計に必要な生活費を渡さない	1	2	3
⑪ 働きたいのに働かせない、仕事を辞めさせる	1	2	3
⑫ 相手が嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
⑬ 避妊に協力しない	1	2	3

※DV（ドメスティック・バイオレンス）……配偶者や恋人などの親密な関係の人から受ける暴力のこと。身体的暴力だけでなく、心理的攻撃、経済的圧迫、性的強要も含まれます。また、恋人など交際相手（元交際相手）からの暴力のことを、デートDVといいます。



男女共同参画の取組について、おたずねします

問17 次の「ことば」や「ことがら」についてご存じですか（それぞれ1つだけに○を）

	よく知っている	聞いたことがある	知らない
① ジェンダー（社会的性別）	1	2	3
② 男女共同参画社会基本法	1	2	3
③ DV防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律）	1	2	3
④ 女性活躍推進法（女性の職業生活における活躍の推進に関する法律）	1	2	3
⑤ 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律	1	2	3
⑥ ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	1	2	3
⑦ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	1	2	3
⑧ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康/権利）	1	2	3
⑨ 和歌山県DV相談支援センター（旧和歌山県子ども・女性・障害者相談センター）	1	2	3
⑩ 性暴力救援センター和歌山「わかやまmine（マイン）」	1	2	3
⑪ 岩出市男女共同参画プラン ハーモニープラン	1	2	3

**問18** 今後さらに男女共同参画を進めるために、岩出市がどのようなことに力をいれるべきだと思いますか？（3つまでに○を）

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 男女共同参画の啓発や情報提供の充実                         |
| 2  | 大人を対象とした男女共同参画についての講座やセミナーの開催             |
| 3  | 子どもを対象とした男女共同参画についての講座やセミナーの開催            |
| 4  | 子どもを対象とした進路指導やキャリア教育の充実                   |
| 5  | 市の審議会など、政策方針決定の場への女性の参画促進                 |
| 6  | 事業所へ男女雇用機会均等法や育児・介護休業法等制度の情報提供            |
| 7  | 育児や介護・介助を支援するサービスの充実                      |
| 8  | 再就職や創業に関する講座やセミナーの開催や情報提供                 |
| 9  | 子どもを対象とした性や生命の教室の充実                       |
| 10 | DVやハラスメントについての講座の開催や啓発の充実                 |
| 11 | DVや虐待の相談体制の充実                             |
| 12 | 地域活動やボランティア活動の支援の充実                       |
| 13 | 妊娠・出産期、更年期など生涯を通じた健康づくりの推進や健康相談の充実        |
| 14 | 男女共同参画に関する条例制定                            |
| 15 | その他（ <span style="float: right;">）</span> |

**問19** その他、アンケートの内容で表現できなかったことや、岩出市にふさわしい男女共同参画社会を実現するまちづくりについてご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。


◇◇◇ ご協力ありがとうございました ◇◇◇

郵便で回答いただける方は、この調査票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、9月12日（金）までにお近くの郵便ポストに投函してください。※インターネットで回答いただいた方は、郵送不要です。

問1. 貴社（本社、支店、営業所なども含めた企業全体）の産業分類についておうかがいします（〇は1つ）

1 農林漁業	2 建設業
3 製造業	4 電気・ガス・熱供給・水道業
5 情報通信業	6 運輸業・郵送業
7 卸売業・小売業	8 金融業・保険業
9 不動産業・物品賃貸業	10 学術研究・専門・技術サービス業
11 宿泊業・飲食サービス業	12 生活関連サービス業・娯楽業
13 教育・学習支援業	14 医療・福祉
15 複合サービス事業	16 サービス業(他に分類されないもの)

問2. 貴社（本社、支店、営業所なども含む企業全体）の従業員規模は次のどれにあてはまりますか（〇は1つ）

1 5人以下	2 6~29人	3 30~99人
4 100~299人	5 300人以上	

問3. （企業全体でなく）貴事業所の従業員数についておうかがいします（①②それぞれ、〇は1つ）

	0人 (いない)	1~ 5人	6~ 10人	11~ 50人	51~ 100人	101人~
①正社員	1	2	3	4	5	6
②非正社員	1	2	3	4	5	6

【①正社員②非正社員のどちらも「1、0人（いない）」と答えられた方におうかがいします（問3-1）】

問3-1 個人事業主の方は性別についておうかがいします（〇は1つ）  
法人の方は貴事業所従業員の性別ごとの人数をおうかがいします（人数を記入）  
【回答後は、P6問15へ】

個人事業主

1 男性	2 女性
------	------

法人：役員性別・人数

男性	人	女性	人
----	---	----	---

問3で従業員がいるとお答えいただいた事業所におうかがいします

問4. 従業員の女性の割合についておうかがいします (①②それぞれ、○は1つ)

	0% (いない)	0%超~ 30%未満	30%~ 50%未満	50%~ 70%未満	70%~ 90%未満	90%~
①正社員	1	2	3	4	5	6
②非正社員	1	2	3	4	5	6

【①正社員②非正社員のどちらも「1、0% (いない)」と答えられた方はP4問8へ】

問5～問7は、問4で女性従業員がいるとお答えいただいた事業所におうかがいします

問5. 貴事業所の管理職 (課長相当職以上) の女性の割合についておうかがいします (○は1つ)

1 0% (いない)	2 0%超~10%未満
3 10%~20%未満	4 20%~30%未満
5 30%~40%未満	6 40%以上

問6. 貴事業所では、女性の管理職登用 (昇進) に向けた取組を実施していますか (○は1つ)

1 女性管理職の登用に向けた取組を実施している
2 女性管理職の登用は必要だと思うが、それを意識した取組は実施していない
3 女性管理職の登用が必要だと思わず、取組も実施していない
4 その他 ( )

問7. 貴事業所では、今後管理職の女性割合が増加すると見込んでいますか (○は1つ)

1 見込んでいる
2 見込んでいない (主な理由記載: )
3 わからない

問8～問14は、問3で従業員がいるとお答えいただいた事業所におうかがいします

問8. 貴事業所に外国籍の従業員はいますか（〇は1つ）

1 いる	2 いない	3 わからない
------	-------	---------

問9. 貴事業所では、今後外国籍の従業員が増加すると見込んでいますか（〇は1つ）

1 見込んでいる	2 見込んでいない	3 わからない
----------	-----------	---------

問10. 従業員の年次有給休暇取得日数は、6年前（コロナ禍前）に比べて変化があると思いますか（〇は1つ）

6年前と比較できない場合は、貴事業所で比較可能な年と比べてください

1 増えた	2 減った	3 変わらない
4 その他（ ）		

問11. 従業員の超過勤務時間は、6年前（コロナ禍前）に比べて変化があると思いますか（〇は1つ）

6年前と比較できない場合は、貴事業所で比較可能な年と比べてください

1 増えた	2 減った	3 変わらない
4 その他（ ）		

問12. 育児休業の取得についておうかがいます。該当する人数を記入してください

女性		男性	
令和6年4月1日から令和7年3月31日までに出産した（養子縁組含む）従業員	人	令和6年4月1日から令和7年3月31日までに配偶者が出産した（養子縁組含む）従業員	人
うち育児休業を取得した従業員（申し出ている者含む）	人	うち育児休業を取得した従業員（申し出ている者含む）	人
<input type="checkbox"/> 配偶者の出産について把握していない場合は✓をつけてください。			

問13. 貴事業所で令和6年4月1日から令和7年3月31日までに介護に関する休暇・休業を取得した従業員はいますか。いる場合は人数を記入してください（あてはまる番号すべてに○を）

- |   |                                    |   |    |    |
|---|------------------------------------|---|----|----|
| 1 | いる（女性                              | 人 | 男性 | 人） |
| 2 | いない（介護が必要な家族がいる従業員はいない、または把握していない） |   |    |    |
| 3 | いない（介護が必要な家族がいる従業員はいるが、申出がない）      |   |    |    |

問14. 貴事業所におけるハラスメント対策についておうかがいします（あてはまる番号すべてに○を）

- |   |  |   |
|---|--|---|
| 1 | 「パワーハラスメント」について、防止策や対応策等の取組を行っている                  |   |
| 2 | 「セクシュアルハラスメント」について、防止策や対応策等の取組を行っている               |   |
| 3 | 「妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメント」について、防止策や対応策等の取組を行っている |   |
| 4 | 1～3以外のハラスメントについて、防止策や対応策等の取組を行っている                 |   |
|   | ↓ 4を選ばれた方は、ハラスメント名をご記入ください                         |   |
|   | （  | ） |
| 5 | 必要性は感じているが、取組は進んでいない                               |   |
| 6 | 特に必要性は感じていない                                       |   |

ここからは、全ての事業所におうかがいします。

問15. 現在、多くの企業で働き方や休み方の改善の取組が進められていますが、進める上で、難しいと感じるのはどのようなことですか（ご記入者のお考えにあてはまる番号すべてに○を）

- |                            |   |
|----------------------------|---|
| 1 周りの人の業務量が増える             |   |
| 2 休業による代替要員の確保が難しい         |   |
| 3 経営層の意欲や理解が不足している         |   |
| 4 管理職の意欲や理解が不足している         |   |
| 5 事業所内に理解を得にくい雰囲気がある       |   |
| 6 取引先の理解が得られない             |   |
| 7 管理職が従業員をマネジメントすることが難しくなる |   |
| 8 従業員が利用を望まない              |   |
| 9 事業所内の士気が下がる              |   |
| 10 事業所の業績に悪影響を及ぼす          |   |
| 11 効果を事業所として把握しにくい         |   |
| 12 その他（                    | ） |
| 13 特に問題となるものはない            |   |

問16. 女性活躍やワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組や制度の活用についてお答えをお願いします（①～⑦それぞれ〇は1つ）

	策定・取得している 策定・取得に向け取り組んでいる	策定・取得の取組はないが知っている 対象でない	わからない 知らない
①女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画	1	2	3
②次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画	1	2	3
③えるぼし（プラチナえるぼし）認定※女性活躍	1	2	3
④くるみん（プラチナくるみん・トライくるみん）認定※子育て支援	1	2	3
⑤トモニマーク認定※介護両立	1	2	3
⑥ユースエール認定※若者育成	1	2	3
⑦安全衛生優良企業（ホワイトマーク）認定※安全・健康	1	2	3

問17. 職場において女性の活躍を困難にしている要因は、どのようなことだと思えますか（ご記入者のお考えで3つまでに○を）

- |  |
|--|
| 1 税制や年金などの社会的制度                              |
| 2 女性と男性の体力に違いがあるから                           |
| 3 女性と男性の能力に違いがあるから                           |
| 4 女性の方が家事・育児・介護などの負担が大きいから                   |
| 5 女性は、結婚・出産・育児・介護により長期休暇や退職などがあるため           |
| 6 女性の意識の問題                                   |
| 7 男性の意識の問題                                   |
| 8 経営者・管理職の意識の問題                              |
| 9 事業所にとってのメリットが期待できないから                      |
| 10 解消の効果的な策がない                               |
| 11 経営上ゆとりがない                                 |
| 12 特に困難は感じていない                               |
| 13 その他（ <span style="float: right;">）</span> |

問18. その他、アンケートの内容で表現できなかったことや、岩出市にふさわしい男女共同参画社会を実現するまちづくりについてご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にご記入ください。


◇◇◇ ご協力ありがとうございました ◇◇◇

誠に恐縮ですが、郵送で回答いただける場合は、この調査票を同封の返信用封筒に入れ、9月12日（金）までに郵便ポストに投函してください。（切手は不要）  
※インターネットで回答いただいた方は、郵送不要です。

岩出市 市長公室

和歌山県岩出市西野209番地

電話：0736-62-2141

FAX：0736-63-5229

Mail：[koushitsu@city.iwade.lg.jp](mailto:koushitsu@city.iwade.lg.jp)